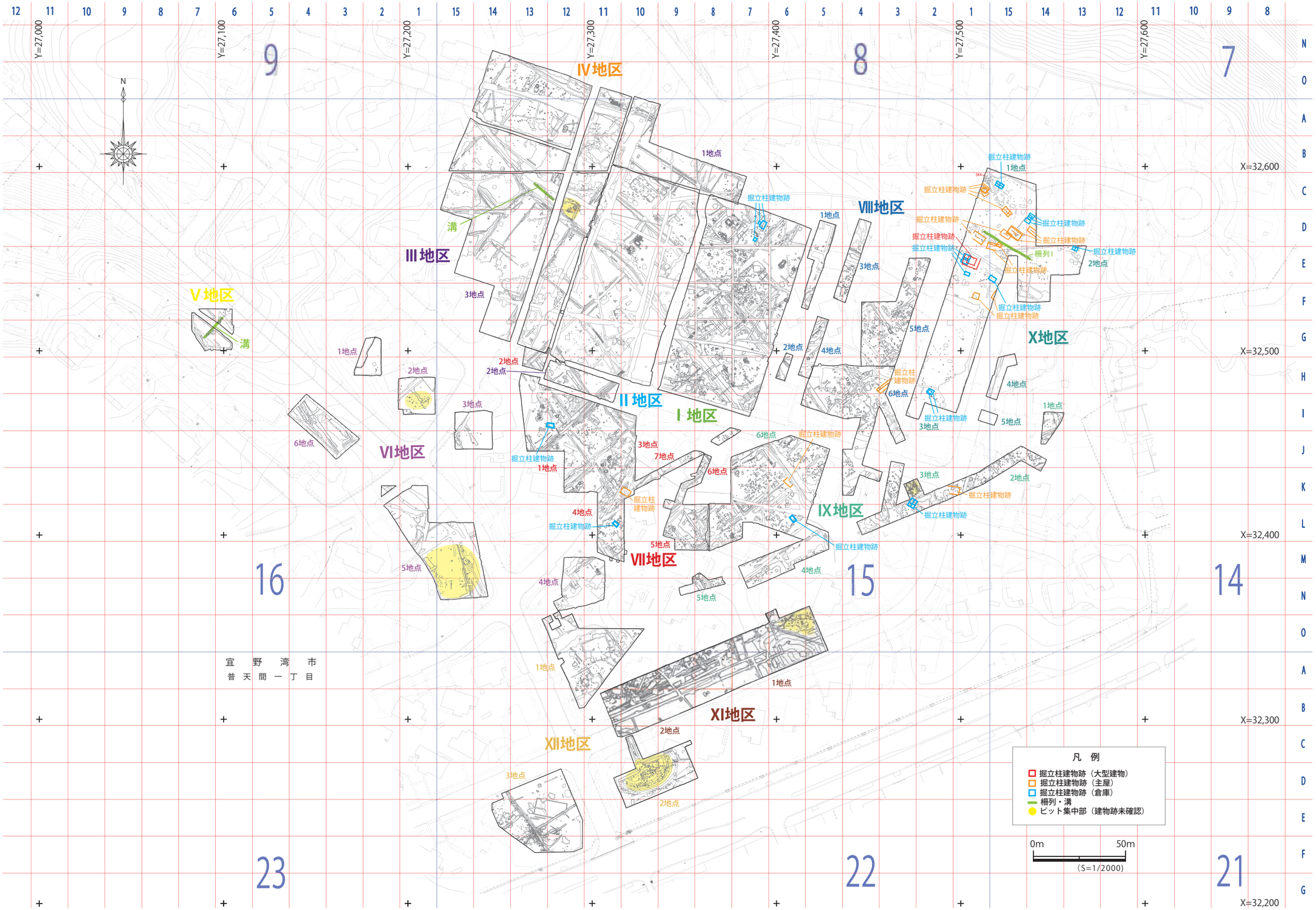
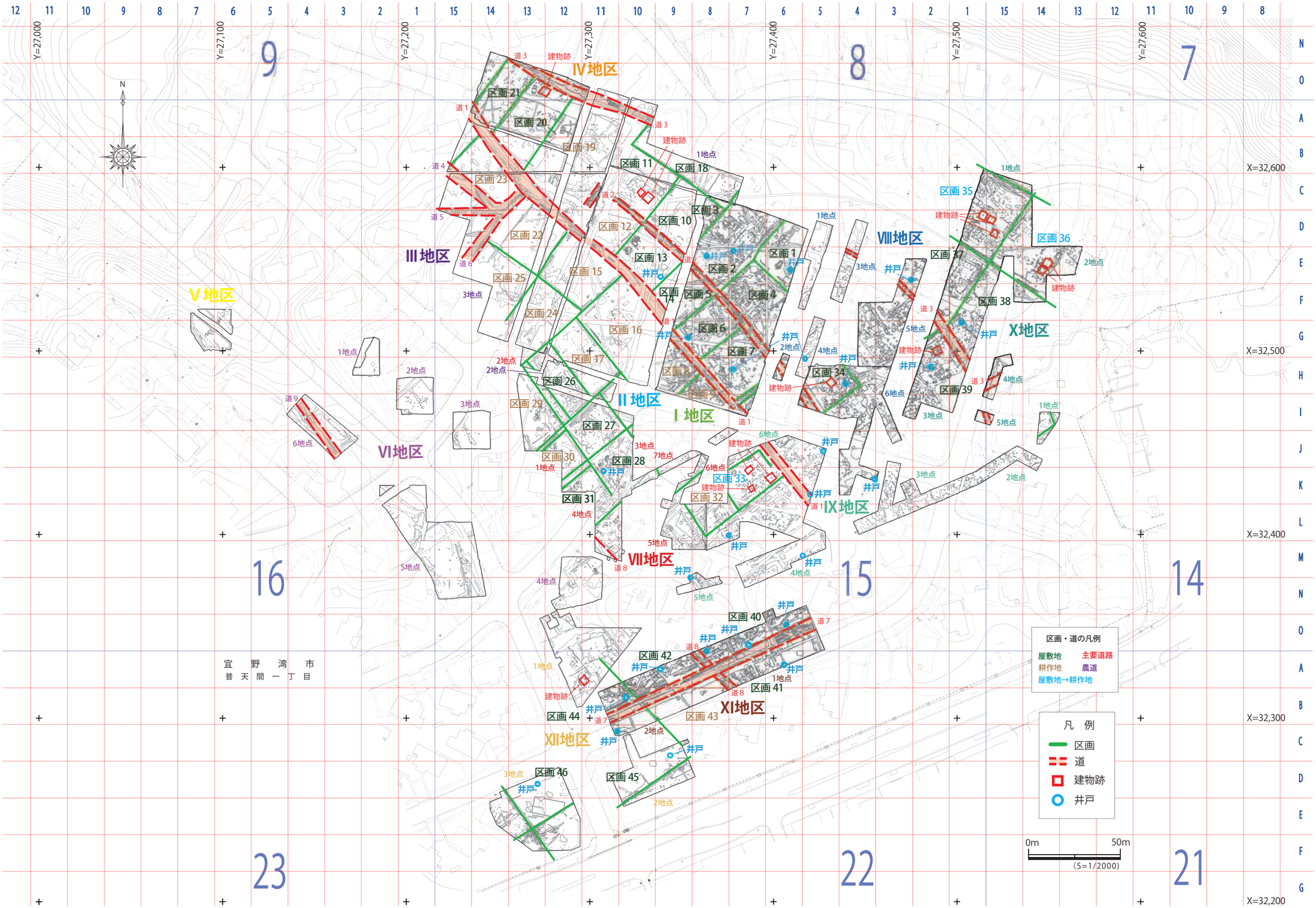


第８図　調査区（Ⅰ～XII 地区）全体図３　グスク時代の遺構



第９図　調査区（Ⅰ～XII 地区）全体図４　近世～近代の遺構

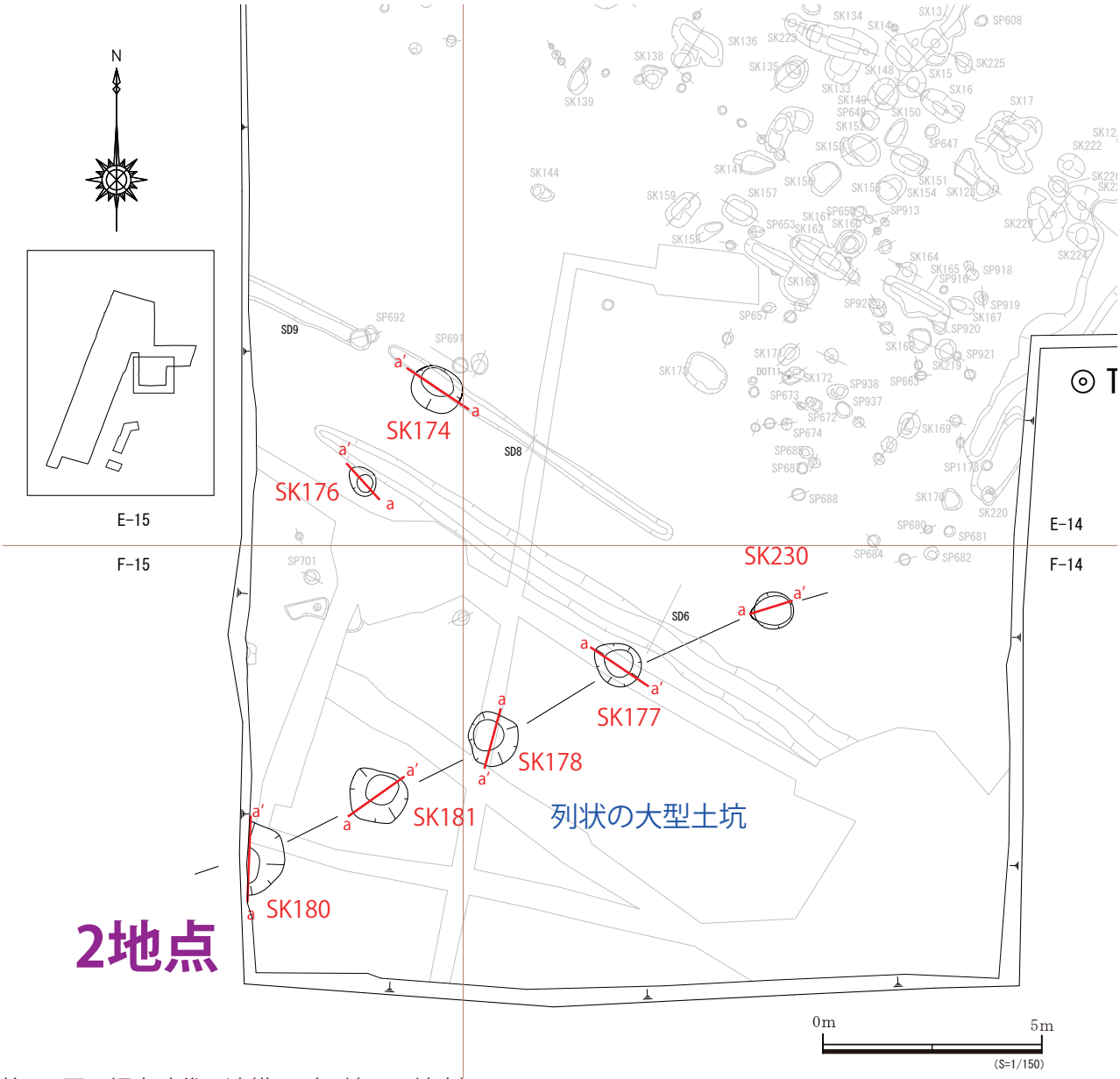
第３節　縄文時代

第１項　遺構

縄文時代の遺構は、Ｘ地区において地山（マージ）を深く掘り込んだ大型土坑が 10 基確認されている。同様な土坑はこれまでの瑞慶覧病院地区の調査で確認されており、深いもので２m 以上掘り込まれたものもあり、多くは岩盤まで達する。これらの遺構の埋土は、炭粒や焼土粒を含む暗褐色砂質シルトを呈する。Ｘ地区２地点 14 － E14・15 ～ F14・15 グリッドにおいて、SK174、SK176、SK177、SK178、SK180、SK181、SK230 が確認された（第 10 図）。この中で、SK177、SK178、SK180、SK181、SK230 は、北東－南西方向で列状に並ぶ状況で検出されている（列状の大型土坑）。この列状の土坑より北の SK174 および SK176 についても、概ね並行する位置にあることから、列状に並ぶ可能性がある。

また３地点 15 － F １・G １・G ２グリッドでは SK280、SK308、SK334 が検出されている（第 16 図）。Ｘ地区全体でみると、２地点と３地点の大型土坑は北東―南西方向に並ぶような位置関係となっている（第 12 図）。

以下、各大型土坑について記述する。



第 10 図　縄文時代の遺構１（Ｘ地区２地点）

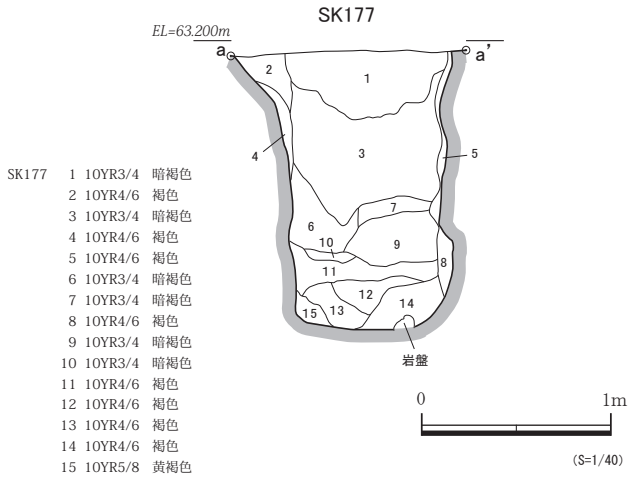
Ｘ地区２地点の大型土坑

列状の大型土坑（SK177、SK178、SK180、SK181、SK230）

Ｘ地区２地点 14 － E15 ～ F15 グリッドにおいて、北東－南西方向（90 度式：北 65 度東）に大型土坑が SK230 から SK177、SK178、SK181、SK180 の順で、列状に並ぶ状況で検出されている。その間隔は、概ね 1.5 ～ 2.5 mで、ほぼ等間隔となっている。検出された大型土坑は幅 0.8 ～ 1.6 m、深さは 1.3 から 1.5 mで、殆どが地山を岩盤まで掘り込むものである。２地点における大型土坑からの縄文土器の出土は SK230 からの１点のみであり、遺物が出土していない遺構が多いが、これまでの類例から当該期の遺構として扱う。

SK177

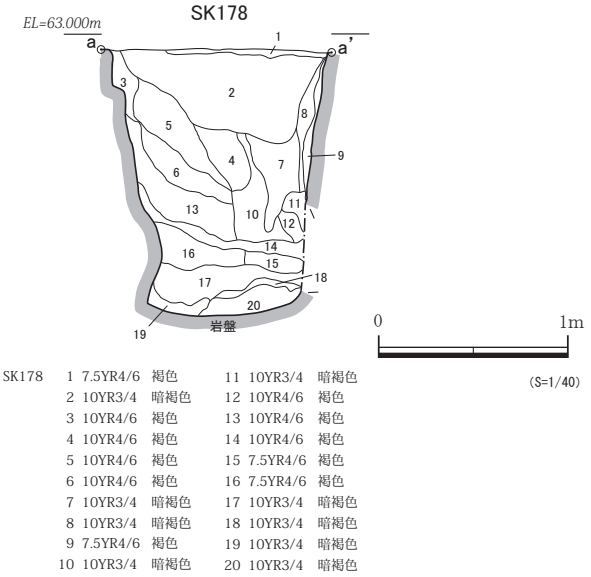
規模は開口部で幅 113cm、底部で幅 75cm、深さ 144cm で、岩盤近くまで掘りこむ。形状は底面から直上に立ち上がる。埋土は暗褐色土が主体である。遺物は磨石が出土。中央部は埋設管の溝による撹乱を受けている。



SK177　半裁状況　南から

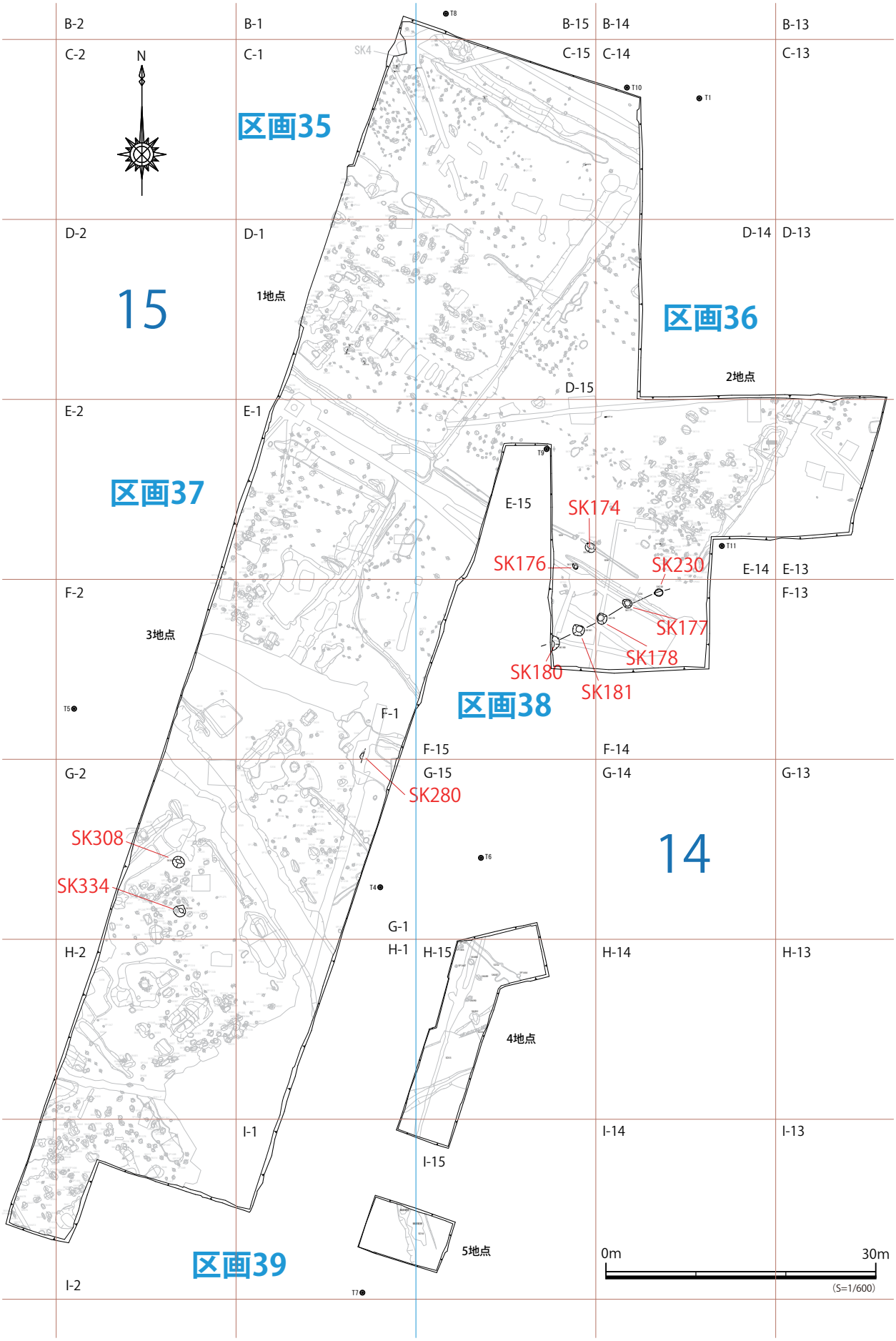
SK178

規模は開口部幅 114cm、深さ 139cm で岩盤まで達する。形状は底面で若干オーバーハングして立ち上がる。埋土は暗褐色土が主体で下部ではマージブロックの堆積土と互層となる。遺物は出土していない。中央部は埋設管の溝が通り、撹乱を受けている。



SK178　半裁状況　西から

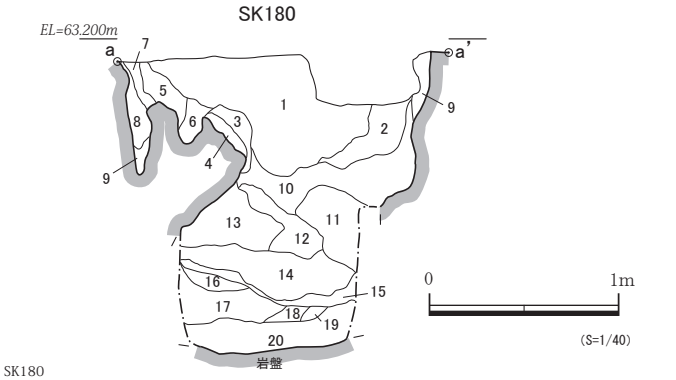
第 11 図　縄文時代の遺構２（Ｘ地区２地点）



第 12 図　縄文時代の遺構３　全体図（Ｘ地区）

SK180

規模は開口部で幅 164cm、深さ 156cm で岩盤まで達する。形状は、底面でフラスコ状にオーバーハングし､地表下 50cm で急角度に外反する。埋土は暗褐色土が主体である。遺物は石材（ニービ）が出土。



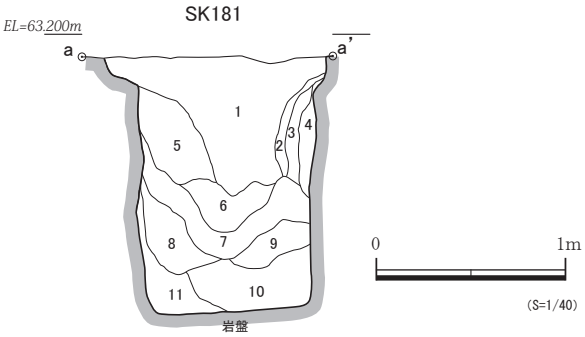
SK180

1	5YR3/2	暗赤褐色	6	5YR3/2	暗赤褐色	11	7.5YR5/8	明褐色		16	10YR4/6	褐色
2	7.5YR3/4	暗褐色	7	5YR3/2	暗赤褐色	12	7.5YR4/4	褐色	土器片含む	17	7.5YR4/4	褐色
3	10YR4/6	褐色	8	7.5YR3/4	暗褐色	13	7.5YR5/8	明褐色		18	7.5YR4/4	褐色
4	7.5YR4/6	褐色	9	7.5YR5/8	明褐色	14	7.5YR4/4	褐色		19	7.5YR4/4	褐色
5	7.5YR4/4	褐色	10	7.5YR4/4	褐色	15	7.5YR4/4	褐色		20	7.5YR4/4	褐色

SK180　半裁状況　東から

SK181

規模は開口部で幅 120cm、底部で幅 83cm、深さ 135cm で岩盤まで掘りこむ。形状は長方形状を呈する。埋土は暗褐色土が主体である。遺物は出土していない。北側で撹乱溝の撹乱を受けている。



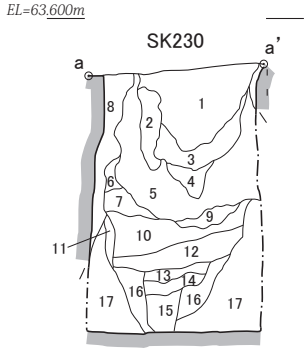
SK181

1	7.5YR3/4	暗褐色	7	7.5YR4/6	褐色
2	7.5YR3/4	暗褐色	8	7.5YR4/6	褐色
3	10YR4/6	褐色	9	7.5YR5/6	明褐色
4	7.5YR4/6	褐色	10	7.5YR5/6	明褐色
5	7.5YR3/4	暗褐色	11	7.5YR5/6	明褐色
6	7.5YR3/4	暗褐色			

SK181　半裁状況　南から

SK230

規模は開口部で幅 82cm、深さ 142cm で、岩盤近くまで達する。形状は底面でフラスコ状にオーバーハングし、地表下 20cm で緩やかに立ち上がる。埋土は暗褐色土が主体である。遺物は土器片と石材（緑色岩）が出土した。



SK230

1	10YR4/6	褐色
2	10YR4/6	褐色
3	10YR4/6	褐色
4	10YR4/6	褐色
5	10YR4/6	褐色
6	10YR4/6	褐色
7	10YR4/6	褐色
8	10YR5/8	黄褐色
9	10YR4/6	褐色
10	10YR4/6	褐色
11	7.5YR5/8	明褐色
12	7.5YR5/8	明褐色
13	10YR4/6	褐色
14	7.5YR5/6	明褐色
15	10YR4/6	褐色
16	10YR4/6	褐色
17	10YR4/6	褐色

0　1m

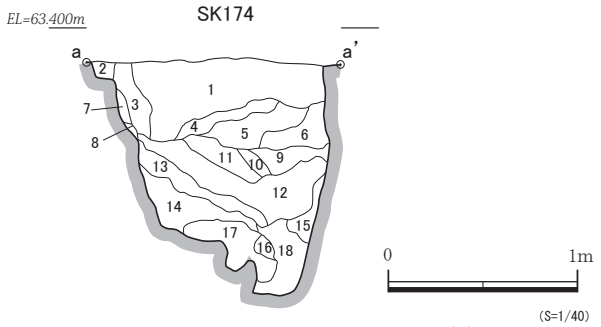
(S=1/40)

SK230　半裁状況　南から

第 13 図　縄文時代の遺構４（Ｘ地区２地点）

SK174

規模は開口部で幅 123cm、底部で幅 80cm、深さ 124cm で地山（マージ）を掘りこむ。形状は縦長状で底面は北西側で段を有し凹む。埋土は暗褐色土が主体である。遺物は出土していない。近世～近代の SD ８に切られる。

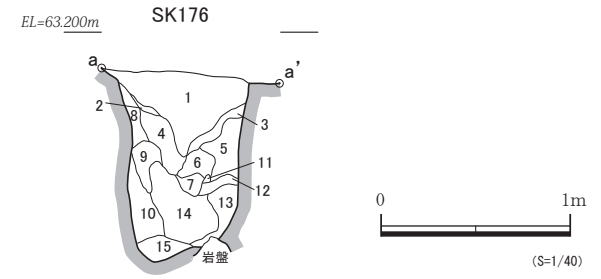


SK174	1	10YR3/4	暗褐色	7	10YR4/6	褐色	13 7.5YR4/6 褐色
	2	7.5YR4/6	褐色	8	10YR4/6	褐色	14 7.5YR4/6 褐色
	3	7.5YR4/6	褐色	9	7.5YR4/6	褐色	15 7.5YR5/6 明褐色
	4	10YR3/4	暗褐色	10	7.5YR4/6	褐色	16 7.5YR5/6 明褐色
	5	7.5YR4/4	褐色	11	7.5YR5/6	明褐色	17 7.5YR4/6 褐色
	6	7.5YR4/4	褐色	12	7.5YR4/6	褐色	18 7.5YR5/6 明褐色

SK174　半裁状況　北から

SK176

規模は開口部で幅 77cm、底部で幅 46cm、深さ 101cm で岩盤まで掘りこむ。形状は縦長状を呈している。埋土は暗褐色土が主体である。遺物は出土していない。近世～近代の SD ６に切られる。



SK176	1	10YR3/4	暗褐色	6	7.5YR4/4	褐色	11 7.5YR4/4 褐色
	2	7.5YR4/6	褐色	7	7.5YR4/4	褐色	12 7.5YR4/6 褐色
	3	7.5YR4/4	褐色	8	7.5YR4/4	褐色	13 7.5YR4/4 褐色
	4	7.5YR4/6	褐色	9	7.5YR4/6	褐色	14 7.5YR4/4 褐色
	5	7.5YR4/4	褐色	10	7.5YR4/6	褐色	15 7.5YR4/6 褐色

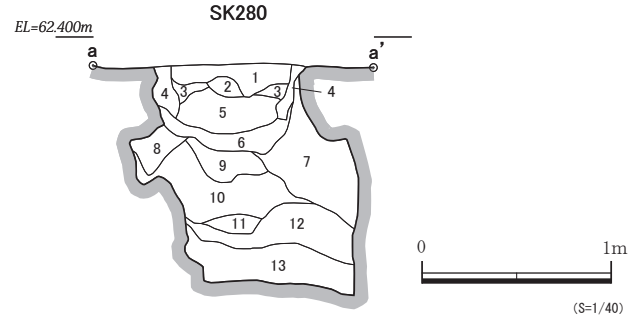
SK176　半裁状況　北東から

Ｘ地区３地点の大型土坑

３地点では、大型土坑は点在して分布する。SK308 から縄文時代後期～晩期の土器が出土している。

SK280

規模は開口部で幅 80cm、底部で幅 80cm、深さ 115cm で、岩盤近くまで掘りこむ。形状は縦長状である。埋土は暗褐色土が主体となる。遺物はイノシシの歯が出土。



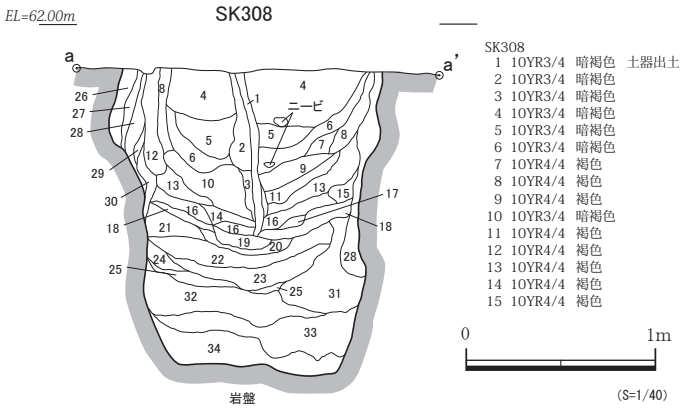
SK280	1	10YR4/6	褐色	6	10YR4/6	褐色	11 7.5YR5/8 明褐色
	2	10YR4/6	褐色	7	7.5YR5/8	明褐色	12 10YR4/6 褐色
	3	10YR4/6	褐色	8	7.5YR5/8	明褐色	13 10YR4/6 褐色
	4	10YR4/6	褐色	9	7.5YR5/8	明褐色	
	5	10YR4/6	褐色	10	7.5YR5/8	明褐色	

SK280　半裁状況　東から

第 14 図　縄文時代の遺構５（Ｘ地区２・３地点）

SK308

規模は開口部で幅 139cm、底部で幅 84cm、深さ 161cm で、岩盤まで掘りこむ。形状は縦長状である。埋土は暗褐色土が主体で下部ではマージブロックの堆積土と互層となる。遺物は室川式（第 17 図１）と宇佐浜式（第 17 図３）の土器口縁部片や石材（ニービ）が出土している。



SK308
1 10YR3/4 暗褐色 土器出土
2 10YR3/4 暗褐色
3 10YR3/4 暗褐色
4 10YR3/4 暗褐色
5 10YR3/4 暗褐色
6 10YR3/4 暗褐色
7 10YR4/4 褐色
8 10YR4/4 褐色
9 10YR4/4 褐色
10 10YR3/4 暗褐色
11 10YR4/4 褐色
12 10YR4/4 褐色
13 10YR4/4 褐色
14 10YR4/4 褐色
15 10YR4/4 褐色

16 10YR4/4 褐色
17 10YR4/4 褐色
18 10YR4/4 褐色
19 10YR4/4 褐色
20 10YR4/4 褐色
21 10YR4/4 褐色
22 7.5YR5/8 明褐色
23 10YR4/4 褐色
24 10YR4/4 褐色
25 10YR4/4 褐色
26 10YR4/6 褐色
27 10YR4/6 褐色
28 7.5YR5/8 明褐色
29 10YR4/6 褐色
30 7.5YR5/8 明褐色
31 10YR4/4 褐色
32 7.5YR5/8 明褐色
33 7.5YR5/8 明褐色
34 10YR4/4 褐色

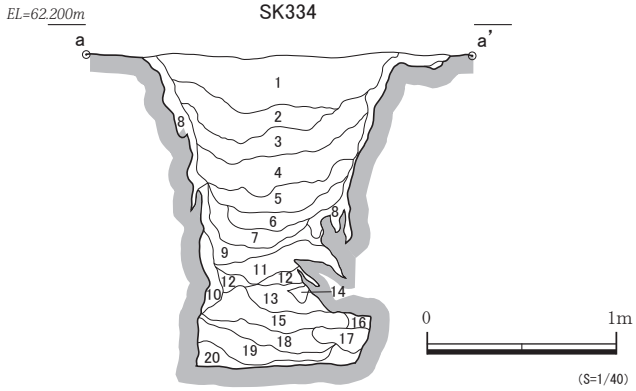
SK308　半裁状況　北から

SK308　土器出土状況　北から

同左　拡大

SK334

規模は開口部で幅 160cm、底部で幅 90cm、深さ 163cm で、岩盤まで掘りこむ。形状は底面でフラスコ状にオーバーハングし、地表下 110cm で緩やかに外反する。埋土は暗褐色土が主体である。遺物は土器片や焼土が出土している。



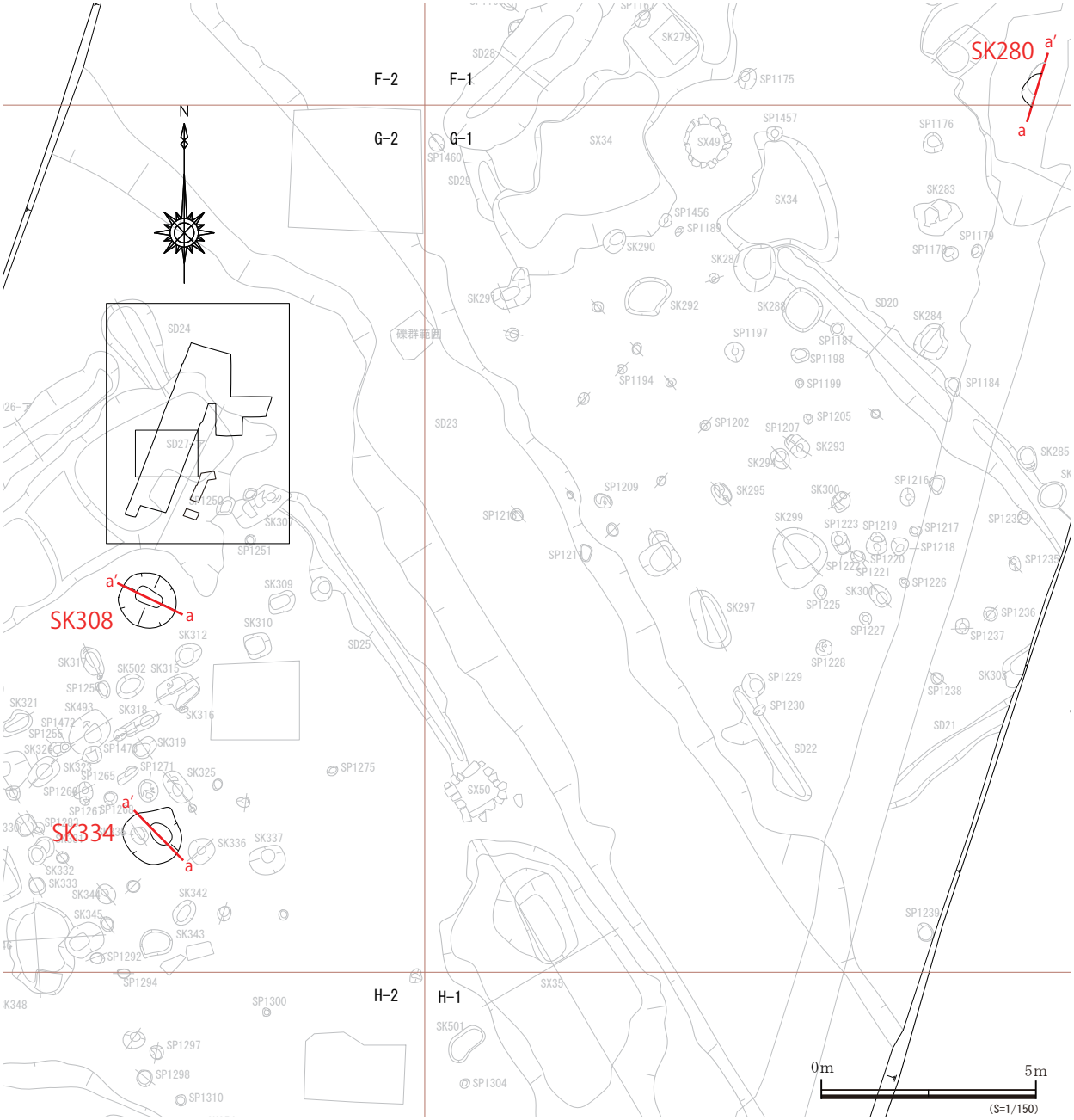
SK334
1 10YR3/4 暗褐色
2 10YR3/4 暗褐色
3 10YR3/4 暗褐色
4 10YR3/4 暗褐色
5 10YR3/4 暗褐色
6 10YR4/4 褐色
7 10YR4/4 褐色
8 10YR4/4 褐色
9 10YR4/4 褐色
10 10YR4/4 褐色
11 10YR4/4 褐色
12 10YR4/4 褐色
13 10YR4/4 褐色
14 10YR4/4 褐色
15 10YR4/4 褐色
16 10YR4/4 褐色
17 10YR4/4 褐色
18 10YR3/4 暗褐色
19 10YR3/4 暗褐色
20 10YR6/4 暗褐色

第 15 図　縄文時代の遺構６（Ｘ地区３地点）

SK334　半裁状況　北から

Ｘ地区２地点　土坑列　東から

Ｘ地区３地点　作業状況　北から



第 16 図　縄文時代の遺構７（Ｘ地区３地点）

第２項　遺物

縄文時代の遺構からは、土器、石器を中心に 34 点が出土している（第 1 表）。土器は、縄文時代後期～晩期のものが確認されている。グスク時代の遺構や包含層（Ⅲ層）、近世～近代の遺構からも縄文時代の遺物が出土している。この中で、残りの良い 19 点を図化し報告する。遺物の縮尺は 50％とする。以下に、遺物の分類とその概要について述べ、個々の詳細は遺物観察表（第２表）に記載する。

①土器

土器は、縄文時代後・晩期相当の室川式土器、宇座浜式土器、仲原式土器が出土している。また、縄文時代の土坑である SK308 の埋土からは、室川式（1）と宇座浜式（3）が出土している。この他は、グスク時代や近世～近代の遺構、若しくは遺物包含層からの出土である。

室川式土器（1）　口唇部はナデによって平坦となり、剥離しているが逆 L 字状に短く張り出していたと考えられる。器壁はやや厚手で、胎土は砂粒を多く含んだ明赤褐色を呈する。前述したように、SK308 の埋土中から宇座浜式土器と出土している。

宇座浜式土器（2･3･4･5･6）　口唇部に粘土を張り付けて断面三角形～玉縁状に肥厚させている。胎土は、砂質もしくは砂泥質のものがあり、橙色若しくは褐色系の色調を呈する。前述の SK308 から出土している他は、グスク時代や近世～近代の遺構若しくは、遺物包含層からの出土である。

仲原式土器（7・8）　胴部に弧状の突帯が貼り付けられている。胎土は宇座浜式土器の胎土に近く、砂質もしくは砂泥質で橙色もしくは褐色系の色調を呈する。グスク時代の遺構若しくは、包含層からの出土で、縄文時代の遺構に伴う出土状況は確認されていない。

底部（9・10）は底面から立ち上がる部分で、形態は不明である。

②石器・石核

石斧や敲石・磨石、凹み石、チャート製の石核が確認されている。

石斧（11・12・13・14・15・16）　縄文時代相当期の遺物と考えられ、全面を研磨したもの（11）、側面の調整痕が残り刃部を中心に研磨したもの（15）などがある。刃部の先端部が潰れていることから、使用中の破損や研ぎ直しができなくなった段階で廃棄若しくは、敲き石などに転用（13・14）した製品と考えられる。全てグスク時代以降の遺構埋土若しくは、包含層中からの出土である。

敲石・磨石（17）**・凹み石**（18）　石器の平坦面や長軸方向、石材の角に叩打痕が残る。（17）については、叩打痕だけでなく、側面に磨面が確認できる。また、（17）はグスク時代の建物跡 24 号の柱穴 SP65 で滑石製石鍋の破片と出土していることから、グスク時代の遺物である可能性もあるが、グスク時代のピットからは縄文時代相当期の土器の底部（9）も出土していることから、縄文時代相当期の遺物として扱った。

石核（19）　石材はチャートである。近世の溝跡 SD13 からの出土だが、チャート製の利器を製作するための石核と考えられたことから、縄文時代相当期の遺物として報告を行う。また、当該遺跡から出土しているチャートの剥片の中には、当該石核と色調が異なるものが含まれていることから、色調の異なる複数のチャートが存在していたことが想定される。

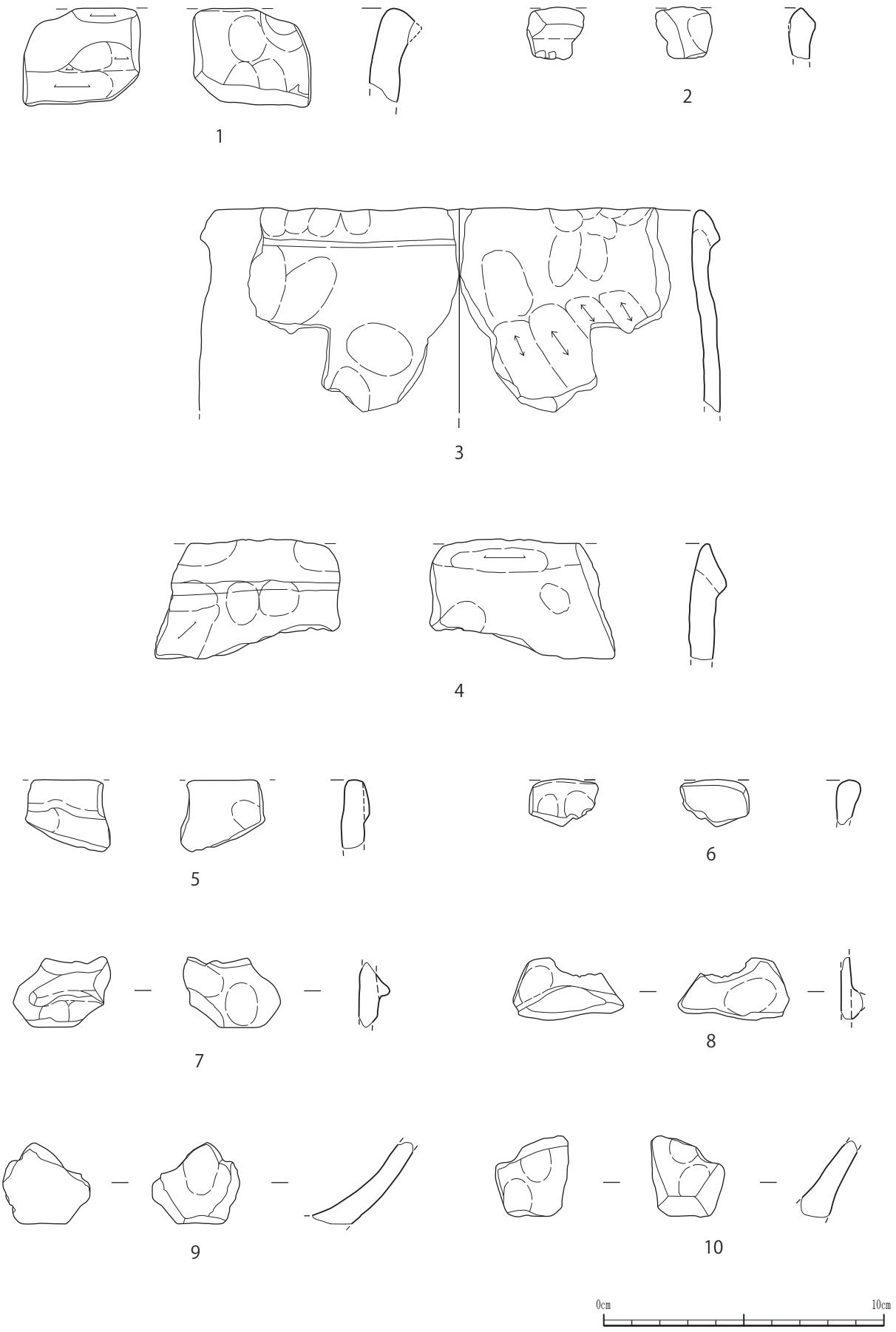
同時期の沖縄諸島若しくは奄美群島の遺跡で石核が報告されている遺跡は管見の限りだと徳之島の塔原遺跡（天城町教育委員会 1999）や奄美大島のウフタ遺跡（龍郷町教育委員会 2002）、朝仁天川遺跡（名瀬市教育委員会 1984）、沖縄島ではヌバタキ遺跡（宜野湾市教育委員会 1991）がある。

第１表　縄文時代の遺構　遺物出土状況

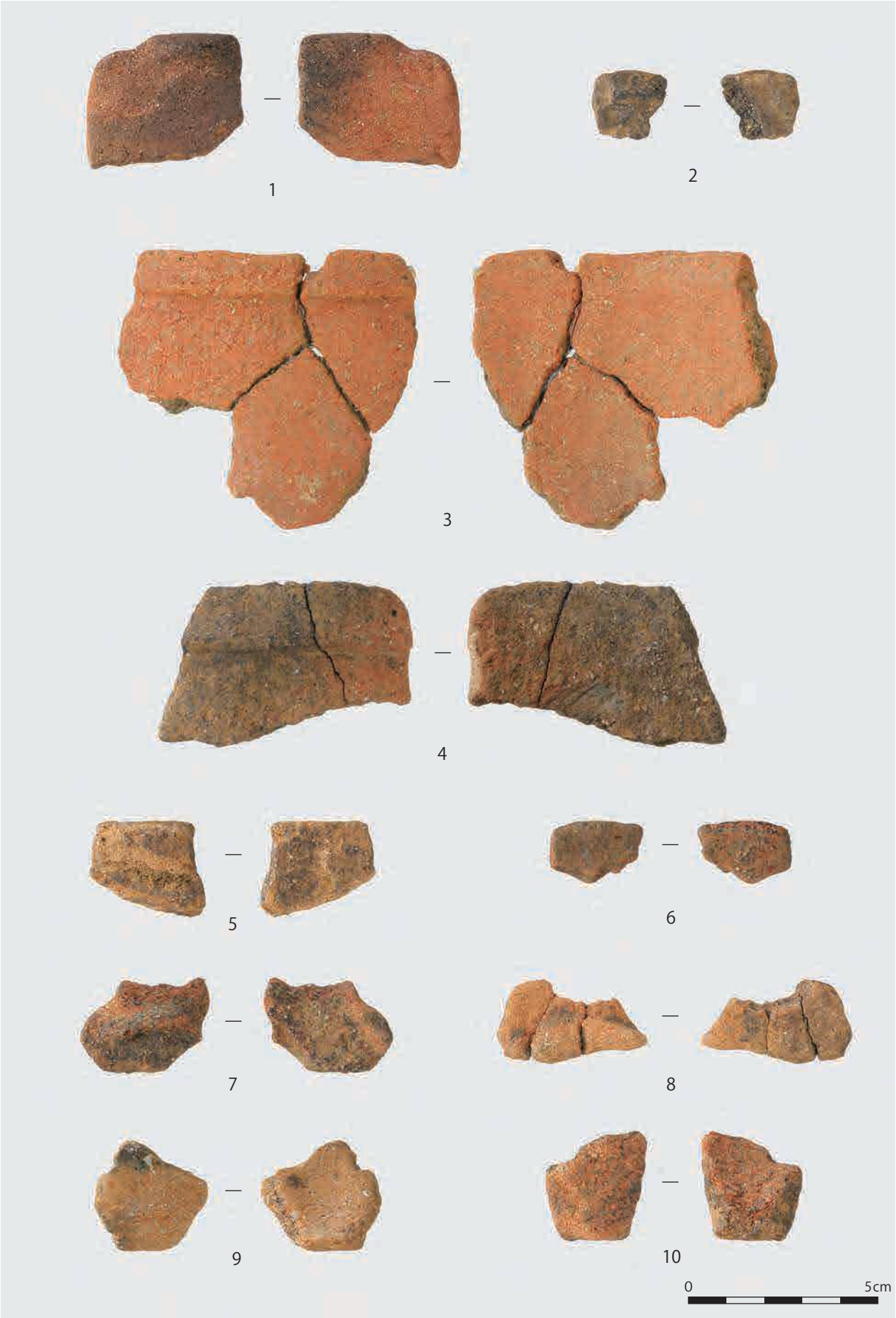
				種類	縄文土器			石器	石材	石材	焼土	合計
				器種	深鉢		器種不明	磨石	—	—	—	
				分類	宇座浜式	室川式	—	砂岩	ニービ	緑色岩	—	
地区	遺構時期	グリッド	出土地	層序 / 部位	口縁部		胴部	—	—	—	—	
X区	縄文	14-F14	SK　177	7 層				1				1
	縄文	14-F15	SK　180	埋土					1			1
	縄文	14-F14	SK　230	埋土			1			1		2
	縄文	15-G2	SK　308	埋土	1	1	18		4			24
	縄文	15-G2	SK　334	埋土			3				3	6
総計					1	1	22	1	5	1	3	34

第２表　縄文時代　出土遺物観察一覧

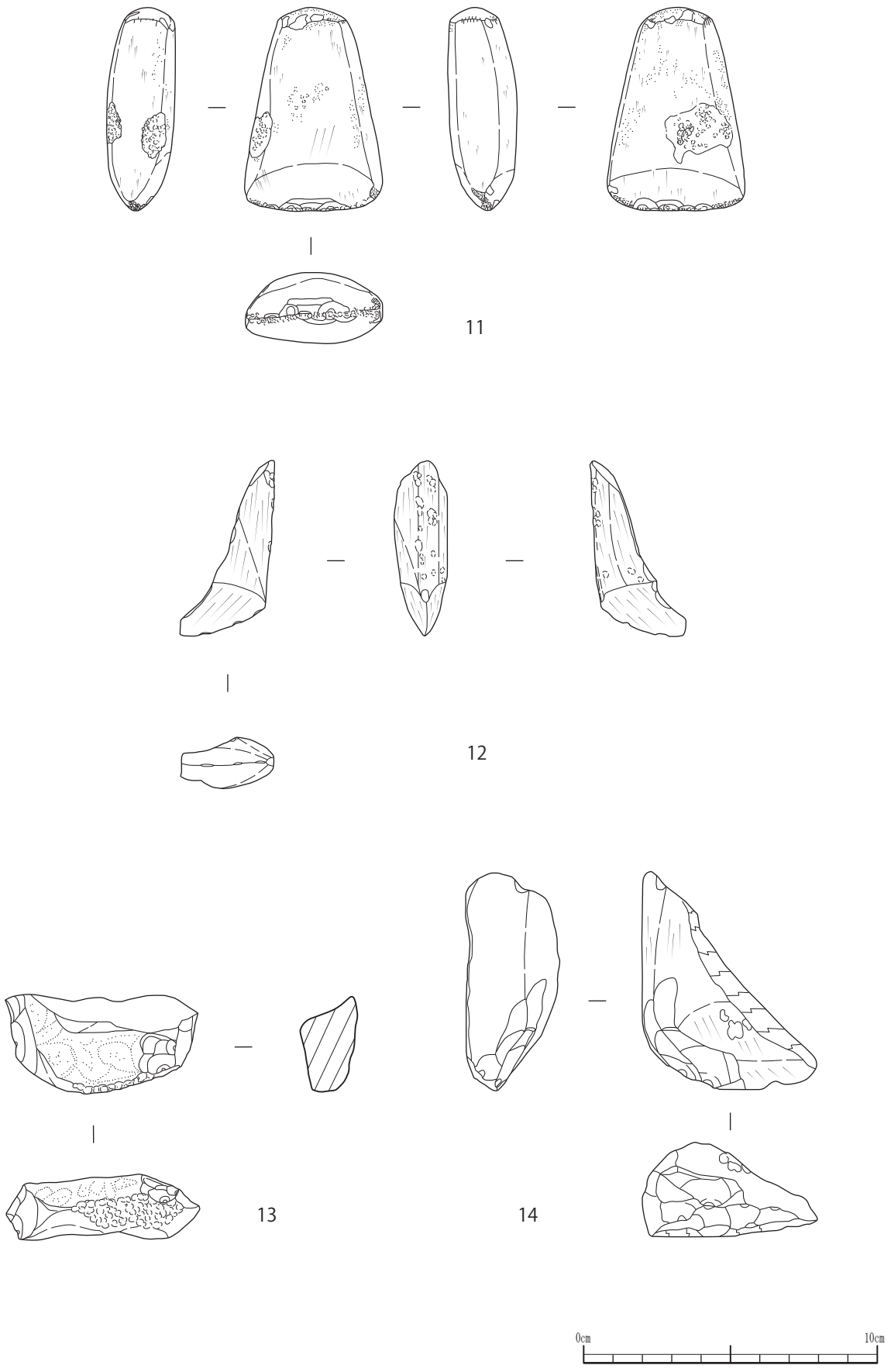
挿図番号 図版番号		種類	器種	分類	部位	法量（cm） 口径 (長軸)	底径 (短軸)	器高 (厚さ)	観察事項	地区	出土地	遺構時期
第 17 図 図版 5	1	土器	深鉢	縄文 室川式	口縁部	—	—	—	口縁部はナデによって平坦面をつくりだし、やや口唇部が張り出している。内外面とも指頭圧痕が残り、ナデ調整を施している。胎土は砂粒を多く含んだ砂質で明褐色～暗赤褐色。	X	SK308 埋土	縄文
	2	土器	壺	縄文 宇座浜式	口縁部	—	—	—	口縁部断面は玉縁状に近い三角形。指頭圧痕が残る。胎土は砂質で白色粒や長石を含む黒褐色。	X	SD1 埋土	近世～近代
	3	土器	深鉢	縄文 宇座浜式	口縁部	[17.5]	—	—	口縁部に粘土を貼り付けて断面三角形状に肥厚させる。指頭圧痕が残る。胎土は砂質で橙色。	X	SK308 埋土	縄文
	4	土器	壺	縄文 宇座浜式	口縁部	—	—	—	口縁部断面は三角形状。指頭圧痕が残る。胎土は砂質で白色粒や長石を含む明赤褐色～にぶい黄褐色。	X	SD3 埋土	近世～近代
	5	土器	深鉢	縄文 宇座浜式	口縁部	—	—	—	口縁部に粘土を貼り付けて肥厚させる。指頭圧痕やナデ調整が施される。胎土は白色粒などを含んだ砂質気味の泥質で、内外面ともにぶい橙色。	XI	Ⅲ層	—
	6	土器	深鉢	縄文 宇座浜式	口縁部	—	—	—	口縁部断面は玉縁状に近い三角形。指頭圧痕が残る。内外面とも指頭圧痕が残り、ナデ調整を施している。胎土は砂粒を含むやや砂質気味な泥質で明褐色～暗灰色。	X	SK210 埋土	グスク
	7	土器	深鉢	縄文 仲原式	胴部	—	—	—	胴部に弧状の突帯を貼り付ける。内外面ともナデ調整が施されるが、突帯付近に指頭圧痕が残る。胎土は砂粒を多く含む砂質で、内外面とも赤褐色～黒褐色。	XI	Ⅲ層	—
	8	土器	深鉢	縄文 仲原式	胴部	—	—	—	胴部に突帯を貼り付けているが、先端分は欠損している。内外面ともナデ調整が施されるが、突帯付近に指頭圧痕が残る。胎土は白色粒や赤色粒を含む砂質で、内外面とも橙色。	XI	Ⅲ層	—
	9	土器	深鉢	縄文 宇座浜式 or 仲原式	底部	—	—	—	内外面ともナデ調整。胎土は砂質で砂粒を多く含み黄橙色。	X	SP957 埋土	グスク
	10	土器	深鉢	縄文	底部	—	—	—	底部の破片。成形時の指頭圧痕が残る。胎土は雲母などの砂粒を含む砂質で、内外面とも橙色。	XI	Ⅲ層	—
第 18 図 図版 6	11	石器	石斧	縄文	—	6.9	4.6	2.3	角閃岩製。平面形は台形状を呈し、刃部は全面に研磨が施されている。刃部の先端は潰れている。重量：130 g	X	SD30 埋土	近世～近代
	12	石器	石斧	縄文	—	6	3.2	1.7	緑色岩製。側面を叩打で成形した後、全面を研磨。研磨によって面が形成されている。刃部の先端に潰れた箇所が認められる。重量：23.9 g	XI	Ⅲ層	—
	13	石器	石斧？	縄文	—	—	—	—	砂岩製。石斧の刃部を再利用した石器。側面に剥離による調整痕。刃部は叩打によって潰れている。重量：61.2 g	XI	Ⅳ層上面	—
	14	石器	敲石・ 磨り石	縄文	—	7.4	5.9	3.2	輝緑岩製。石斧の転用品か。石材の長軸及び平坦面に叩打痕。側面には研磨痕がみられる。重量：121.4 g	X	Ⅲ層	—
第 19 図 図版 7	15	石器	石斧	縄文	—	7.3	4.1	2	砂岩製。刃部と着柄部の側面に磨面がみられる。着柄部と基部にかけて叩打による調整痕が認められる。重量：68.7 g	X	SX34 埋土	近世～近代
	16	石器	石斧	縄文？	—	10.2	4.3	1.1	緑色岩製。石材を叩打で整形後、全面に研磨を施す。刃部の先端は潰れている。 重量：76.5 g	XI	SD13 埋土	近世～近代
	17	石器	敲石	縄文	—	12.2	6.4	6.4	砂岩製。長軸及び平坦面に叩打痕及び磨面。重量：850 g	X	SP65 埋土	グスク
第 20 図 図版 8	18	石器	凹み石	縄文	—	9.7	8.5	8.5	ニービ製。石材の角及び平坦面の中心部に叩打痕。重量：990 g	X	SK355 埋土	近世～近代
	19	石材	石核	縄文	—	7.8	7.7	5.4	薄い青色のチャート製の石核。長軸方向及び短軸方向からの剥離によって、剥片を作り出している。剥離の方向は、短軸方向よりも長軸方向からが多い。また、長軸方向の剥離面を短軸方向のものと切り合っていることから、長軸方向から剥離した後、短軸方向から剥離を行ったと考えられる。重量：550 g	XI	SD13 埋土	近世～近代



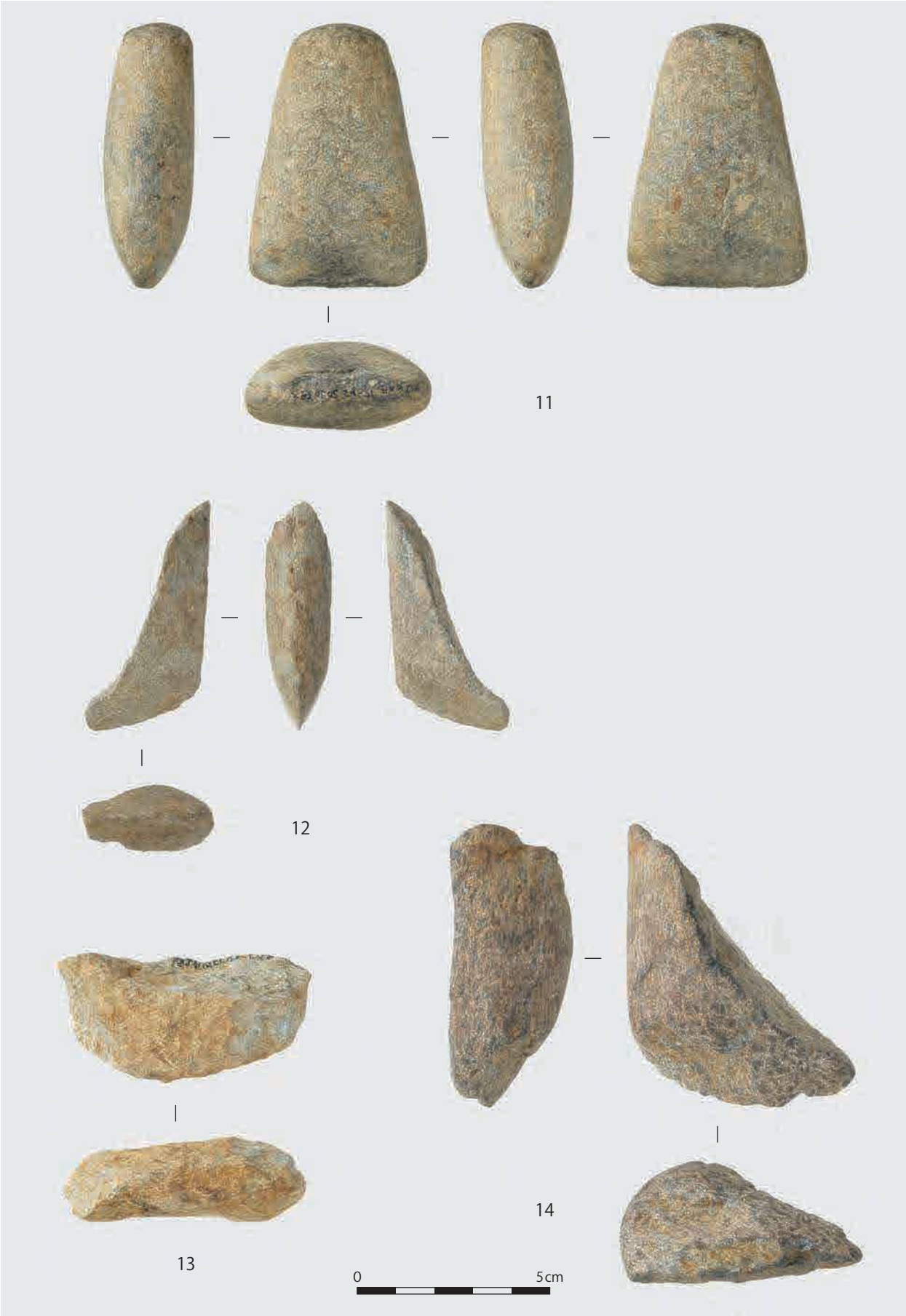
第 17 図　縄文時代　出土遺物 1



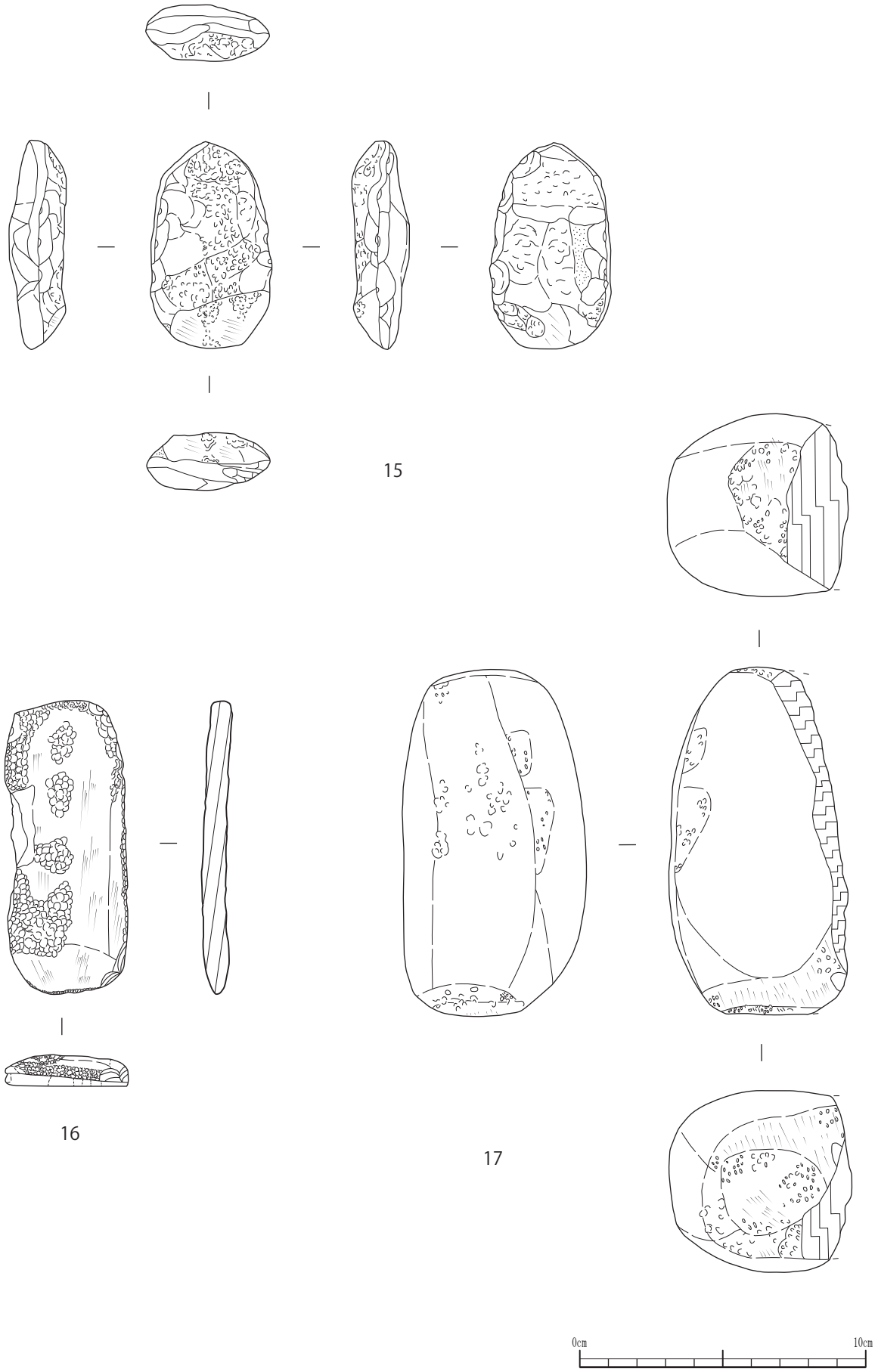
図版５　縄文時代　出土遺物１



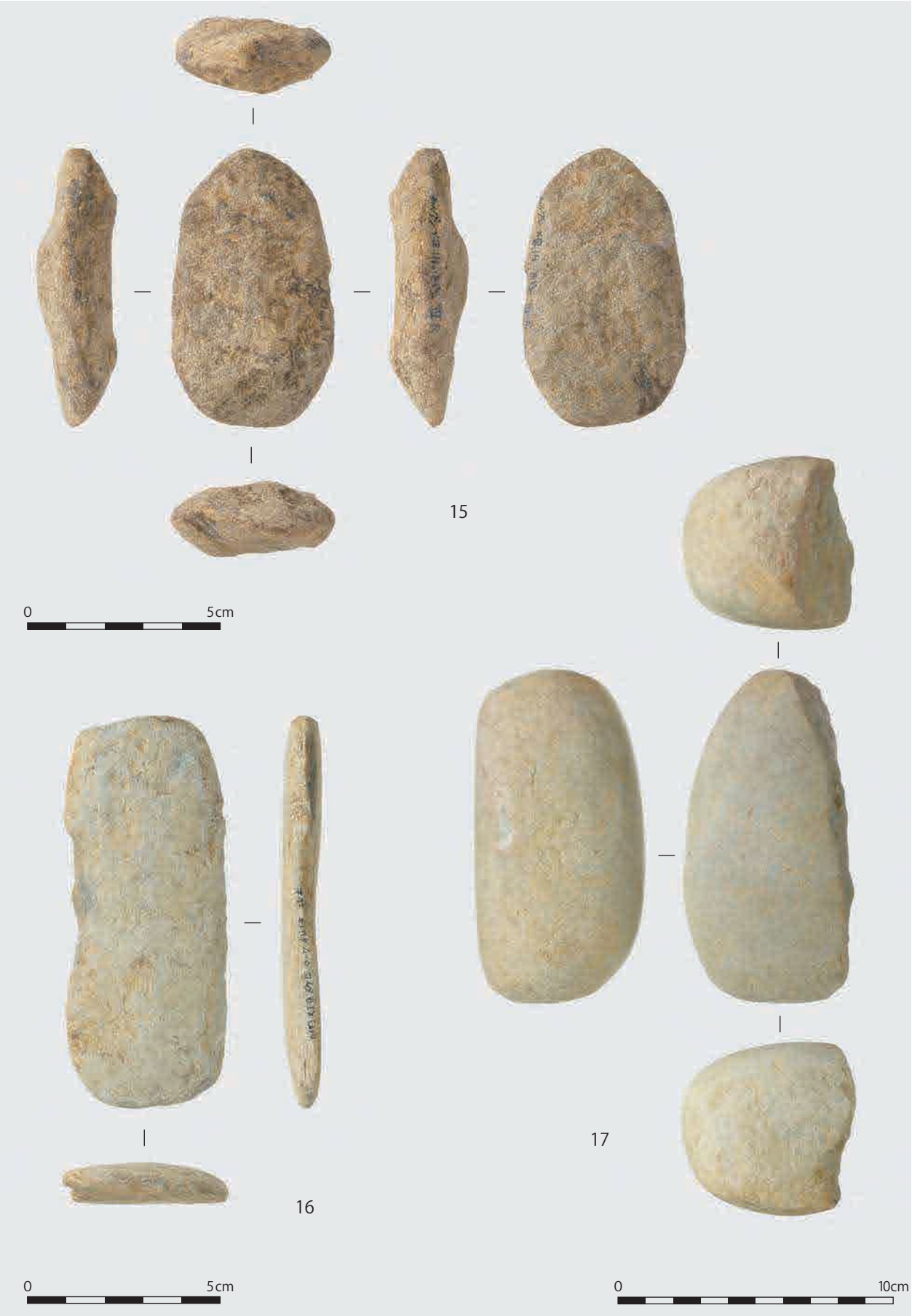
第 18 図　縄文時代　出土遺物 2



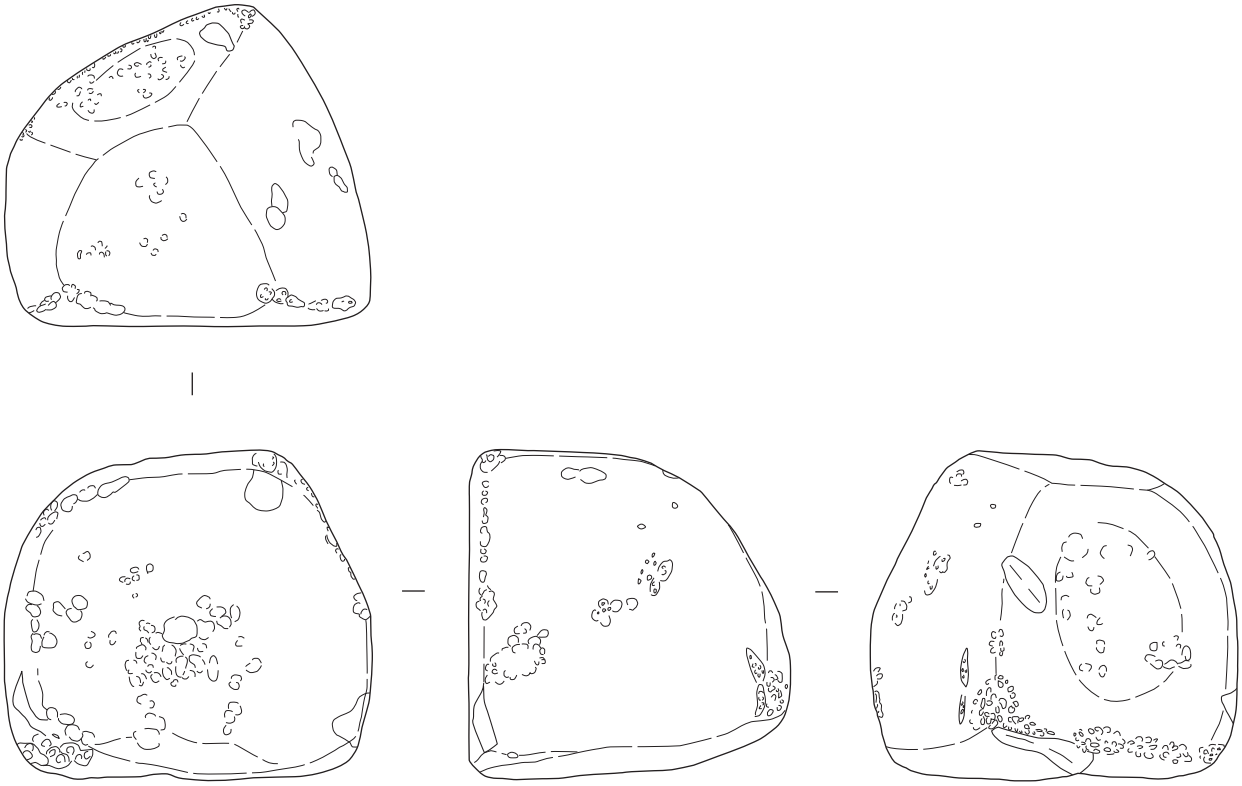
図版６　縄文時代　出土遺物２



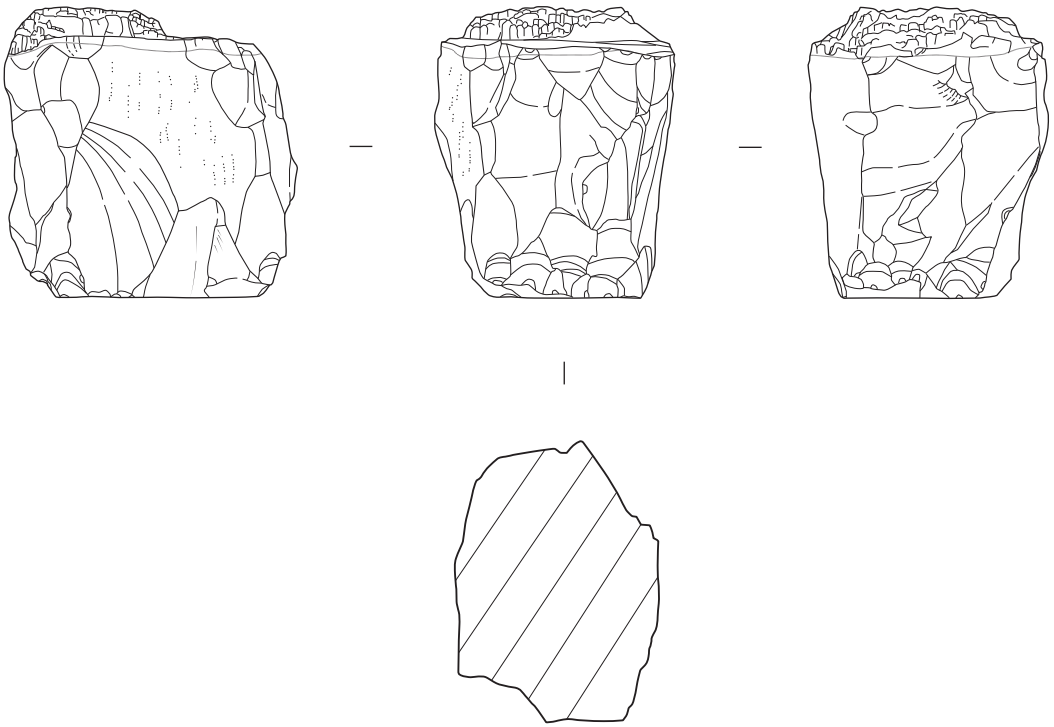
第 19 図　縄文時代　出土遺物 3



図版７　縄文時代　出土遺物３



18



19

第 20 図　縄文時代　出土遺物 4

図版８　縄文時代　出土遺物４

第４節グスク時代

第１項　遺構

グスク時代の遺構はＸ～XII 地区において、掘立柱建物跡、柵列、土坑、ピットが確認されている。遺構の殆どはピットであり、埋土は暗褐色の砂質土を呈する。Ｘ地区においては、ピット群の中で柱穴として認められ、掘立柱建物跡のプランとして想定できたものもある。

１　掘立柱建物跡

掘立柱建物跡は、Ｘ地区で 25 棟検出された。これら掘立柱建物跡は、主屋と高床式倉庫跡に想定されるものがある。報告の便宜上、平面形や構造から建物跡の分類を行い、遺構番号を再度付した。その結果、瑞慶覧病院地区におけるグスク時代掘立柱建物跡は、平面形から以下のようにＡ～Ｅ群に分類でき、建物跡の性格としては、Ａ～Ｃ群は主屋、Ｄ群は大型建物、Ｅ群は高床式倉庫と考えられる。

ここでは各分類の概要を述べ、個々の建物跡の詳細については観察表に記載する。なお掘立柱建物跡の分類に際しては、宮城弘樹氏による分類（宮城 2006、宮城ほか 2007）を参考にした。

A 群　柱筋が整わないもの（堀立柱建物跡１・２号）柱筋が整わずに歪むもので長方形･方形のものがある。掘立柱建物跡１号は、長方形のプランで、白磁Ⅳ類玉縁碗（第 50 図 39）が出土した。掘立柱建物２号は、方形状のプランを呈する。

B 群　中柱建物１種（堀立柱建物跡３～ 10 号）長方形のプランで、中央に中柱を有するものである。掘立柱建物跡７～９号の規模は、概ね 30㎡前後で規格性は高い。桁行の向きは概ね北西－南東方向で揃う。掘立柱建物跡５号からはグスク土器甕口縁部（第 47 図 18）、掘立柱建物跡７号からは滑石製品（第 49 図 35）、掘立柱建物跡９号からは石鍋模倣土器（第 46 図１・２）及び滑石混入土器（第 48 図 21）が出土した。

C 群　中柱建物２種（堀立柱建物跡 11 ～ 13 号）長方形のプランで、間仕切りがあるものや庇付建物をまとめた。掘立柱建物跡 11 号は中柱による間仕切りがある。平面プランはＢ群に類似しており、桁行の向きは北西－南東方向である。掘立柱建物跡 12 号は北側に庇が付く建物である。

D 群　大型建物（掘立柱建物跡 13 号）掘立柱建物跡 13 号は、撹乱により北側のプランは不明であるが、６本柱の中柱を持つ大型建物跡であった可能性がある。この 13 号とＣ群の掘立柱建物跡 12 号は、桁行の向きは西北西－東南東方向で揃っている。グスク時代初期の大型建物については、喜界島城久遺跡群山田半田遺跡、半田口遺跡など（喜界町教委 2009、2013ab）や北谷町小堀原遺跡（北谷町教委 2012）に類例がある（宮城 2014）。この 13 号からは、白磁Ⅳ類玉縁碗（第 50 図 40）が出土している。

E 群　高床式倉庫（掘立柱建物跡 14 ～ 25 号）高床式倉庫と考えられる４本・６本・９本柱配置の建物跡である。掘立柱建物跡 14 ～ 16 号は４本柱建物で、面積は概ね３～４㎡である。14・16 号は方形のプランであるが、16 号は長方形状のプランとなる。16 号の柱穴（SK422・SP1357・SP1383）や周辺の SP1378・SP1368・SP1420 の埋土からは、軽石が出土している。最も多く出土した SK422 では柱掘方埋土から 84 点出土している。掘立柱建物 17 ～ 23 号は６本柱建物で、桁行の向きは 17・18 号が西北西－東南東方向、19 ～ 23 号は北西－南東方向でそれぞれ揃っている。23 号の SP1382 からも軽石が出土している。掘立柱建物跡 24 号は９本柱建物で、桁行の向きは北西－南東方向である。24 号 SP53 内より地下式礎石が出土している。遺物は 24 号から滑石製品（第 49 図 34）が出土している。

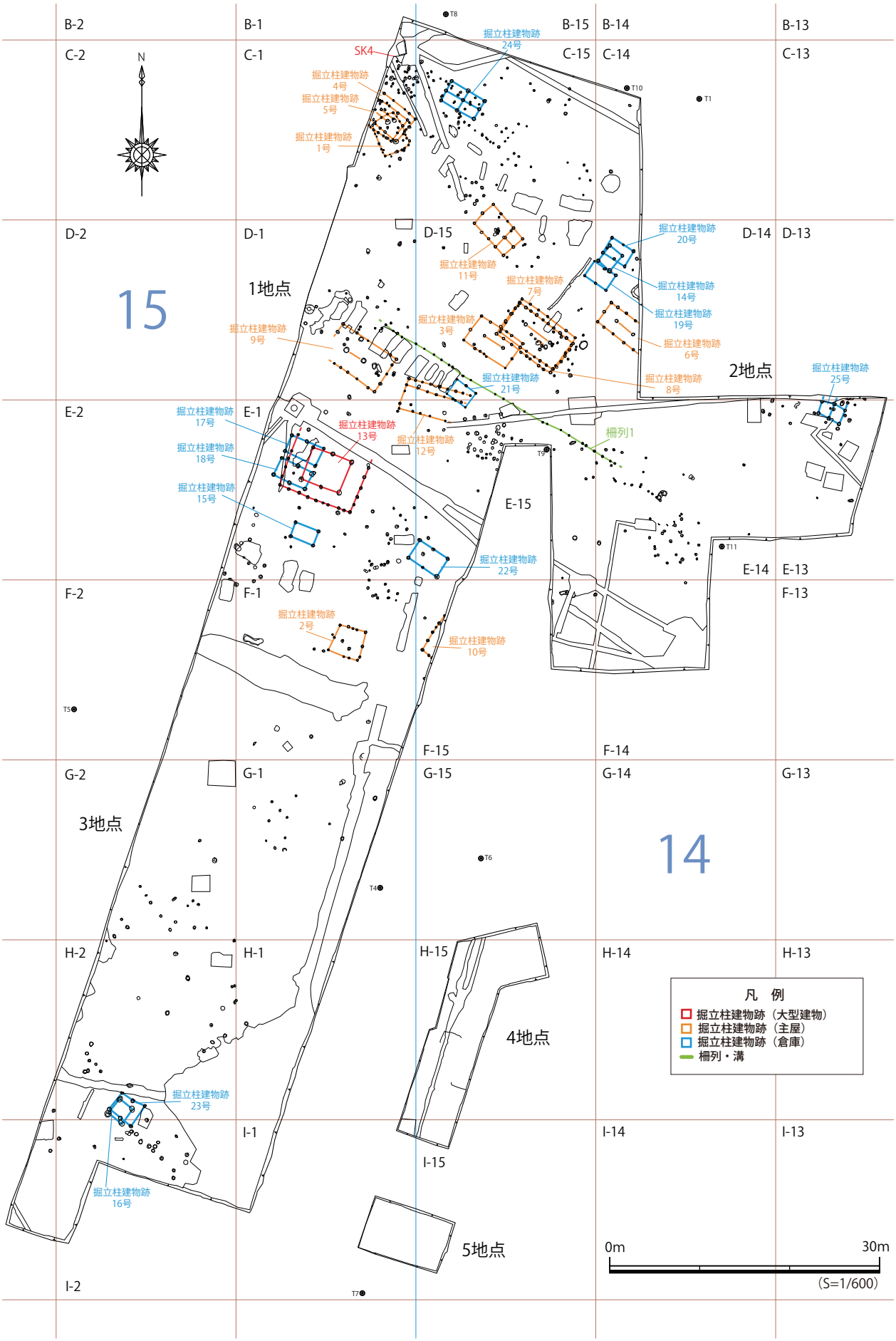
第３表　掘立柱建物跡・柵列一覧（Ｘ地区）

遺構名	旧遺構名	地区	グリッド	分類	方位（90 度式）	桁行（長軸）構造（間）	桁行（長軸）規模（m）	梁行（短軸）構造（間）	梁行（短軸）規模（m）	面積（㎡）	出土遺物	備考
掘立柱建物跡1号	SB4	X	15 －C 1	A	北北西－南南東（北 26 度西）	6	3.9	4	2.7	10.5	SP180・SP203・SP207・SP213・SP220・SP223・SP225・SP227・SP228・SP232（グスク土器）、SP233（白磁Ⅳ類:第 50 図 39）、SP220（縄文土器）	長方形
掘立柱建物跡2号	SB27	X	15 －F 1	A	—	4	3.6	2	2.8	10	SP1146（グスク土器）	方形
掘立柱建物跡3号	SB11	X	14 －D 15	B	北西－南東（北 57 度西）	5	5.5	2	3.3	18.2	SP404（グスク土器）、SP445（不明土器）、SP753（石材：砂岩）	
掘立柱建物跡4号	SB2	X	15 －C 1	B	北西－南東（北 55 度西）	—	—	3	3.3	—	SK10・SP204（グスク土器）、SK10（焼土）	
掘立柱建物跡5号	SB3	X	15 －C 1	B	北西－南東（北 55 度西）	—	—	3	3	—	SK8（グスク土器甕:第 47 図 18）、SP216・SP217（グスク土器）	
掘立柱建物跡6号	SB8	X	14 －D 14	B	北西－南東（北 53 度西）	—	—	2	2.5	—	SP537（グスク土器、鉄滓）、SP524・SP532（焼土）、SP532（石材：砂岩）	
掘立柱建物跡7号	SB9	X	14 －D 15	B	北西－南東（北 55 度西）	6	7.2	3	4.2	30.2	SP382（滑石製品:第 49 図 35）、SP763（縄文土器）	8号に切られる
掘立柱建物跡8号	SB10	X	14 －D 15	B	北西－南東（北 54 度西）	9	7.4	5	4.1	30.3	SP551・SP725・SP735・SP736（グスク土器）、SP399（鉄滓）	7号を切る。
掘立柱建物跡9号	SB15	X	15 －D 1	B	北西－南東（北 58 度西）	(5)	7	4	4.3	(30.1)	SK83（グスク土器鍋Ａ：第 48 図 21）、SP470（グスク土器鍋Ａ：第 46 図 1・2）	
掘立柱建物跡 10 号	SB26	X	14 －F 15	B	—	—	—	—	—	—	SP1137（焼土、石材：砂岩）	
掘立柱建物跡 11 号	SB12	X	14 －C・D 15	C	北西－南東（北 43 度西）	4	5	2	2.8	14	SP259・SP307・SP310（グスク土器）、SP259・SP265・SP270（焼土）	
掘立柱建物跡 12 号	SB13	X	14 －D・E 15 15 －D・E1	C	西北西－東南東（北 75 度西）	—	—	4 (3)	3.4 (2.7)	—		1面庇
掘立柱建物跡 13 号	SB16	X	15 －E 1	D	西北西－東南東（北 70 度西）	9 (2)	8.3 (4.5)	— (1)	— (3.7)	—	SP1024・SP1031・SP1041・SP1053（グスク土器）、SP1032（白磁Ⅳ類：第 50 図 40）、SP1023（敲石）、SP1042（鉄滓）	大型建物か
掘立柱建物跡 14 号	SB6	X	14 －D 14	E	—	1	2.2	1	1.7	3.7		4本柱
掘立柱建物跡 15 号	SB21	X	15 －E1	E	—	1	2.7	1	1.7	4.6	SP1067（滑石混入土器）	4本柱
掘立柱建物跡 16 号	SB30	X	15 －H・I 2	E	—	1	2	1	1.7	3.4	SK421、SP1383（グスク土器）、SK422（縄文土器）、SK422・SP1357・SP1383（軽石）	4本柱
掘立柱建物跡 17 号	SB18	X	15 －E1	E	西北西－東南東（北 67 度西）	2	3.8	1	1.9	7.2		6本柱
掘立柱建物跡 18 号	SB19	X	15 －E1	E	西北西－東南東（北 67 度西）	2	3.8	1	2	7.6	SP1035（グスク土器）、SP1027（白磁Ⅳ類）	6本柱
掘立柱建物跡 19 号	SB7	X	14 －D 14・15	E	北西－南東（北 57 度西）	2	2.8	1	1.9	5.3	SP282（グスク土器）、SP290（石材：絹雲母片岩）	6本柱
掘立柱建物跡 20 号	SB5	X	14 －D 14	E	北西－南東（北 59 度西）	2	2.8	1	1.9	5.3	SP275（グスク土器）	6本柱
掘立柱建物跡 21 号	SB14	X	14 －D・E 15	E	北西－南東（北 55 度西）	2	2.6	1	1.9	4.9	SP456・SP818（グスク土器）	6本柱
掘立柱建物跡 22 号	SB20	X	14 －E 15 15 －E1	E	北西－南東（北 57 度西）	2	3.7	1	2.3	8.5	SP992（グスク土器）	6本柱
掘立柱建物跡 23 号	SB29	X	15 －H・I 2	E	北西－南東（北 54 度西）	2	2	1	1.5	3	SP1381（グスク土器）、SP1382（軽石）	6本柱
掘立柱建物跡 24 号	SB1	X	14 －C 15	E	北西－南東（北 60 度西）	2	4.3	1	2.3	9.9	SP27・SP29・SP45・SP65・SP68（グスク土器） SP65（滑石製品：第 49 図 34、敲石：第 19 図 17）、SP29（石材:ニービ）、SP53（縄文土器）、SP58（焼土）	9本柱、地下式礎石
掘立柱建物跡 25 号	SB22	X	14 －D・E 13	E	—	—	—	2	2.5	—	SP571・SP578・SP949（グスク土器）、SP957（縄文土器：第 17 図 9）、SP571（石材：砂岩）	9本柱か
柵列1	SA2	X	14 －E 14、D・E 15、15 －D1	—	北西－南東（北 59 度西）	—	—	—	—	—	SP822（縄文土器）	

第４表　掘立柱建物跡一覧（Ⅰ～Ⅸ地区・過年度報告遺構）

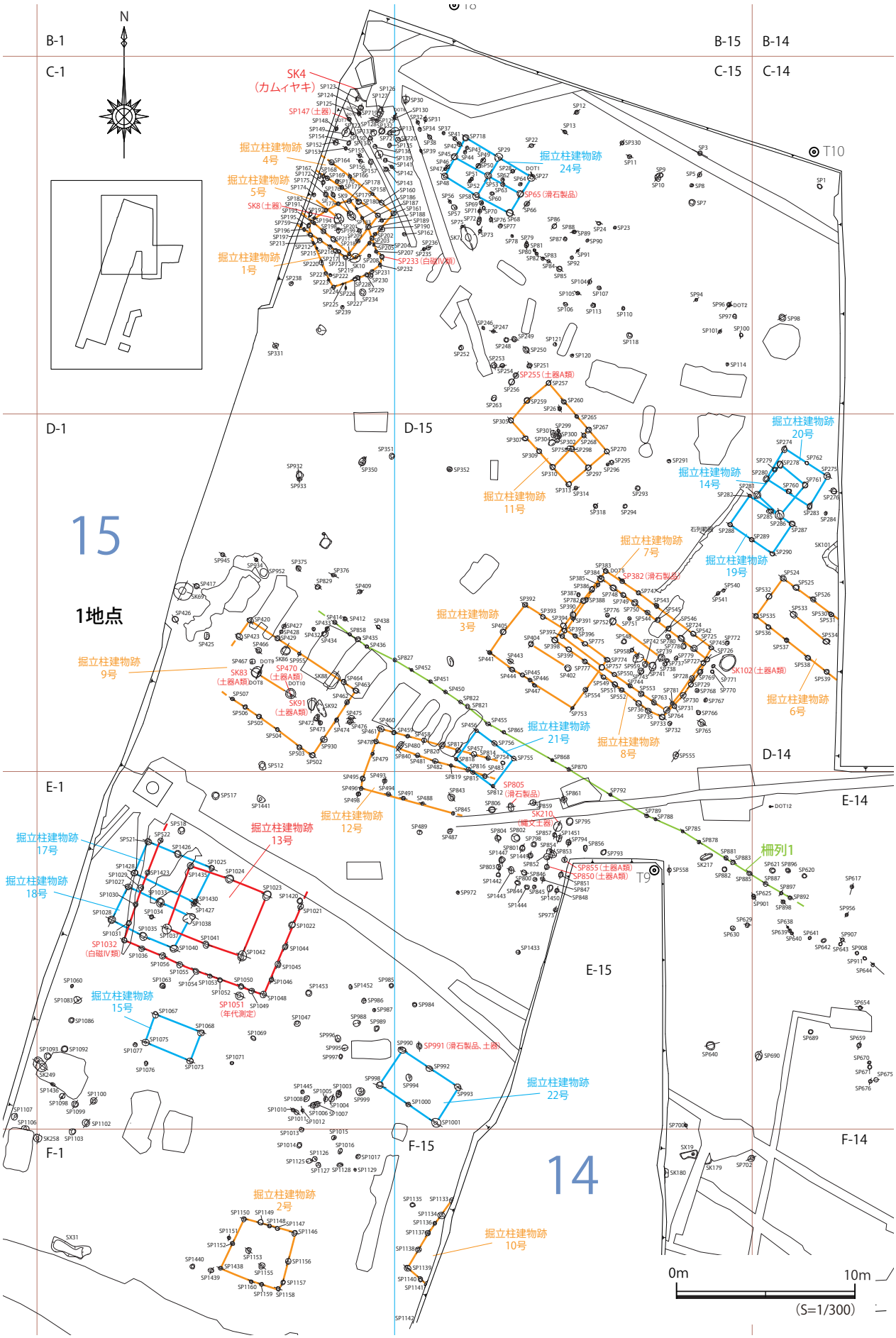
遺構名	旧遺構名	地区	グリッド	分類	方位（90 度式）	桁行（長軸）構造（間）	桁行（長軸）規模（m）	梁行（短軸）構造（間）	梁行（短軸）規模（m）	面積（㎡）	出土遺物	備考
掘立柱建物1	柱穴プラン 3	Ⅰ	15 －D7	E	—	1	1.7	1	1.4	2.3		4本柱
掘立柱建物2	柱穴プラン 6	Ⅰ	15 －D7	E	—	1	1.4	1	1	1.4		4本柱
掘立柱建物3	柱穴プラン 5	Ⅰ	15 －D7	E	北東－南西（北 31 度東）	2	3.8	1	2.4	9.1		6本柱
掘立柱建物1		Ⅶ	15 －K 10・11	B	北西－南東（北 56 度西）	—	5	5	3.5	17.5	SP359（グスク土器）、SP480（縄文土器）、SP359・SP473（不明土器）、SP422（磨石）	
掘立柱建物2		Ⅶ	15 －L 11	E	北西－南東（北 54 度西）	2	3.2	1	2.1	6.7	SP370・SP383（グスク土器）、SP383（焼土）	6本柱
掘立柱建物3	プラン 1	Ⅶ	15 －I 12	E	東－西（北 83 度西）	2	3.6	1	2.4	8.6	SP52（グスク土器鍋）、SP34（焼土）、SP35（縄文土器）	
掘立柱建物8		Ⅷ	15 －H 3・4	C	北東－南西（北 56 度東）	—	—	—	—	—	SP282（縄文土器）	1面庇か
掘立柱建物4		Ⅸ	15 －K 6	B	北西－南東（北 49 度西）	—	—	—	—	—	SP701・SP706・SP703・SP711（縄文土器）、SP711（不明土器）、SP703（炭）	
掘立柱建物5		Ⅸ	15 －L 6	E	北西－南東（北 45 度西）	2	3.2	1	2.2	7	SP677（石材）	6本柱
掘立柱建物6		Ⅸ	15 －K・L 3	E	北北東－南南西（北 20 度東）	2	3.2	2	2.4	7.6	SP611（縄文土器）	9本柱
掘立柱建物7		Ⅸ	15 －K 1・2	B	東－西（北 80 度西）	—	—	—	—	—	SP429（グスク土器）	

※瑞慶覧病院地区報告書1・3（沖縄県立埋蔵文化財センター 2015a・2016）から、掘立柱建物跡の構造及び計測値などを転載し、遺構分類記号など一部加筆。



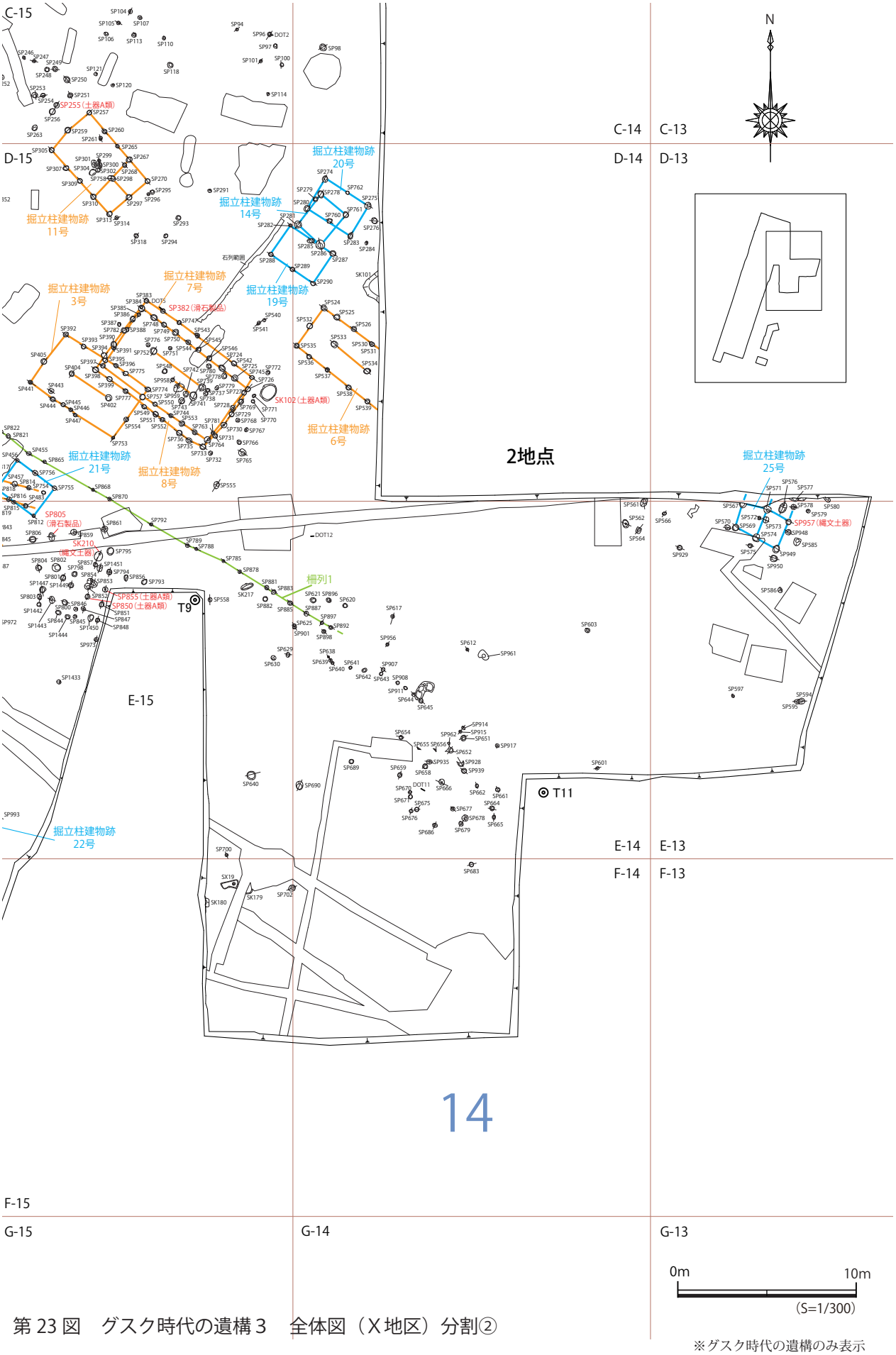
第 21 図　グスク時代の遺構１　全体図（Ｘ地区）

※グスク時代の遺構のみ表示



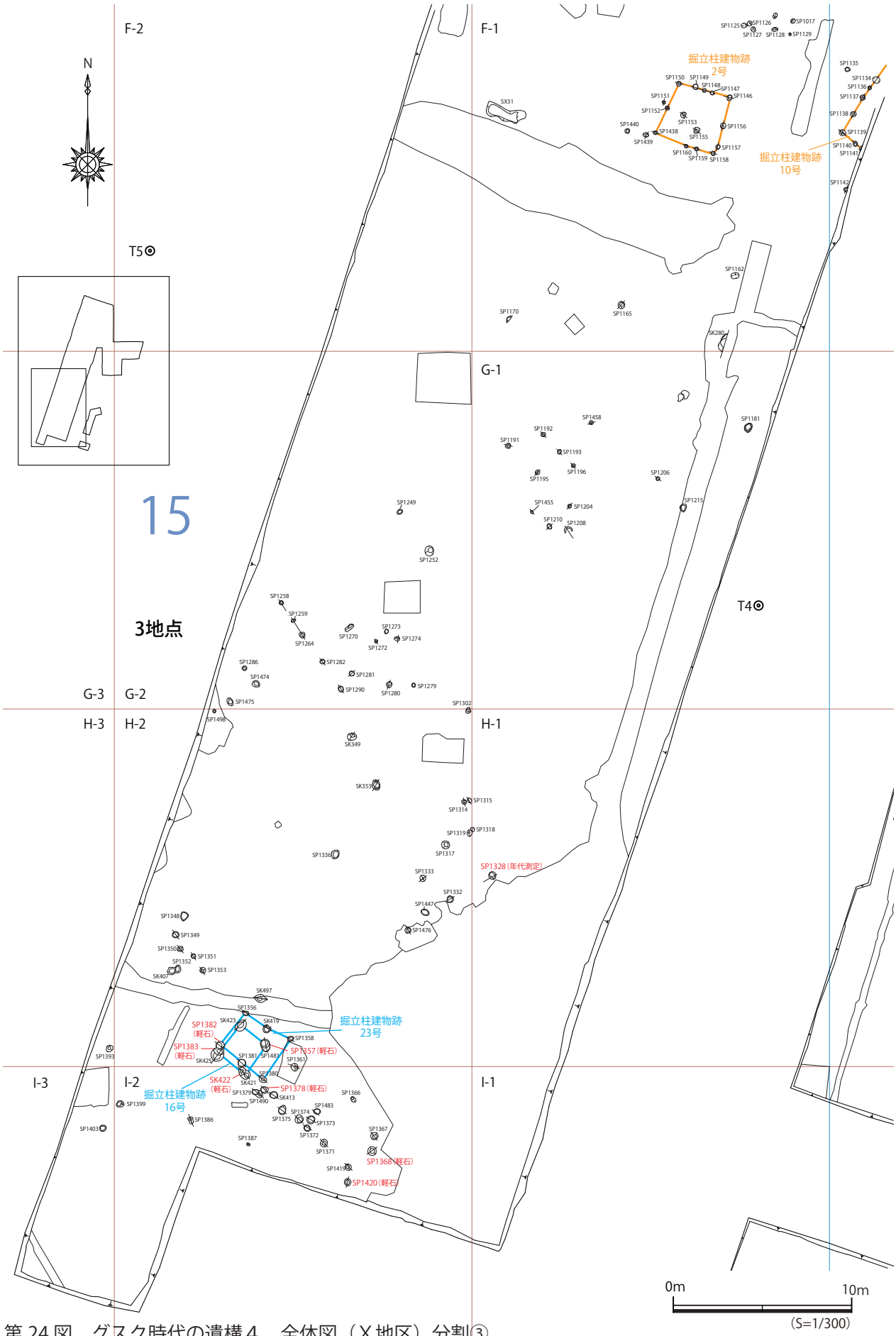
※グスク時代の遺構のみ表示

第 22 図　グスク時代の遺構２　全体図（Ｘ地区）分割①



第 23 図　グスク時代の遺構３　全体図（Ｘ地区）分割②

※グスク時代の遺構のみ表示

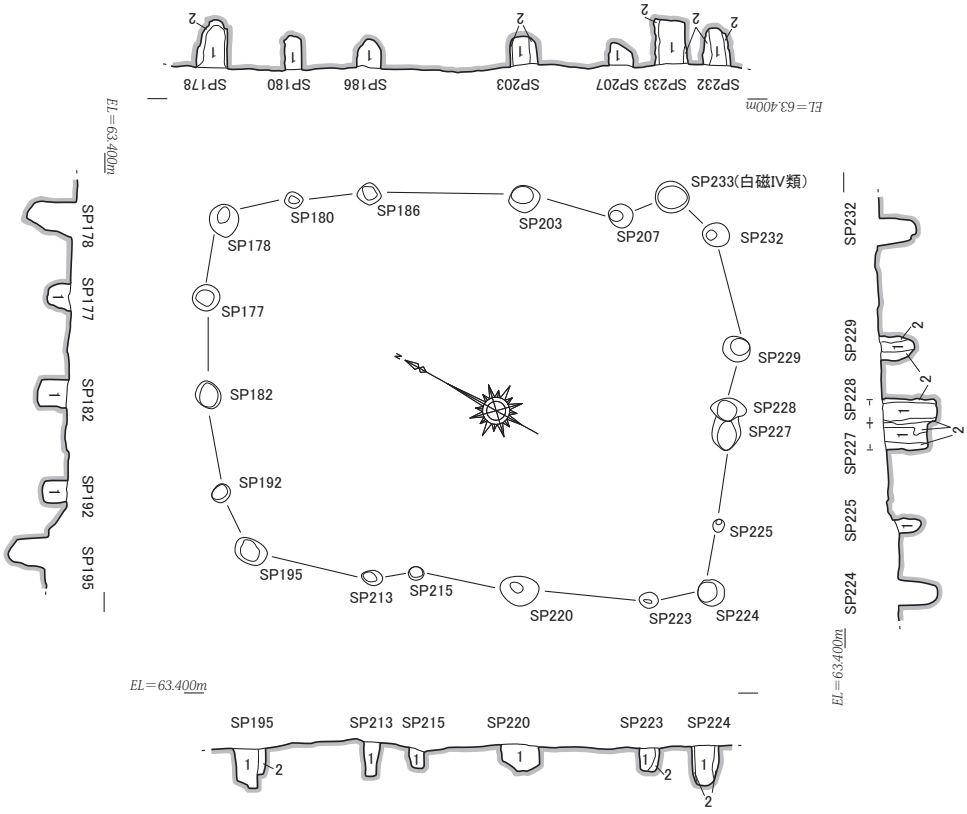


第 24 図　グスク時代の遺構４　全体図（Ｘ地区）分割③

※グスク時代の遺構のみ表示

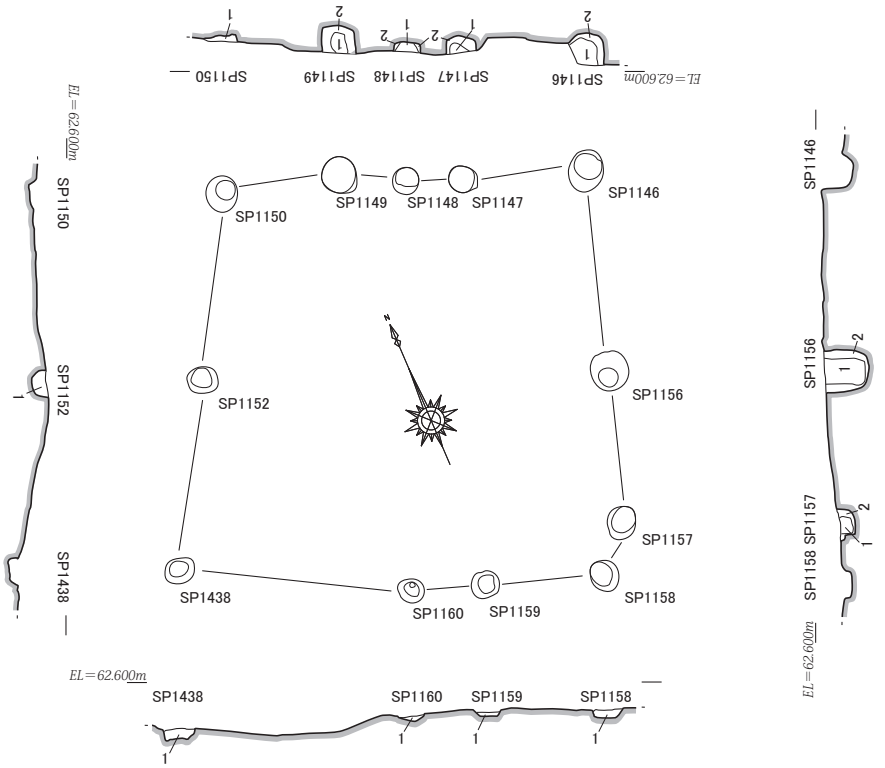
掘立柱建物跡１号

SP177	1	10YR3/4	暗褐色	
SP178	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	7.5YR5/8	明褐色	
SP180	1	10YR3/4	暗褐色	
SP182	1	10YR3/4	暗褐色	
SP186	1	7.5YR4/4	褐色	
SP192	1	10YR3/4	暗褐色	
SP195	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	7.5YR5/6	明褐色	
SP203	1	7.5YR4/4	褐色	柱痕
	2	7.5YR4/3	褐色	
SP207	1	10YR3/4	暗褐色	
SP213	1	10YR4/4	褐色	
SP215	1	10YR4/4	褐色	
SP220	1	10YR4/4	褐色	
SP223	1	7.5YR4/4	褐色	柱痕
	2	7.5YR4/4	褐色	
SP224	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SP225	1	10YR3/4	暗褐色	
SP227	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SP228	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SP229	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	
SP232	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	
SP233	1	7.5YR4/4	褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	



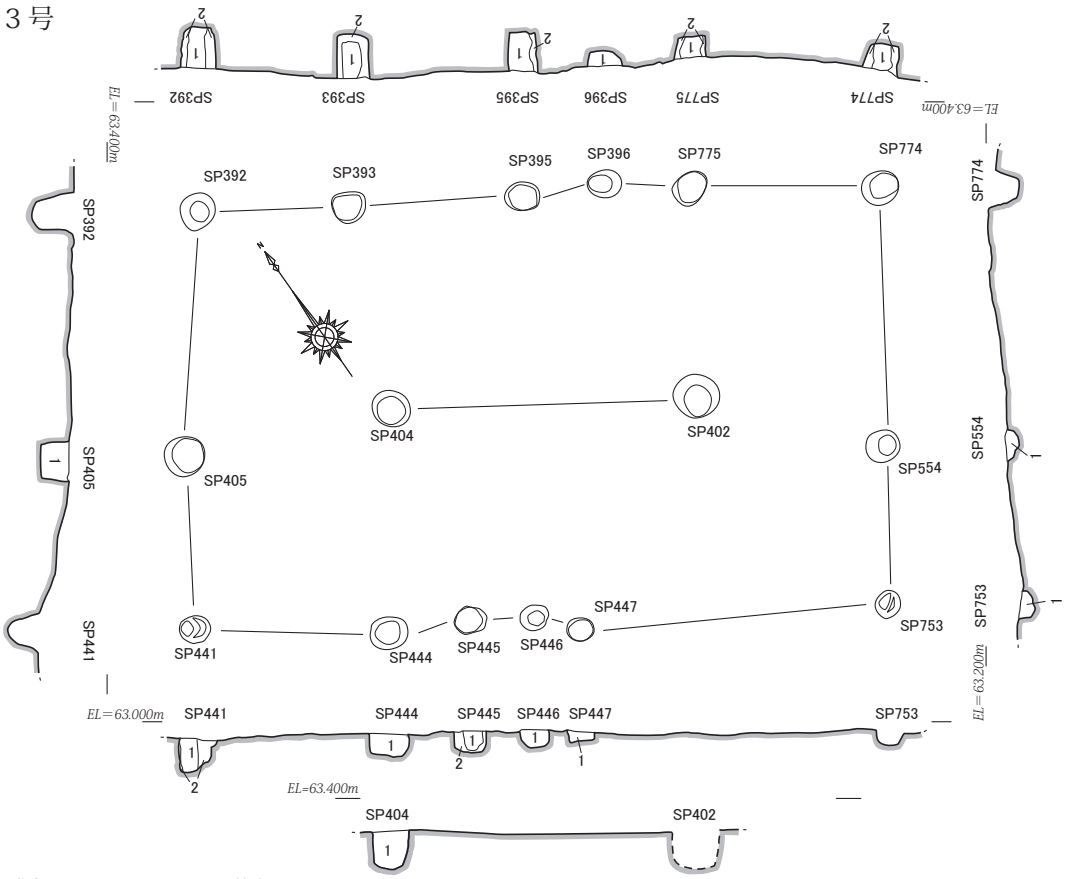
掘立柱建物跡２号

SP1146	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SP1147	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP1148	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/3	鈍黄褐色	
SP1149	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/3	暗褐色	
SP1150	1	10YR3/4	暗褐色	
SP1152	1	10YR3/4	暗褐色	
SP1156	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/3	暗褐色	
SP1157	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SP1158	1	10YR3/4	暗褐色	
SP1159	1	10YR3/3	暗褐色	
SP1160	1	10YR3/3	暗褐色	
SP1438	1	10YR3/3	暗褐色	



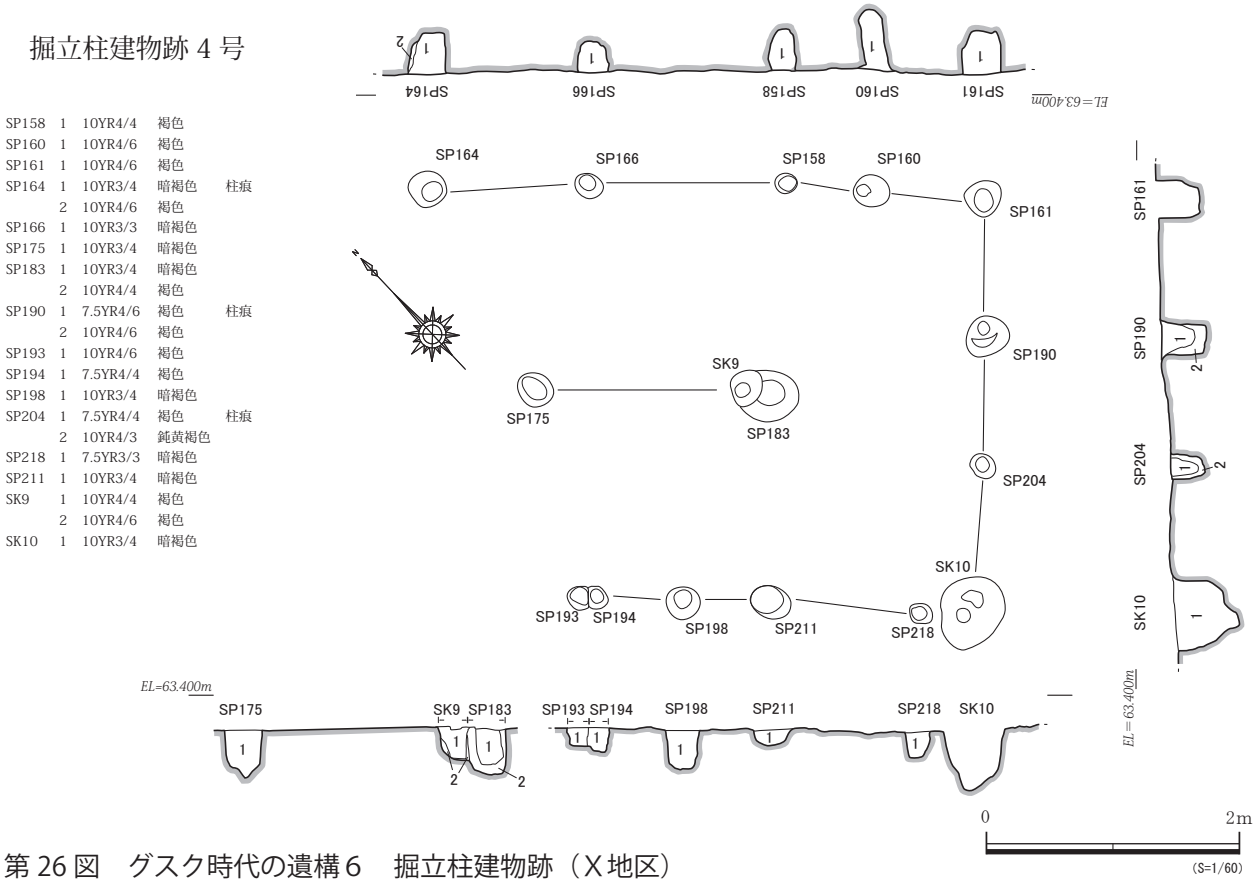
第 25 図　グスク時代の遺構５　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡３号



SP392	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕	SP396	1	10YR3/4	暗褐色		SP445	1	10YR4/3	鈍黄褐色	柱痕	SP753	1	10YR3/4	暗褐色	
	2	10YR4/4	褐色		SP404	1	10YR3/4	暗褐色			2	10YR3/3	暗褐色		SP774	1	10YR4/3	鈍黄褐色	柱痕
SP393	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕	SP405	1	10YR4/4	褐色		SP446	1	10YR3/3	暗褐色			2	10YR4/4	褐色	
	2	10YR4/4	褐色		SP441	1	10YR4/3	鈍黄褐色	柱痕	SP447	1	10YR5/8	黄褐色		SP775	1	10YR4/4	褐色	柱痕
SP395	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕		2	10YR3/3	暗褐色		SP554	1	10YR3/4	暗褐色			2	10YR4/4	褐色	
	2	10YR4/6	褐色		SP444	1	10YR3/4	暗褐色											

掘立柱建物跡４号



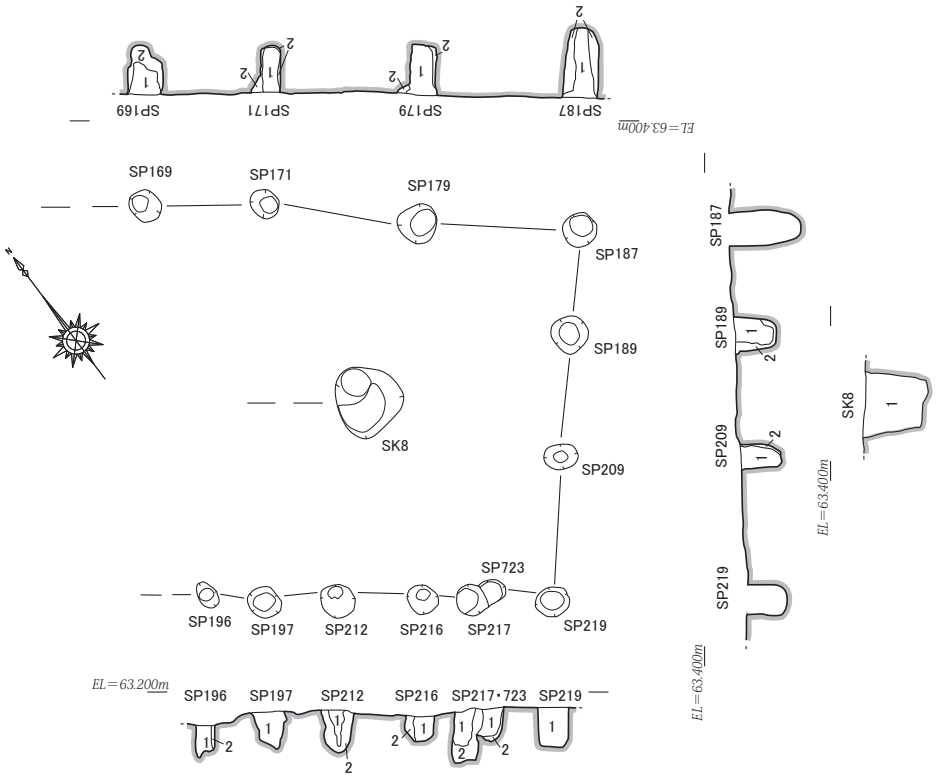
SP158	1	10YR4/4	褐色	
SP160	1	10YR4/6	褐色	
SP161	1	10YR4/6	褐色	
SP164	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	
SP166	1	10YR3/3	暗褐色	
SP175	1	10YR3/4	暗褐色	
SP183	1	10YR3/4	暗褐色	
	2	10YR4/4	褐色	
SP190	1	7.5YR4/6	褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	
SP193	1	10YR4/6	褐色	
SP194	1	7.5YR4/4	褐色	
SP198	1	10YR3/4	暗褐色	
SP204	1	7.5YR4/4	褐色	柱痕
	2	10YR4/3	鈍黄褐色	
SP218	1	7.5YR3/3	暗褐色	
SP211	1	10YR3/4	暗褐色	
SK9	1	10YR4/4	褐色	
	2	10YR4/6	褐色	
SK10	1	10YR3/4	暗褐色	

0　2m
(S=1/60)

第 26 図　グスク時代の遺構６　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

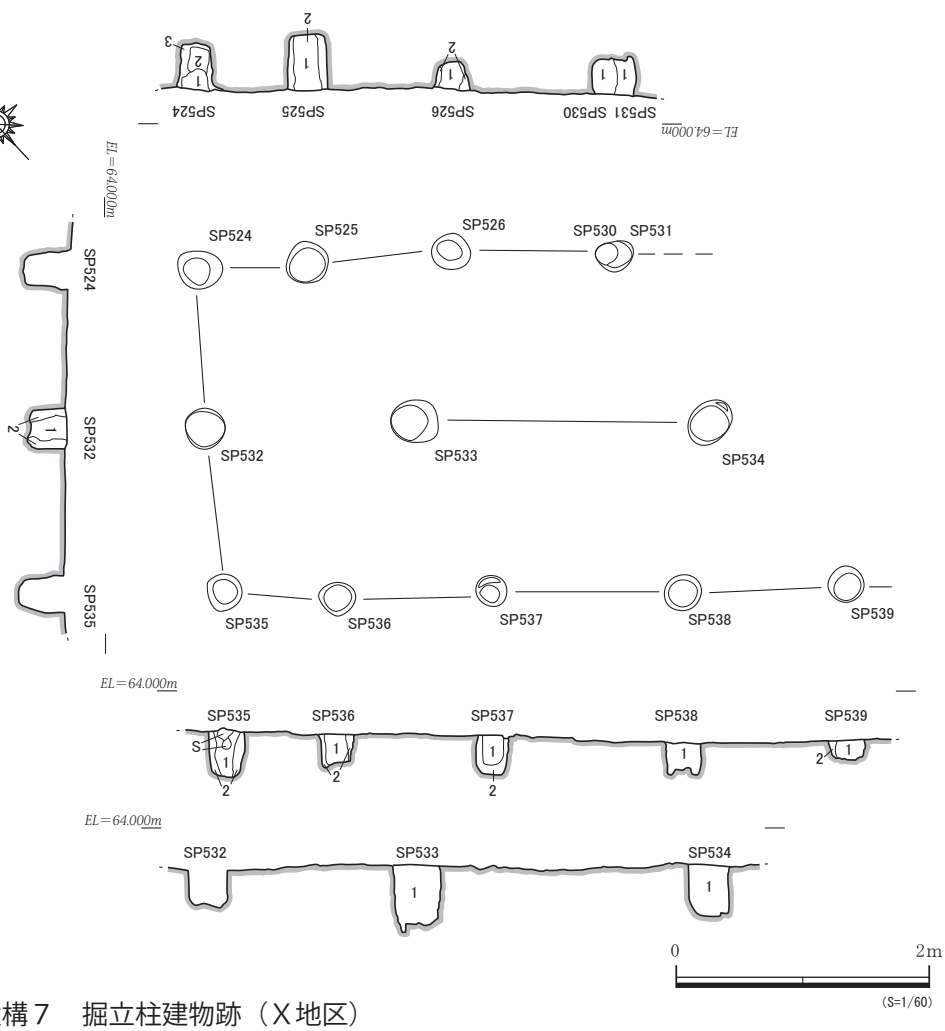
掘立柱建物跡５号

SP169	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/3	鈍黄褐色	
SP171	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP179	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP187	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP189	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	7.5YR5/8	明褐色	
SP196	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	7.5YR4/4	褐色	
SP197	1	10YR4/4	褐色	
SP209	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP212	1	10YR4/4	褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP216	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP217	1	10YR4/4	褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	
SP219	1	10YR4/4	褐色	
SP723	1	10YR4/4	褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SK8	1	10YR3/3	暗褐色	



掘立柱建物跡６号

SP524	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	柱痕
	3	10YR4/6	褐色	
SP525	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	7.5YR4/4	褐色	
SP526	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	7.5YR5/6	明褐色	
SP530	1	7.5YR4/4	褐色	
SP531	1	7.5YR5/8	明褐色	
SP532	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	7.5YR4/4	褐色	
SP533	1	10YR3/4	暗褐色	
SP534	1	10YR3/4	暗褐色	
SP535	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	
SP536	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	7.5YR4/3	褐色	
SP537	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	7.5YR4/4	褐色	
SP538	1	10YR3/4	暗褐色	
SP539	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/3	暗褐色	



第 27 図　グスク時代の遺構７　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡１号　南から

掘立柱建物跡２号　東から

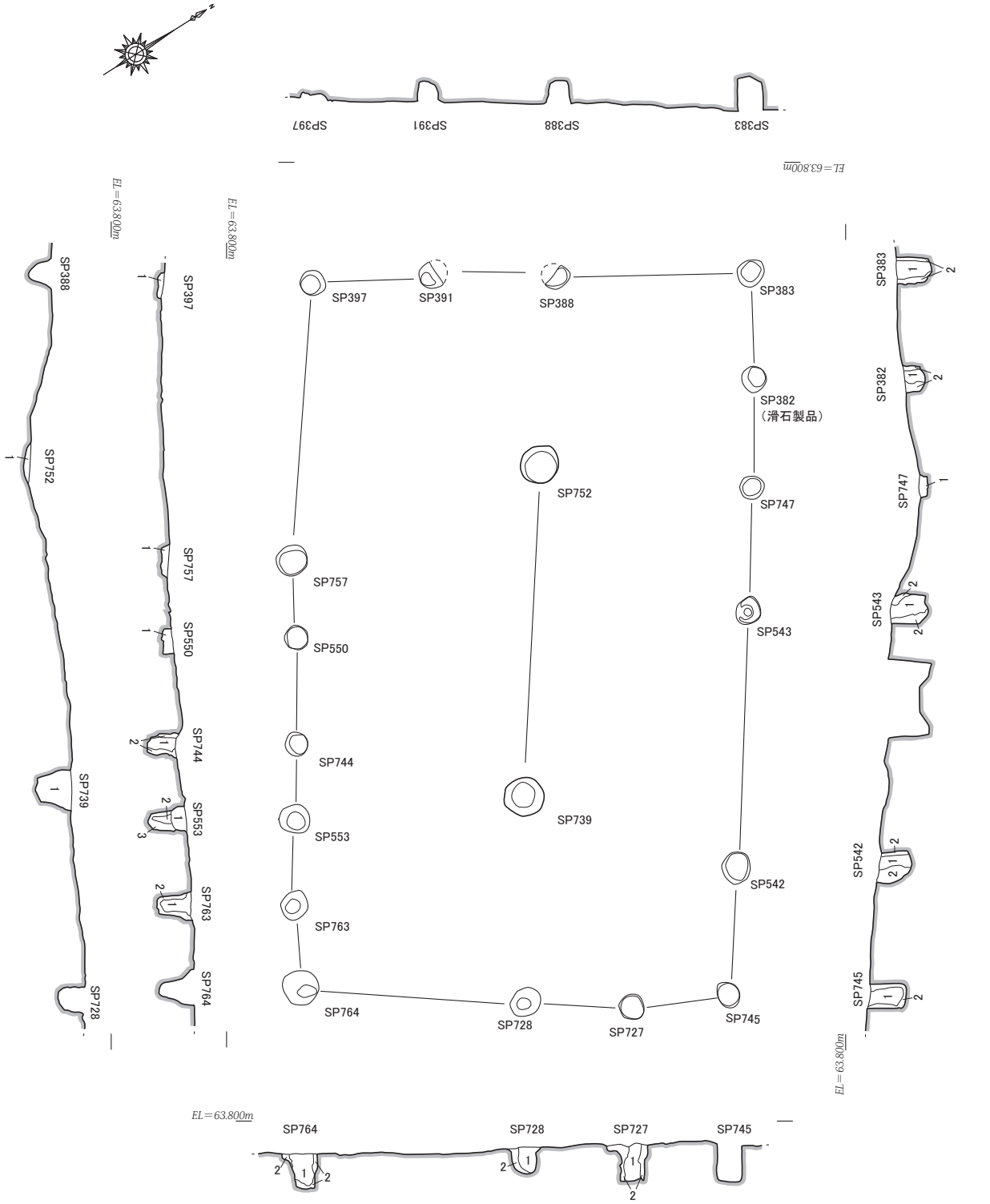
掘立柱建物跡３号　南東から

掘立柱建物跡１・４・５号　南東から

掘立柱建物跡６号　北西から

図版９　グスク時代の遺構１　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡７号

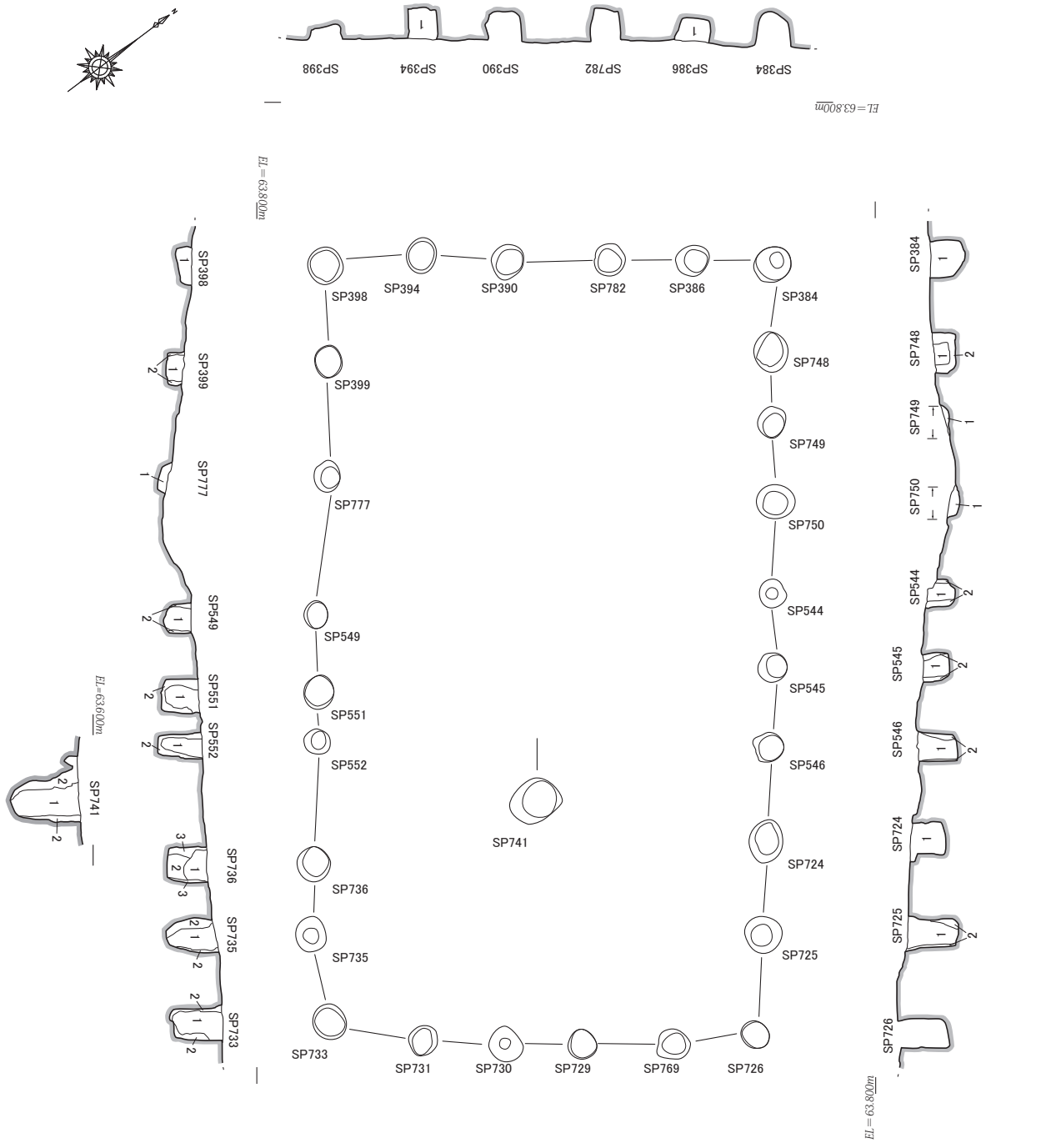


SP382	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕	SP553	1	10YR3/4	暗褐色		SP745	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色			2	10YR3/4	暗褐色	柱痕		2	10YR3/4	暗褐色	
SP383	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕		3	10YR3/4	暗褐色		SP747	1	10YR3/4	暗褐色	
	2	10YR3/4	暗褐色		SP727	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕		2	10YR3/4	暗褐色	
SP397	1	10YR3/4	暗褐色			2	10YR3/4	暗褐色		SP752	1	10YR3/4	暗褐色	
SP542	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕	SP728	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕	SP757	1	10YR4/4	褐色	
	2	10YR4/6	褐色			2	10YR4/4	褐色		SP763	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
SP543	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕	SP739	1	10YR3/4	暗褐色			2	10YR3/4	暗褐色	
	2	10YR4/6	褐色		SP744	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕	SP764	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
SP550	1	10YR3/4	暗褐色			2	10YR3/4	暗褐色			2	10YR3/4	暗褐色	

0　2m
(S=1/60)

第 28 図　グスク時代の遺構８　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡８号



SP386	1	10YR4/4	褐色	
SP384	1	10YR4/4	褐色	
SP394	1	10YR4/6	褐色	
SP398	1	10YR4/4	褐色	
SP399	1	10YR4/6	褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP544	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SP545	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	
SP546	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SP549	1	10YR4/4	褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP551	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SP552	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	

SP724	1	10YR3/4	暗褐色	
SP725	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SP726	1	10YR3/4	暗褐色	
SP729	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP730	1	10YR3/4	暗褐色	
SP731	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SP733	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SP735	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	

SP736	1	10YR4/4	褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
	3	10YR4/4	褐色	
SP741	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	2	7.5YR4/4	褐色	
SP748	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP749	1	10YR3/4	暗褐色	
SP750	1	10YR3/4	暗褐色	
SP769	1	10YR3/4	暗褐色	
SP777	1	10YR4/4	褐色	

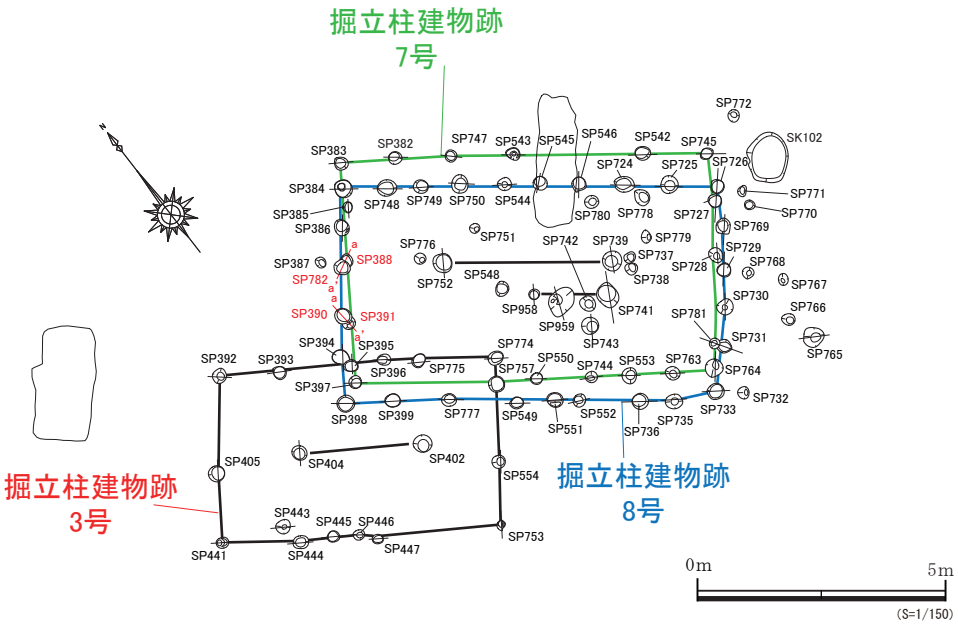
0　2m
(S=1/60)

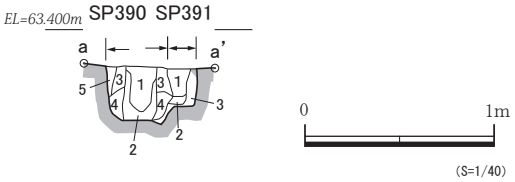
第 29 図　グスク時代の遺構９　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡７・８号　南から

掘立柱建物跡７・８号　南東から

図版 10　グスク時代の遺構２　掘立柱建物跡（Ｘ地区）





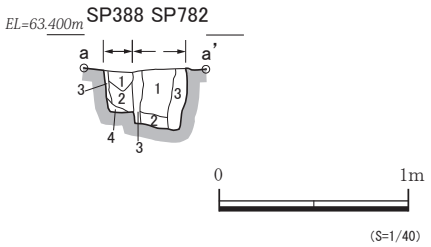
掘立柱建物跡８号

SP390	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	3	10YR4/4	褐色	SP391 を切る
	4	10YR4/4	褐色	SP391 を切る
	5	10YR3/3	暗褐色	

掘立柱建物跡７号

SP391	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	柱痕
	3	10YR4/4	褐色	

掘立柱建物跡７・８号　SP390・391
半裁状況　南西から



掘立柱建物跡７号

SP388	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	3	10YR3/4	暗褐色	
	4	7.5YR5/6	明褐色	

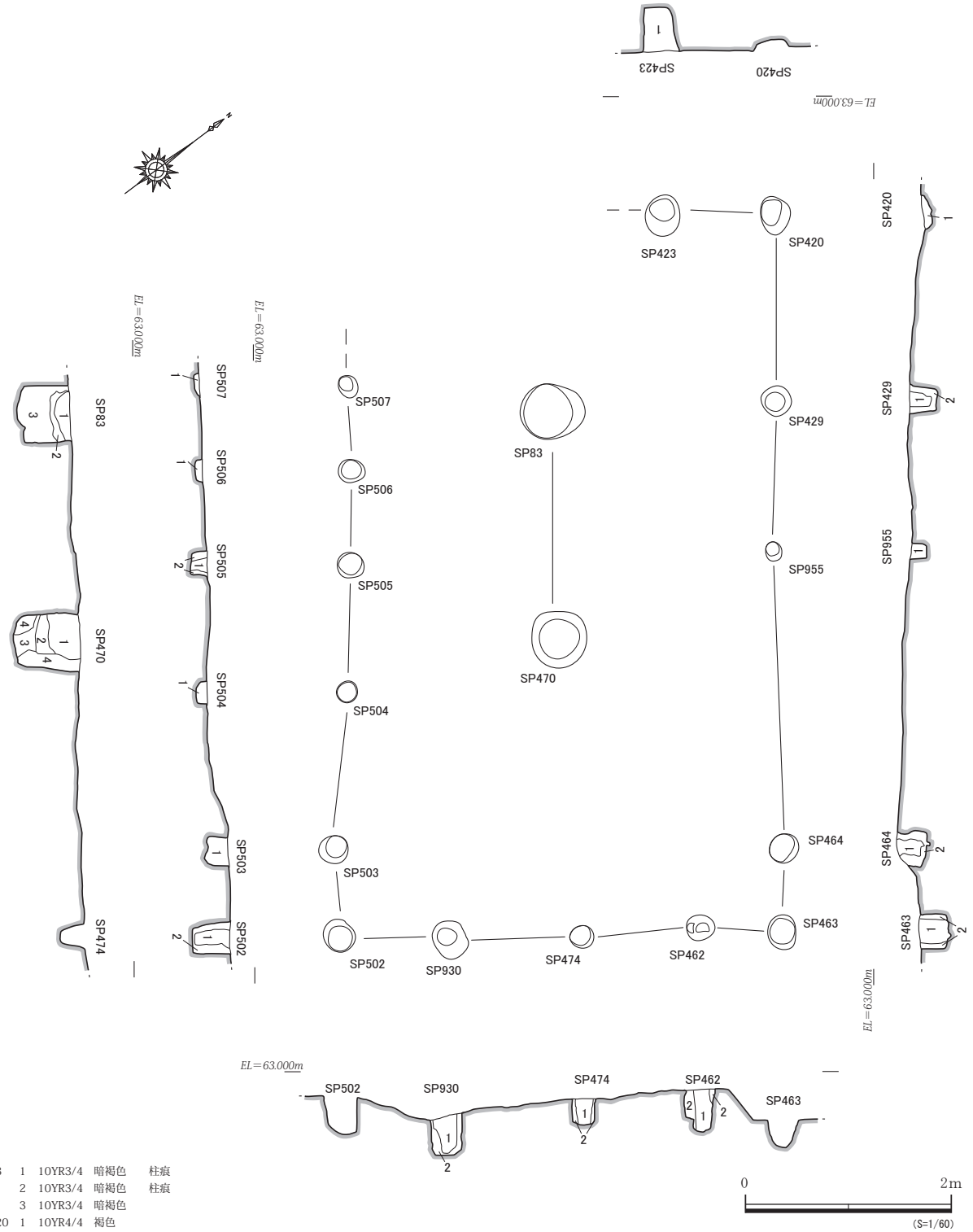
掘立柱建物跡８号

SP782	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	3	10YR3/4	暗褐色	SP388 を切る

掘立柱建物跡７・８号　SP388・782
半裁状況　北西から

第 30 図　グスク時代の遺構 10　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡９号



SP83	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	3	10YR3/4	暗褐色	
SP420	1	10YR4/4	褐色	
SP423	1	10YR3/4	暗褐色	
SP429	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP462	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	
SP463	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP464	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP470	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/3	鈍黄褐色	石鍋模倣土器（107）出土
	3	10YR3/3	暗褐色	
	4	10YR3/4	暗褐色	
SP474	1	10YR4/4	褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP502	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP503	1	10YR3/4	暗褐色	
SP504	1	10YR3/4	暗褐色	
SP505	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP506	1	10YR3/4	暗褐色	
SP507	1	10YR3/4	暗褐色	
SP930	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP955	1	10YR3/4	暗褐色	

第 31 図　グスク時代の遺構 11　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

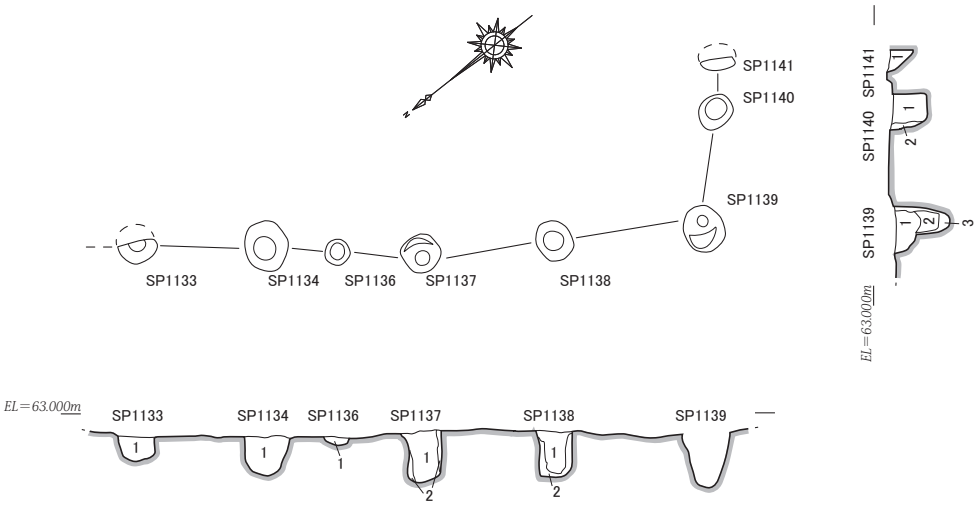
掘立柱建物跡９号　南から

掘立柱建物跡９号　南東から

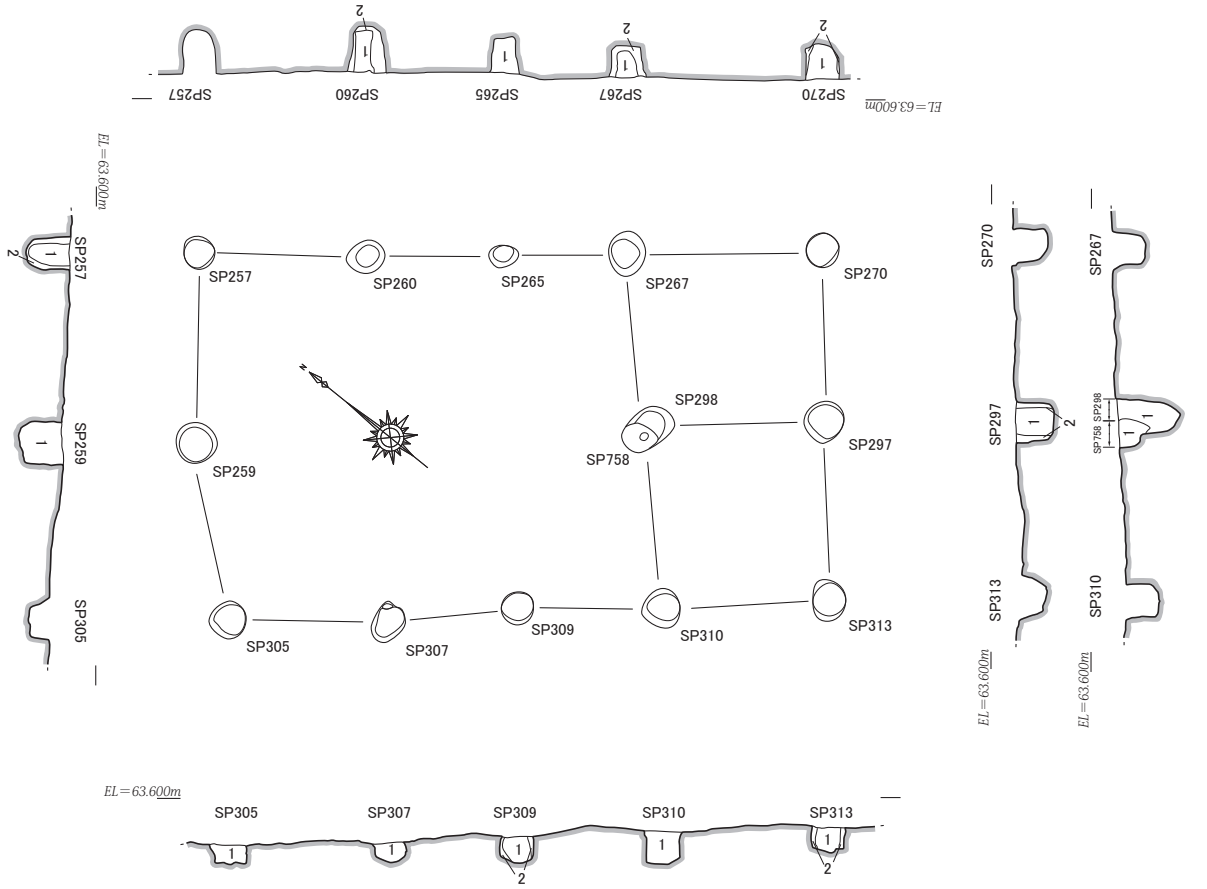
図版 11　グスク時代の遺構３　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡 10 号

SP1133	1	10YR4/4	褐色	
SP1134	1	10YR3/4	暗褐色	
SP1136	1	10YR3/4	暗褐色	
SP1137	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SP1138	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SP1139	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	3	10YR3/3	暗褐色	
SP1140	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	
SP1141	1	10YR3/3	暗褐色	



掘立柱建物跡 11 号

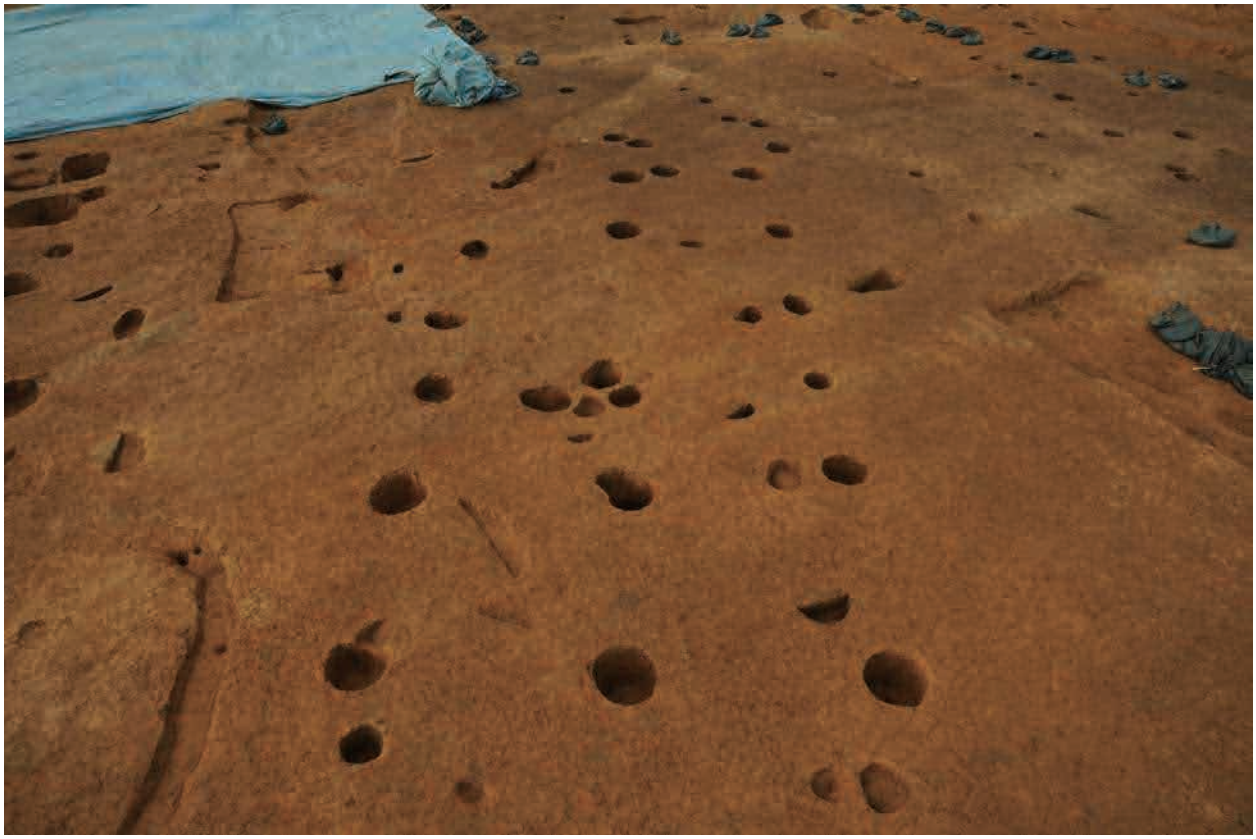


SP257	1	7.5YR4/4	褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SP259	1	10YR3/4	暗褐色	
SP260	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	
SP265	1	10YR3/4	暗褐色	
SP267	1	10YR4/4	褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	
SP270	1	10YR4/6	褐色	柱痕
	2	10YR5/8	黄褐色	
SP297	1	10YR4/6	褐色	柱痕
	2	10YR5/8	黄褐色	
SP298	1	10YR3/4	暗褐色	
SP305	1	10YR3/4	暗褐色	
SP307	1	10YR4/4	褐色	
SP309	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	
SP310	1	7.5YR4/4	褐色	
SP313	1	10YR4/6	褐色	柱痕
	2	7.5YR4/4	褐色	
SP758	1	10YR3/4	暗褐色	

0　2m
(S=1/60)

第 32 図　グスク時代の遺構 12　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

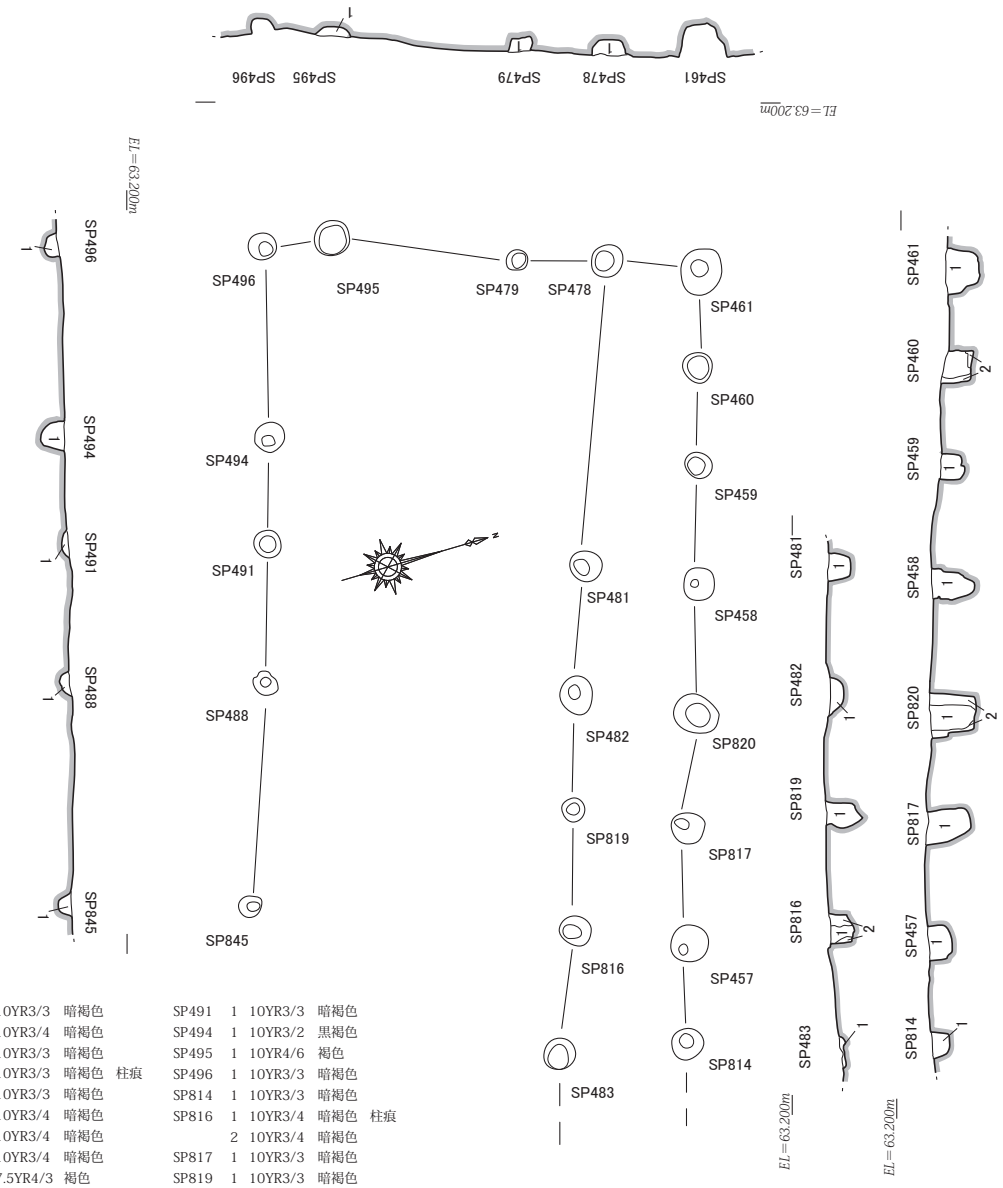
掘立柱建物跡 10 号　北東から



掘立柱建物跡 11 号　南東から

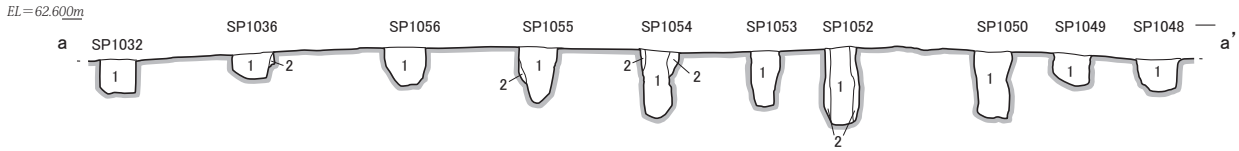
図版 12　グスク時代の遺構４　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡 12 号



SP457	1	10YR3/3	暗褐色		SP491	1	10YR3/3	暗褐色	
SP458	1	10YR3/4	暗褐色		SP494	1	10YR3/2	黒褐色	
SP459	1	10YR3/3	暗褐色		SP495	1	10YR4/6	褐色	
SP460	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕	SP496	1	10YR3/3	暗褐色	
	2	10YR3/3	暗褐色		SP814	1	10YR3/3	暗褐色	
SP461	1	10YR3/4	暗褐色		SP816	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
SP478	1	10YR3/4	暗褐色			2	10YR3/4	暗褐色	
SP479	1	10YR3/4	暗褐色		SP817	1	10YR3/3	暗褐色	
SP481	1	7.5YR4/3	褐色		SP819	1	10YR3/3	暗褐色	
SP482	1	10YR3/4	暗褐色		SP820	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
SP483	1	10YR3/4	暗褐色			2	10YR3/4	暗褐色	
SP488	1	10YR3/4	暗褐色		SP845	1	10YR3/3	暗褐色	

掘立柱建物跡 13 号（1）



SP522	1	10YR3/3	暗褐色		SP1036	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕	SP1050	1	10YR3/3	暗褐色
SP1021	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕		2	10YR3/3	暗褐色		SP1052	1	10YR3/3	暗褐色 柱痕
	2	10YR4/4	褐色		SP1037	1	10YR3/4	暗褐色			2	10YR3/4	暗褐色
SP1022	1	10YR3/4	暗褐色		SP1041	1	10YR3/4	暗褐色		SP1053	1	10YR3/3	暗褐色
SP1023	1	10YR3/4	暗褐色		SP1042	1	10YR3/4	暗褐色		SP1054	1	10YR3/3	暗褐色 柱痕
SP1024	1	10YR3/4	暗褐色		SP1044	1	10YR4/4	褐色			2	7.5YR3/3	暗褐色
SP1029	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕	SP1045	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕	SP1055	1	10YR3/3	暗褐色 柱痕
	2	10YR3/3	暗褐色			2	10YR3/4	暗褐色			2	10YR3/4	暗褐色
SP1030	1	10YR3/3	暗褐色		SP1046	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕	SP1056	1	10YR3/3	暗褐色
SP1031	1	10YR4/4	褐色	柱痕		2	10YR3/4	暗褐色		SP1423	1	10YR3/4	暗褐色
	2	10YR3/3	暗褐色		SP1048	1	10YR3/3	暗褐色		SP1435	1	10YR3/4	暗褐色
SP1032	1	10YR4/4	褐色		SP1049	1	10YR3/3	暗褐色					

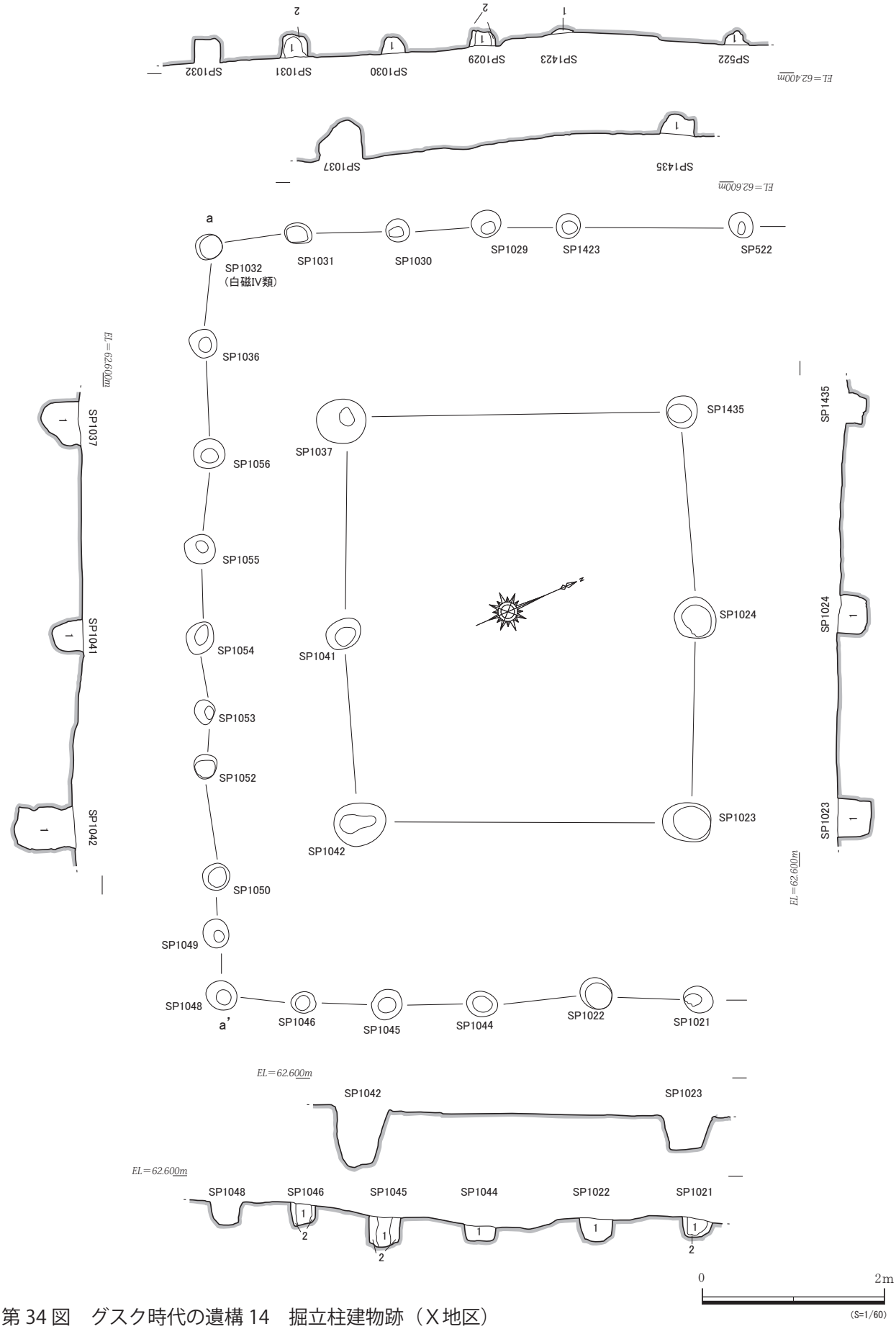
第 33 図　グスク時代の遺構 13　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡 12 号　南から

掘立柱建物跡 12 号　東から

図版 13　グスク時代の遺構 5　掘立柱建物跡（X 地区）

掘立柱建物跡 13 号（2）



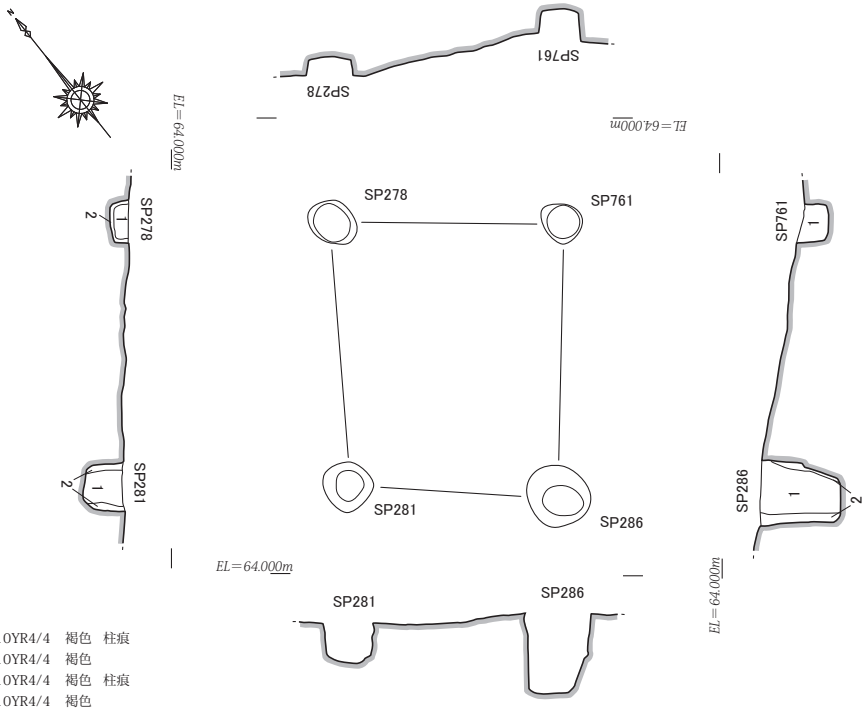
第 34 図　グスク時代の遺構 14　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡 13・17・18 号　南から

掘立柱建物跡 13・17・18 号　西から

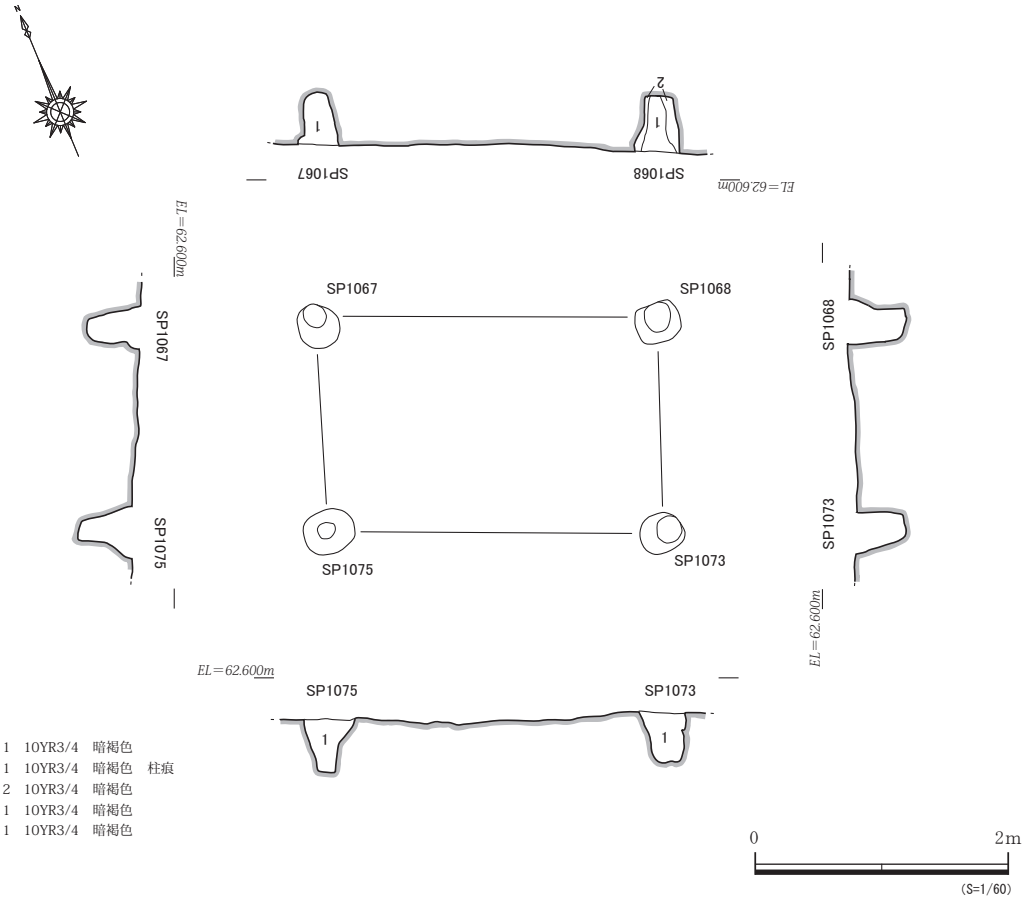
図版 14　グスク時代の遺構６　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡 14 号



SP281	1	10YR4/4	褐色　柱痕
	2	10YR4/4	褐色
SP286	1	10YR4/4	褐色　柱痕
	2	10YR4/4	褐色
SP278	1	7.5YR4/4	褐色　柱痕
	2	7.5YR5/6	褐色
SP761	1	10YR4/6	褐色

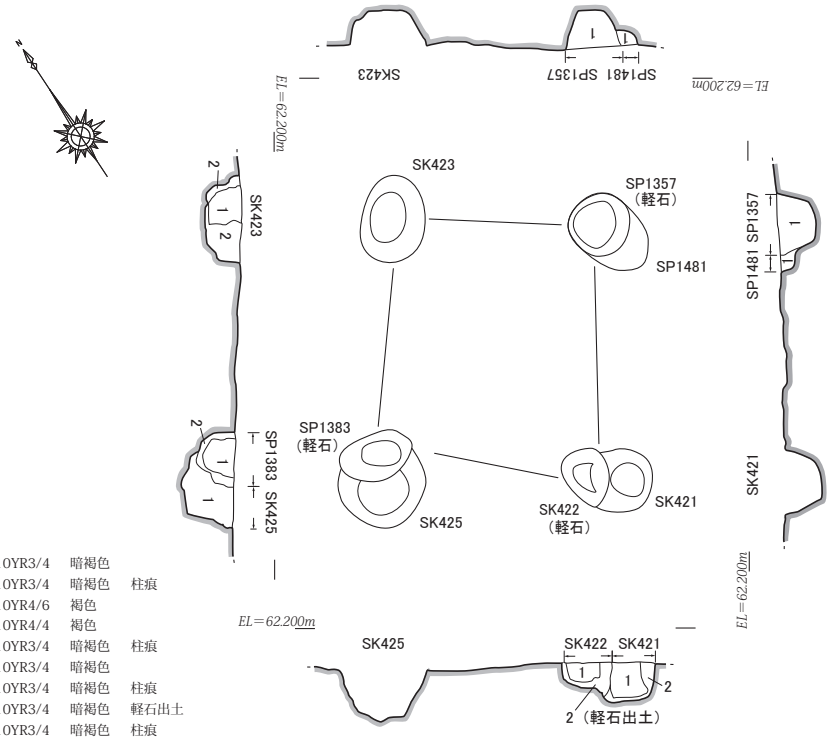
掘立柱建物跡 15 号



SP1067	1	10YR3/4	暗褐色
SP1068	1	10YR3/4	暗褐色　柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色
SP1073	1	10YR3/4	暗褐色
SP1075	1	10YR3/4	暗褐色

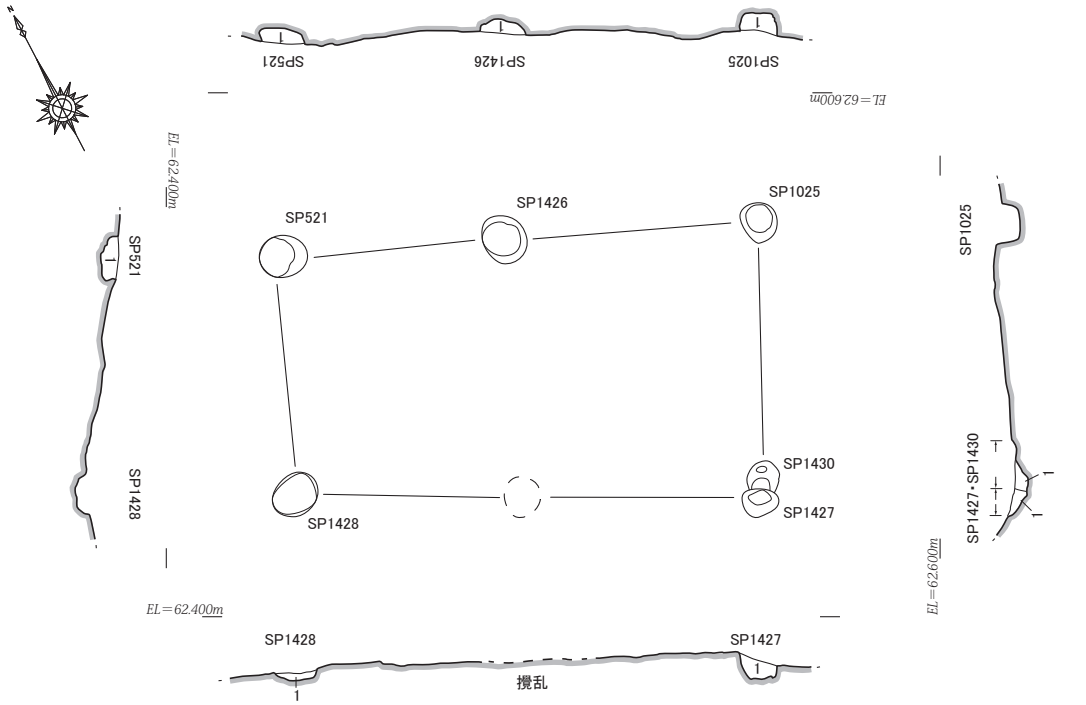
第 35 図　グスク時代の遺構 15　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡 16 号



SP1357	1	10YR3/4	暗褐色	
SP1383	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	
SP1481	1	10YR4/4	褐色	
SK421	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SK422	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	軽石出土
SK423	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SK425	1	10YR3/4	暗褐色	

掘立柱建物跡 17 号

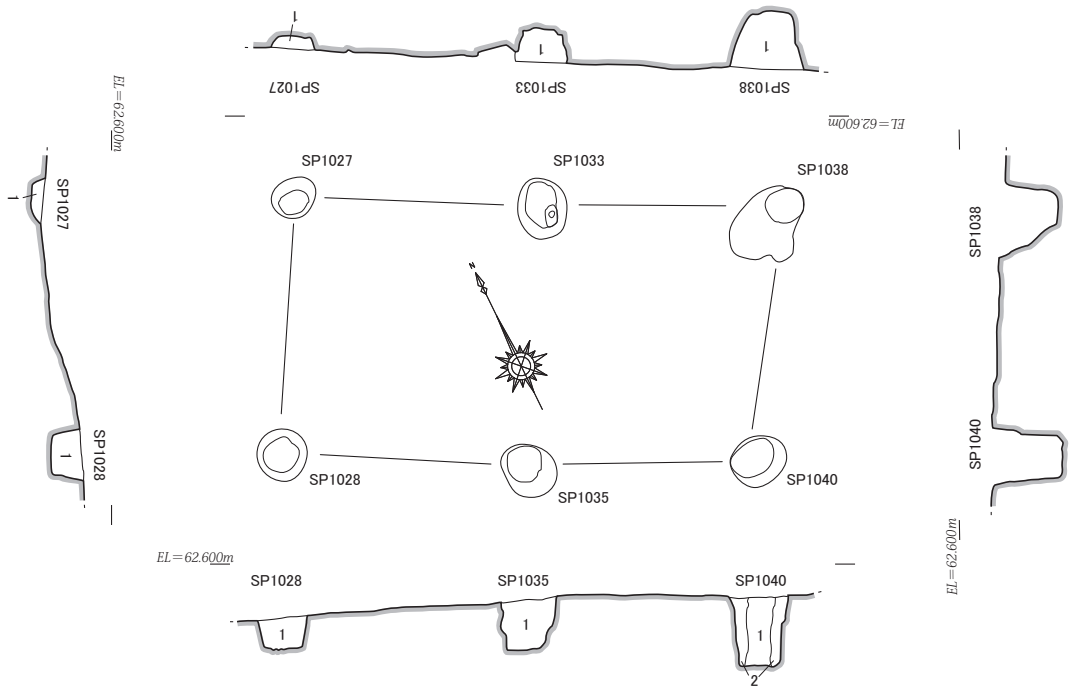


SP521	1	10YR3/4	暗褐色
SP1025	1	10YR3/4	暗褐色
SP1426	1	10YR3/4	暗褐色
SP1427	1	10YR3/4	暗褐色
SP1428	1	10YR3/4	暗褐色
SP1430	1	10YR3/4	暗褐色

0　2m
（S=1/60）

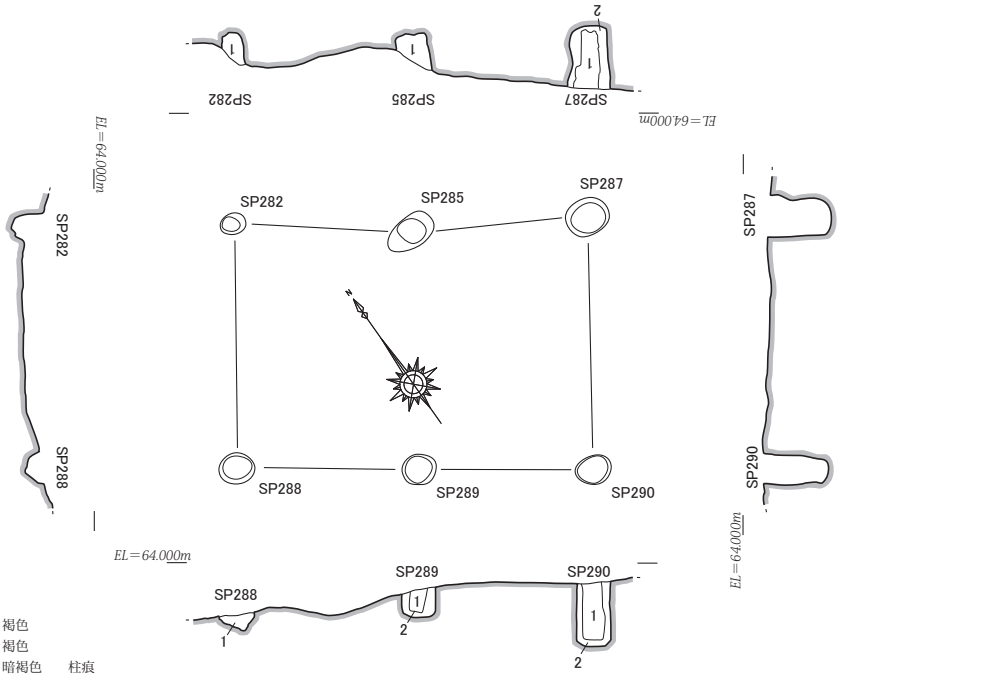
第 36 図　グスク時代の遺構 16　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡 18 号



SP1027	1	10YR3/4	暗褐色	
SP1028	1	10YR3/4	暗褐色	
SP1033	1	10YR3/4	暗褐色	
SP1035	1	10YR3/3	暗褐色	
SP1038	1	10YR3/4	暗褐色	
SP1040	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/3	暗褐色	

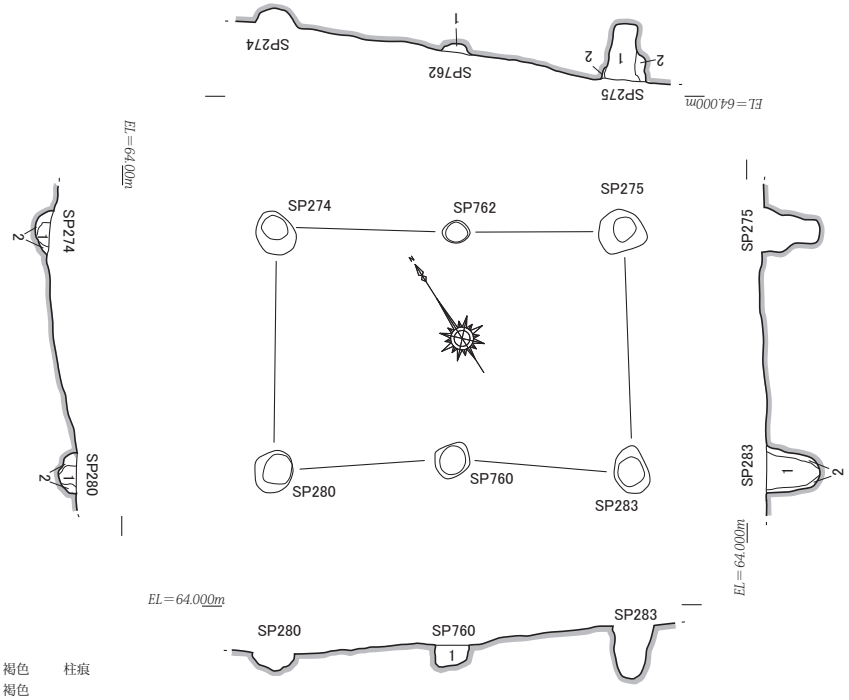
掘立柱建物跡 19 号



SP282	1	10YR4/4	褐色	
SP285	1	10YR4/6	褐色	
SP287	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR5/4	鈍黄褐色	
SP288	1	10YR4/6	褐色	
SP289	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	7.5YR5/8	明褐色	
SP290	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	

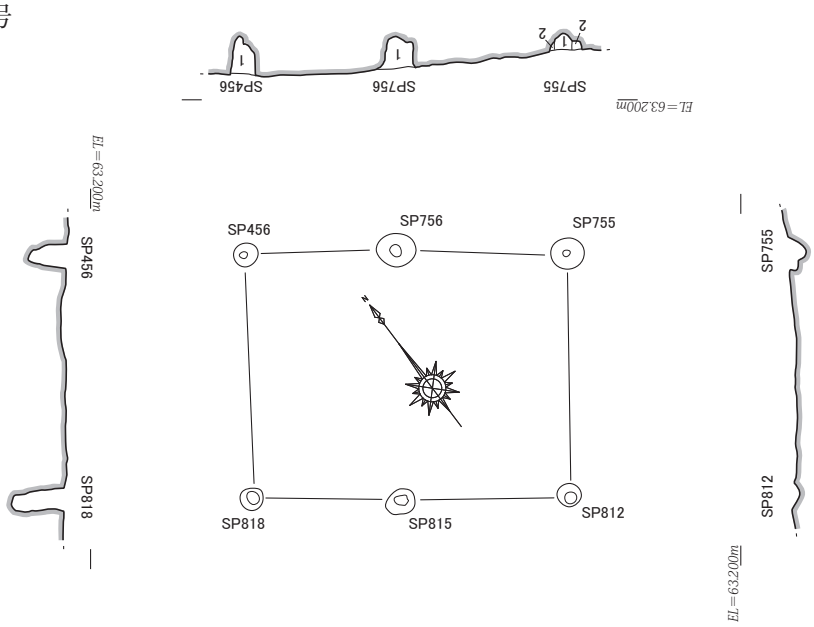
第 37 図　グスク時代の遺構 17　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡 20 号



SP274	1	10YR4/4	褐色	柱痕
	2	7.5YR4/4	褐色	
SP275	1	10YR4/6	褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP280	1	10YR4/6	褐色	柱痕
	2	7.5YR5/8	明褐色	
SP283	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	7.5YR5/6	褐色	
SP760	1	10YR4/4	褐色	
SP762	1	7.5YR5/8	明褐色	

掘立柱建物跡 21 号

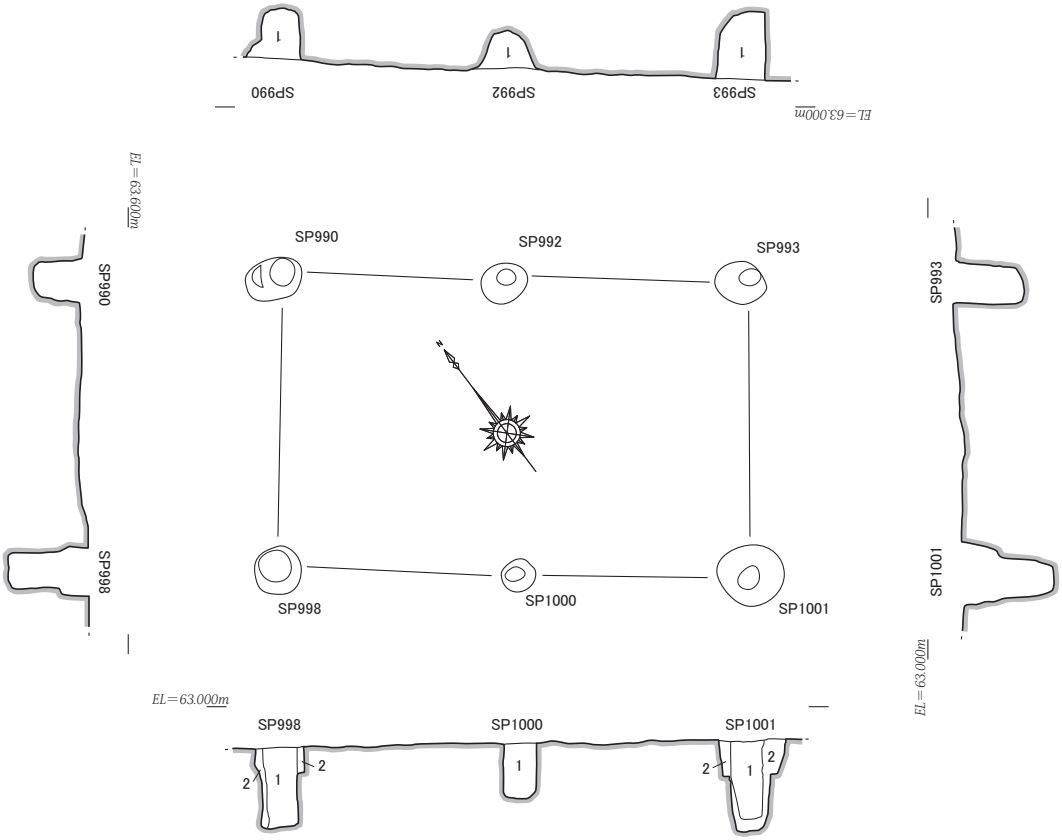


SP456	1	10YR4/6	褐色	
SP756	1	10YR3/4	暗褐色	
SP755	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	
SP812	1	7.5YR3/3	暗褐色	
SP815	1	7.5YR3/3	暗褐色	
SP818	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	

0　2m
(S=1/60)

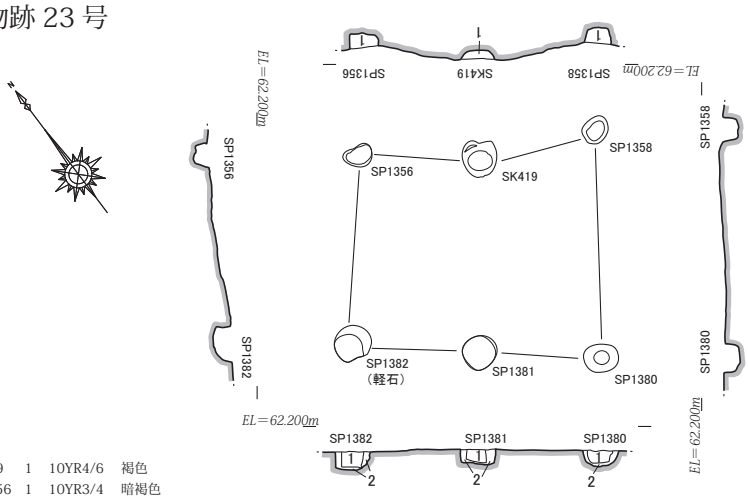
第 38 図　グスク時代の遺構 18　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡 22 号



SP990	1	10YR3/4	暗褐色	
SP992	1	10YR3/4	暗褐色	
SP993	1	10YR4/4	褐色	
SP998	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SP1000	1	10YR3/3	暗褐色	
SP1001	1	10YR4/6	褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	

掘立柱建物跡 23 号

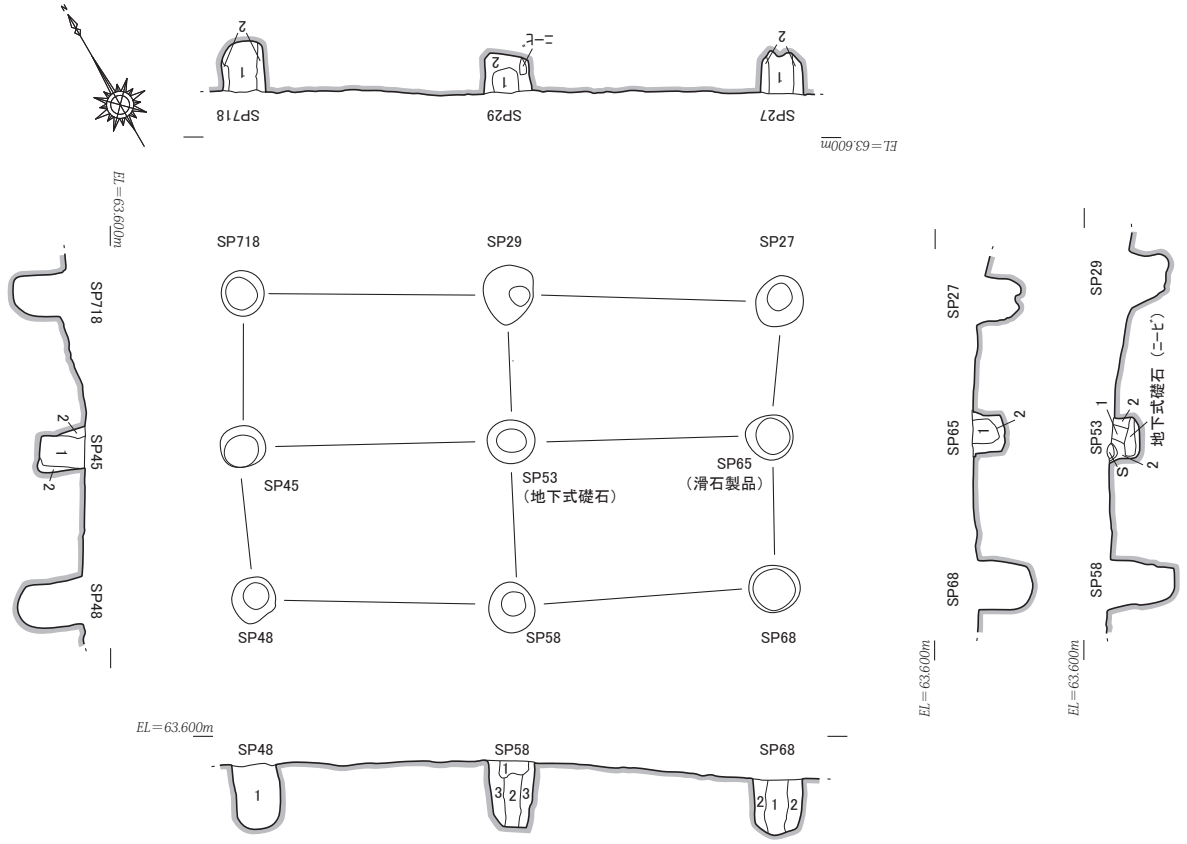


SK419	1	10YR4/6	褐色	
SP1356	1	10YR3/4	暗褐色	
SP1358	1	10YR4/6	褐色	
SP1380	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	
SP1381	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	2	10YR5/8	黄褐色	
SP1382	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	

0　2m
（S=1/60）

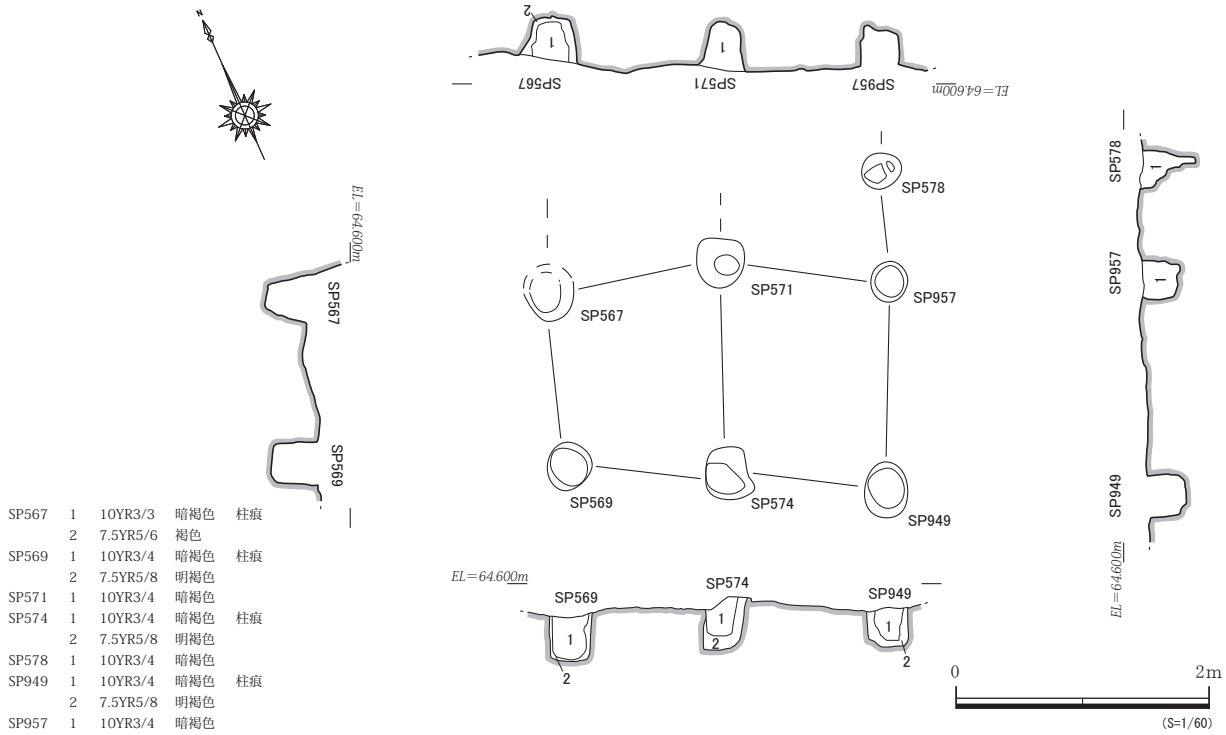
第 39 図　グスク時代の遺構 19　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡 24 号



SP27	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SP29	1	10YR4/4	褐色	柱痕
	2	7.5YR5/8	明褐色	ニービが柱堀方に入る。
SP45	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/3	鈍黄褐色	
SP48	1	10YR4/4	褐色	
SP53	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	地下式礎石（ニービ）
SP58	1	10YR4/4	褐色	柱痕
	2	10YR4/4	褐色	柱痕
	3	10YR4/6	褐色	
SP65	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	
SP68	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR3/4	暗褐色	
SP718	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	10YR4/6	褐色	

掘立柱建物跡 25 号



SP567	1	10YR3/3	暗褐色	柱痕
	2	7.5YR5/6	褐色	
SP569	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	7.5YR5/8	明褐色	
SP571	1	10YR3/4	暗褐色	
SP574	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	7.5YR5/8	明褐色	
SP578	1	10YR3/4	暗褐色	
SP949	1	10YR3/4	暗褐色	柱痕
	2	7.5YR5/8	明褐色	
SP957	1	10YR3/4	暗褐色	

第 40 図　グスク時代の遺構 20　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡 14 号　北東から

掘立柱建物跡 15 号　南東から

掘立柱建物跡 16 号　南東から

掘立柱建物跡 17 号　北西から

掘立柱建物跡 18 号　北西から

掘立柱建物跡 19 号　南東から

掘立柱建物跡 20 号　北東から

掘立柱建物跡 21 号　南東から

図版 15　グスク時代の遺構７　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡 22 号　南東から

掘立柱建物跡 23 号　南東から

掘立柱建物跡 24 号　北東から

掘立柱建物跡 25 号　南から

掘立柱建物跡 13 号 SP1023　半裁状況　北から

掘立柱建物跡 24 号 SP29　半裁状況　北から

掘立柱建物跡 7 号 SP382　滑石片検出状況　東から

掘立柱建物跡 7 号 SP382　半裁状況　北東から

図版 16　グスク時代の遺構８　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

掘立柱建物跡９号 SK83　土器出土状況　南から

同左　拡大

掘立柱建物跡９号 SP470　土器出土状況　西から

同左　拡大

掘立柱建物跡 24 号 SP53　礎石出土状況　東から

同左　断割状況

X 地区 SP147　土器出土状況　北から

同左　拡大

図版 17　グスク時代の遺構９　掘立柱建物跡（X 地区）

Ｘ地区 SP991　土器出土状況　北東から

同左　拡大

掘立柱建物跡 16 号 SP422　軽石出土状況　南から

Ｘ地区 SP1378　南から

図版 18　グスク時代の遺構 10　掘立柱建物跡（Ｘ地区）

以上、Ｘ地区の掘立柱建物跡を報告した。この中で、主屋（掘立柱建物跡 B ～ C 群）と大型建物（掘立柱建物跡 D 群）、高床式倉庫（掘立柱建物跡 E 群）は、北西－南東方向もしくは西北西－東南東方向で概ね揃っている点で特筆される。

掘立柱建物跡の柱穴には柱痕が残るものもあり、主屋の側柱は幅 10 ～ 15cm 前後のものが多く、中柱は幅 20cm 前後のものから 40cm を越すものもある。中柱は建物の規模に合わせて構築されている。高床式倉庫の柱痕は 20 ～ 30cm 前後のものが多い。

また、これらの建物跡群の中で、いくつか重複する建物跡も確認されている。A 群掘立柱建物跡 1 号と B 群掘立柱建物跡 4 ・ 5 号は重複している。ともに主屋と考えられ、A 群と B 群の先後関係は不明であるが、出土遺物からはそこまでの時期差はないものと思われる。同じ B 群建物跡の重複として、掘立柱建物跡 4・5 号と掘立柱建物跡 7・8 号はそれぞれ重複し、同位置における建て替えが行われたとみられる。ピットの切りあいから、7 号→ 8 号の新旧関係を確認できた（第 30 図）。さらに、掘立柱建物跡 3 号は 7・8 号の南西側で重複するが、先後関係は不明である。D 群掘立柱建物跡 13 号と E 群の掘立柱建物跡 17・18 号も重複しているが、先後関係は不明であるが、ともに桁行の向きは揃う。また、掘立柱建物跡 12 号を含めると、掘立柱建物跡 12・13・17・18 号は西北西－東南東方向で桁行の方向が揃っており、他の建物跡群とは方向が異なることから、なんらかの関係があった可能性がある。E 群の掘立柱建物跡 14・19・20 号と、掘立柱建物跡 16・23 号もそれぞれ重複している。いずれも先後関係は不明であるが、当該地において高床式倉庫の建て替えを行ったのであろう。

このように、掘立柱建物跡の重複関係は、グスク時代の集落における建物の広がりと展開を考える上では、重要な手がかりの一つとなる。

掘立柱建物跡群の年代を検討するため、掘立柱建物跡の柱穴ではないが、同時期とみられる SP1051・SP1328 より採取された炭化材から、放射性炭素年代測定を実施した結果、SP1051 が 845 ± 25BP（12 世紀後半～ 13 世紀中頃）、SP1328 が 1,060 ± 25BP（10 世紀初頭～ 11 世紀前半）の値が示されている。詳細は第５章に記載する。SP1051 は 15 － E1 グリッドの掘立柱建物跡 13 号の南側に隣接して位置し、SP1328 は 15 － H 1 グリッドに位置する。

掘立柱建物跡群の時期については、柱穴の出土遺物からグスク時代初期（11 ～ 12 世紀）に位置づけられる。

２　柵列

Ｘ地区１地点～２地点（ズケ 15 － D 1、ズケ 14 － E14・15・D15 グリッド）において、掘立柱建物跡群とともに検出された。ピットが北西－南東方向に並ぶもので、掘立柱建物跡 B ～ D 群の桁行と向きが揃うことから、グスク時代初期における集落を区画する柵列とみられる。

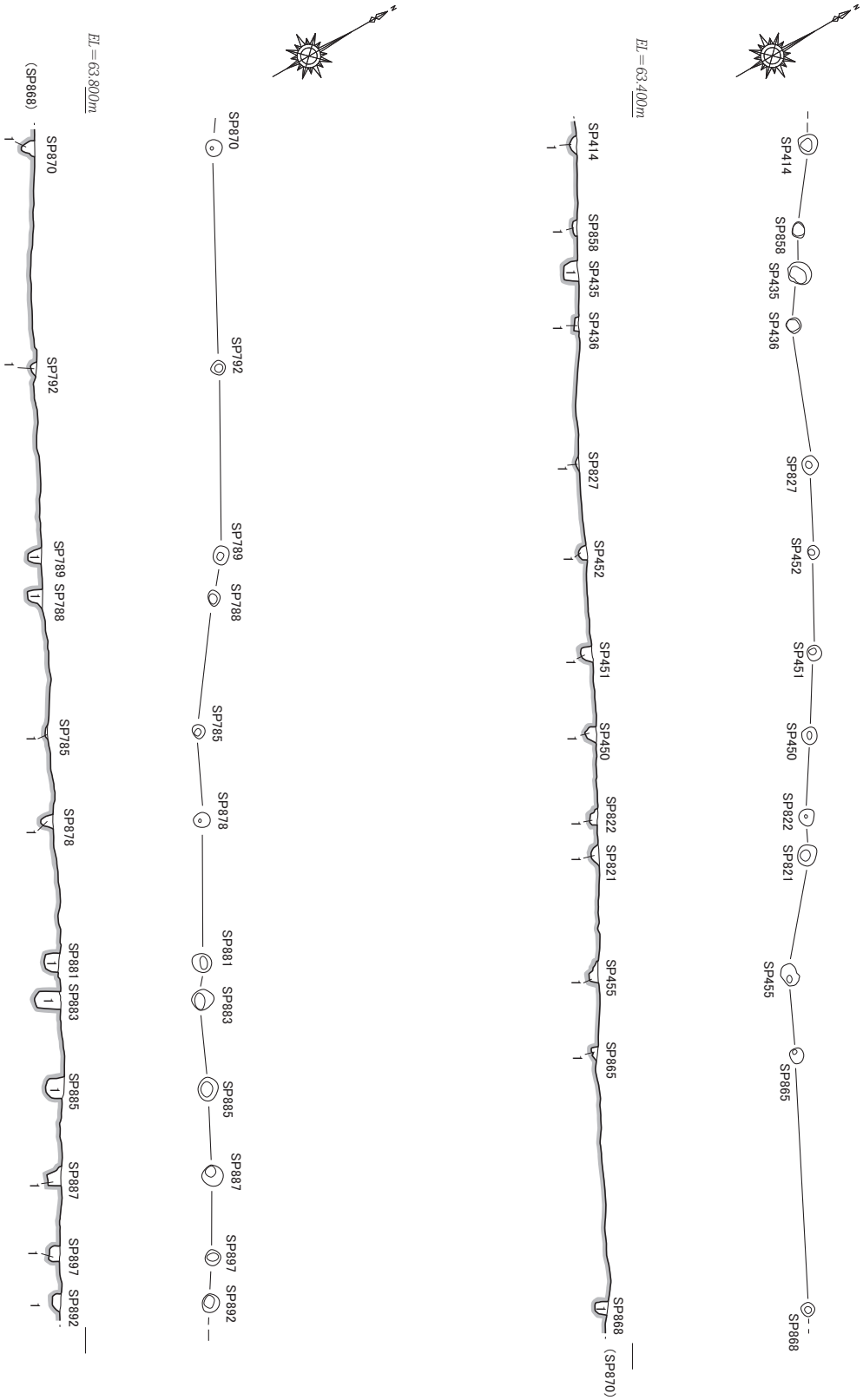
SP451 半裁断面　北から

SP435 半裁断面　北東から

柵列 1　検出状況

図版 19　グスク時代の遺構 11　柵列（Ｘ地区）

柵列１



SP414	1	10YR4/4	褐色	SP789	1	10YR3/3	暗褐色	SP870	1	10YR3/4	暗褐色
SP435	1	10YR4/6	褐色	SP792	1	10YR3/3	暗褐色	SP878	1	7.5YR3/4	暗褐色
SP436	1	10YR4/6	褐色	SP821	1	10YR3/3	暗褐色	SP881	1	10YR3/4	暗褐色
SP450	1	10YR3/4	暗褐色	SP822	1	10YR4/6	褐色	SP883	1	10YR3/4	暗褐色
SP451	1	10YR4/4	褐色	SP827	1	10YR4/6	褐色	SP885	1	10YR3/4	暗褐色
SP452	1	10YR4/4	褐色	SP858	1	10YR4/4	褐色	SP887	1	10YR3/4	暗褐色
SP455	1	10YR3/4	暗褐色	SP865	1	7.5YR3/3	暗褐色	SP892	1	10YR4/4	褐色
SP785	1	10YR3/4	暗褐色	SP868	1	7.5YR3/4	暗褐色	SP897	1	10YR4/4	褐色
SP788	1	10YR3/3	暗褐色								

0　2m

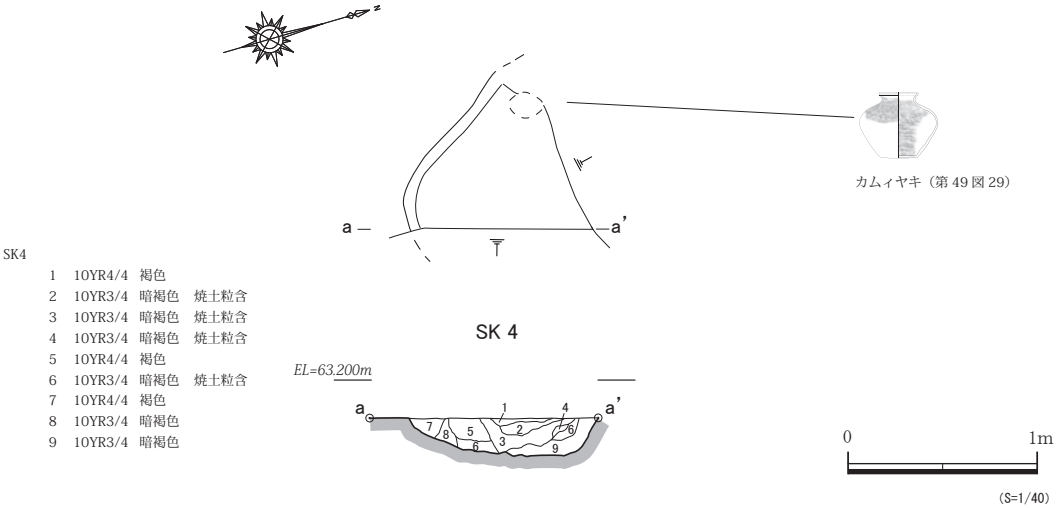
(S=1/80)

第 41 図　グスク時代の遺構 21　柵列（Ｘ地区）

３　土坑

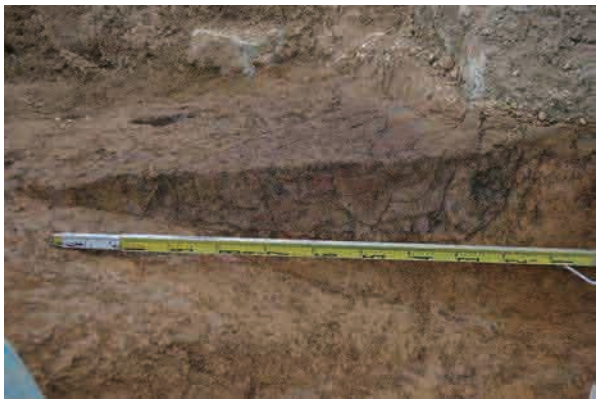
グスク時代の土坑は、Ｘ～XII 地区で 58 基検出されており（Ｘ地区：25 基、XI 地区：25 基、XII 地区：８基）、検出された土坑は、平面形が円形・不定形なものが多い。

SK ４は、Ｘ地区１地点 15 － Ｃ１グリッドに位置する。撹乱により南西側端部のみが残存するもので、全体の形態は不明である。埋土は、焼土粒混じりの暗褐色土を呈する。遺構内北側の撹乱部分との境目からは、残りの良いカムィヤキ（第 49 図 29）が出土している。カムィヤキは口縁部が北西側を向いて倒れた状態で出土したが、撹乱により半分が欠損していることから、出土状況は元の位置を保っていない可能性がある。



SK4 カムィヤキ出土状況　南東から

同左　拡大



SK4　断面　東から

調査状況

第 42 図　グスク時代の遺構 22　土坑（Ｘ地区）

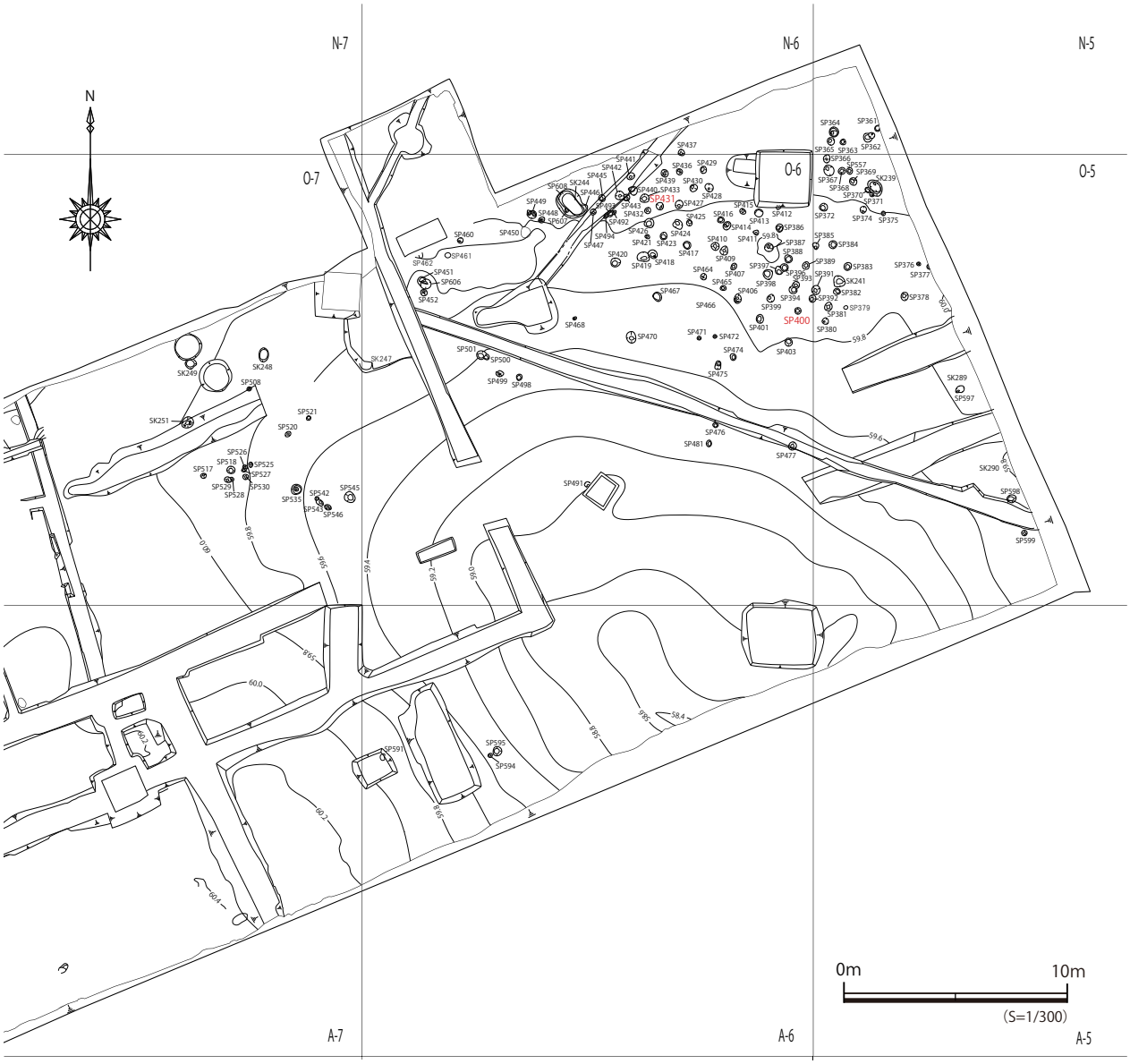
４　ピット

ピットは、1587 基検出された（Ｘ地区：825 基、XI 地区：185 基、XII 地区：577 基）。瑞慶覧病院地区では、Ｖ層面（マージ）で近世～近代の遺構とともに検出されることが多い。Ｘ地区では１～３地点の調査区全面にピット群が検出され、その多くは掘立柱建物跡群として報告した。

XI 地区１地点、XII 地区２地点では、谷状に窪む地形にグスク時代の包含層（Ⅲ層）が堆積しており、その下のⅣ層及びＶ層上面においてピット群が検出された。

XI 地区１地点ピット集中部

XI 地区１地点（２面目）では、平坦面から谷上部の緩やかな傾斜面にかけてピット群が検出された。特に谷北側に集中して検出されている。ピットは、半裁時に柱痕を確認できたものもあるが、柱穴として掘立柱建物跡の明確なプランは確認できなかった。ピットからはグスク土器が僅かに出土する。Ⅲ層からは、グスク土器や白磁Ⅳ類玉縁碗、カムィヤキが出土している。

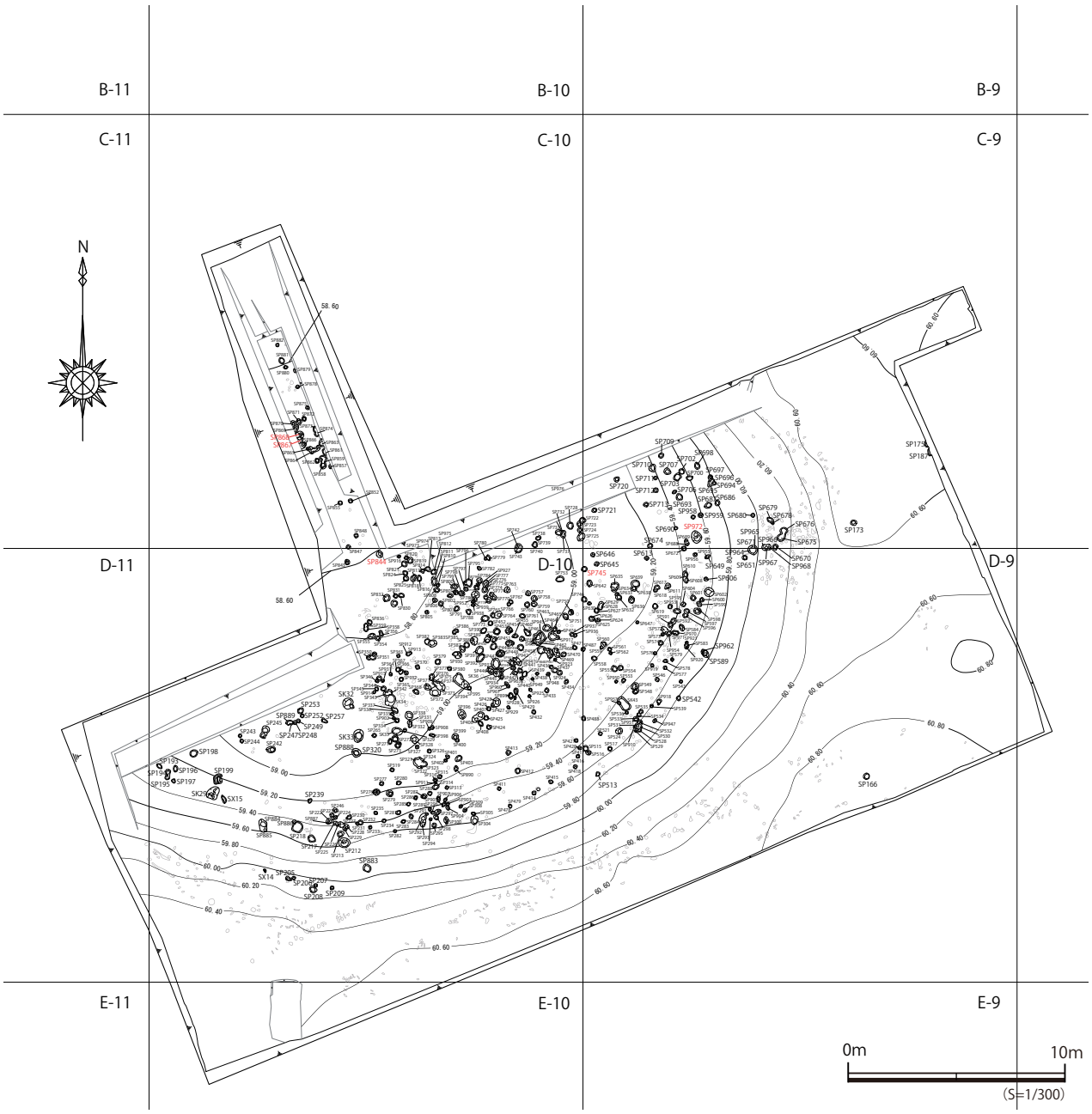


第 43 図　グスク時代の遺構 23　全体図（XI 地区）

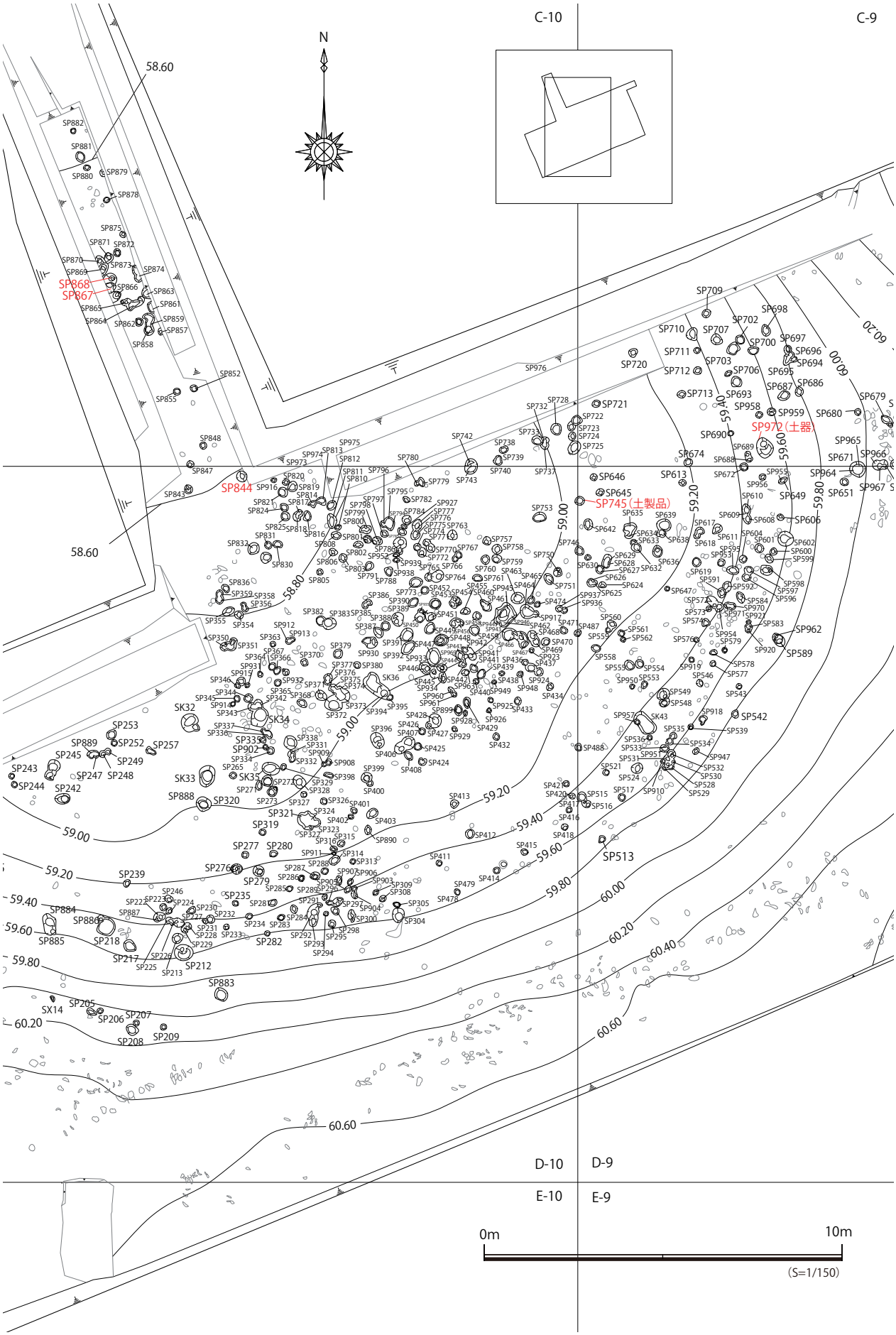
XII 地区２地点ピット集中部

XII 地区２地点（２面目）では谷底部分を中心としてピット群が検出された。遺構の密度は高いものの、小さく浅いものや不定形なピットが多く、明確な掘立柱建物跡のプランは認められなかった。ピットからはグスク土器や石器が出土している。まれに縄文時代の土器も出土する。XII 地区の SP972 からグスク土器（第 48 図 25）、SP745 からは土製品（第 48 図 28）が出土している。

以上のように、XI ・XII 地区のピット群は、ともに谷地形に堆積したⅢ層以下で検出されたものであるが、XI 地区では谷上部、XII 地区では谷底部分にピットが検出されており、地点ごとで土地利用に差異が認められた。



第 44 図　グスク時代の遺構 24　全体図（XII 地区）



第 45 図　グスク時代の遺構 25　全体図（XII 地区）拡大

XI 地区　1 地点（2 面目）　遺構完掘状況　北から

XII 地区　2 地点（2 面目）　遺構完掘状況　北から

図版 20　グスク時代の遺構 12　（XI・XII 地区）

XI 地区　SP400　半裁状況　南から

XI 地区　SP431　半裁状況　南から

XII 地区　SP844　半裁状況　西から

XII 地区　SP867・868　半裁状況　南から

XII 地区　SP745　土器出土状況　東から

同左　拡大

XII 地区　SP972　半裁状況　東から

同左　拡大

図版 21　グスク時代の遺構 13　（XI・XII 地区）

第２項　遺物

グスク時代の遺構や包含層（Ⅲ層）からは、グスク土器を中心に白磁、カムィヤキ、滑石製品など1069点が出土している（第５～８表）。また、近世～近代の遺構からもグスク時代の白磁や青磁などの遺物が出土しており、本節でまとめて報告する。遺物の縮尺は50％を基本とし、大型のものは遺物に合わせて40％と縮小している。遺物の中で、陶磁器の胴部片や小片のものは写真によるものとし、53点を報告する。

以下に、各分類の概要を述べ、個々の所見は第９～10表の観察表にまとめている。

①グスク土器

グスク土器は、鍋形を中心に、羽釜形、壺形、甕形、鉢形、碗形が確認されている。総数755点出土した。

鍋形・羽釜形

煮沸具系の鍋形土器及び羽釜形土器については、口縁部形態及び胎土、器面調整から２大別することができ、かつ出土状況にも差異が認められることから、便宜的にA類とB類に区分した。

A類（1～13･21）

グスク土器の第１段階（具志堅2014）に相当する。滑石製石鍋を模倣した縦耳状の突帯が貼り付けられ（１～5）、滑石を混入（21）や塗布（1･7）した土器もある。口唇部はナデ調整によって平坦となり、ナデ調整や突帯を貼り付ける際に粘土が内側にはみでる個体もある（6）。

A類は掘立柱建物跡９号のSP470（1･2）及びSK83（21）から出土している。このほかはグスク時代の柱穴の埋土（12･13）や土坑の埋土（8・9）若しくは包含層のⅢ層（3～6･10）からの出土であるのに対し、後述するB類がⅪ地区の包含層からのみ出土することから、両者には出土状況の差異を認めることができる。

B類（14～16・22～24）

グスク土器の第２段階（具志堅2014）に相当する。瘤状・横耳状の突帯（14・15）を持ち、口唇部が丸みを帯び口縁が内湾する土器群。胎土はA類に比べて、やや砂泥質気味の胎土が目立ち、締まりが良くない印象を受ける。

羽釜形土器についても、突帯が簡素化していることや出土状況、胎土の特徴からB類に含めた。グスク時代の遺構埋土中からは出土せず、ほぼ包含層からの出土である。

底部（25～27）は鍋の底部である。

壺形（17）**甕形**（18）**鉢形**（19）**碗形**（20）

壷形（17）はSP147、甕形（18）は掘立柱建物跡５号のSK8出土で、他は包含層からの出土である。口縁部の特徴や胎土、出土状況から、B類に含まれる可能もあるが、包含層からはA類も出土しているため、分類に含めることについては今回保留した。

②土製品（28）

半月状の土製品が、グスク時代の柱穴であるSP745の埋土から出土している。胎土は、グスク土器にもみられる赤色粒を含んだ橙色で泥質。

③カムィヤキ

カムィヤキは24点出土している（29～31･49･50）。中でも、ズケ15-C1 SK4から出土したカムィヤキ（29）は、全体の約４分の１が残り、底部から口縁部まで復元できる。出土資料は口縁部形態や、当

て具痕からいわゆるＡ群に相当すると考えられる（新里 2003、伊仙町教育員会 2005）。

④滑石製品

滑石製品は総数７点出土した。グスク時代の遺構からは滑石製石鍋（32･33･35･51）の底部や胴部の破片、棒状の製品（34）が確認されている。出土資料の多くは、グスク時代の柱穴の埋土から出土している。特に（35）は掘立柱建物跡７号の SP382 出土、（34）は掘立柱建物跡 24 号の SP65 より出土で、（32）は SP991 内よりグスク土器の底部（27）を伴って出土している。

石鍋の破片や棒状製品には、穿孔（32･34）や割取ったような痕跡（35）が確認できることから、池田が指摘するように破片の状態で持ち込まれた（池田 2003）可能性が考えられる。

④白磁

グスク時代の白磁は総数 21 点出土した。殆どが小破片である。グスク時代の遺構からは、大宰府分類Ⅳ類の玉縁白磁碗が３点出土している。近世～近代の遺構からもグスク時代の白磁が出土しており、大宰府分類Ⅳ類のほかにＶ類端反碗、Ⅶ類櫛描文碗、Ⅸ類口禿碗、瀬戸哲也氏ほか分類（瀬戸ほか 2007）の皿Ｄ´群、碗Ｅ群が出土している。

碗Ⅳ類（36 ～ 42）　いわゆる玉縁白磁碗で、14 点出土した。（39）は掘立柱建物１号の SP233、（40）は掘立柱建物跡 13 号の SP1032 から出土している。

Ⅴ類（43）端反碗で、口縁端部で外反する。近世～近代の区画 38（Ｘ地区）SX34 からの出土である。

皿Ｄ´群（44）は陶器質で胴部下半が露胎となる。近世～近代の区画 35（Ｘ地区）SD1 から出土している。

この他、碗Ⅶ類（櫛描文碗）、碗Ⅸ類（口禿碗）、碗Ｅ群が出土しているが、小片のため図化していない。

⑤青磁

青磁は 10 点出土した。グスク時代の遺構からの出土はなく、近世～近代の遺構から出土したものが殆どである。青磁は、瀬戸哲也氏分類（瀬戸ほか 2007、瀬戸 2014）のＶ類･Ⅵ類、幅広高台タイプがある。他に水注、瓶が出土している。

碗Ⅵ類（45）は小型化した底部で厚みがある。見込みに釉剥ぎあり。近世～近代区画 40（XI 地区）SK87 からの出土である。

幅広高台タイプ（52）は、深緑色釉が施釉されるもので口縁部片が出土している。道７（XI 地区）SD20 から出土。

皿Ⅴ類（46･47）は釉の厚みや外底の釉剥ぎが特徴的なもので、底部片（46･47）が出土している。（46）は、近世～近代の区画 46（XII 地区）SD20、（47）は、区画 36（Ｘ地区）SK136 からの出土である。

その他　水注は口縁部片（48）、瓶は撮みの部分（53）が出土している。

⑥その他の遺物

その他の遺物として、石材や鉄滓、焼土、炭が出土している。

鉄滓　グスク時代の遺構からは 11 点出土した。総重量 75.2 ｇ。

第５表　グスク時代の遺構及び包含層（Ⅲ・Ⅳ層）遺物出土状況（X・XI・XII 地区)a

				種類	白磁		グスク土器													純文土器					不明土器		土製品	カムィヤキ	
				器種/分類	碗		鍋						羽釜	甕	壺	鉢	碗	器種不明		深鉢				器種不明	器種不明			壺	
				分類	Ⅳ類(玉縁)		A類(滑石混入)		B類	—			B類	—	—	—	—	—		宇座浜式	仲原式		—	—	—	—		—	—
地区	プラン	グリッド	出土地	層序/部位	口縁	胴	口縁	胴	口縁	口縁	胴	底	胴(鍔)	口縁	口縁	口縁	口縁	胴	底	口縁	口縁	胴(外耳)	底	胴	胴	—		口～底	胴
X区	掘立柱建物跡 1号	15-C1	SP 180	埋土														4											
		15-C1	SP 203	埋土														1											
		15-C1	SP 207	埋土														1											
		15-C1	SP 213	埋土														1											
		15-C1	SP 220	埋土														2						1					
		15-C1	SP 223	埋土														2											
		15-C1	SP 225	埋土														1											
		15-C1	SP 227	埋土														4											
		15-C1	SP 228	埋土												1													
		15-C1	SP 232	埋土														4											
		15-C1	SP 233	埋土	1																								
	2号	15-F1	SP 1146	埋土														1											
	3号	14-D15	SP 404	埋土														3											
		14-D15	SP 445	埋土																					1				
		14-D15	SP 753	埋土																									
	4号	15-C1	SK 010	埋土														4											
		15-C1	SP 204	埋土														2											
	5号	15-C1	SK 008	埋土										1															
		15-C1	SP 216	埋土														1											
		15-C1	SP 217	埋土														1											
	6号	14-D14	SP 524	埋土																									
		14-D14	SP 532	埋土																									
		14-D14	SP 537	埋土														5											
	7号	14-D15	SP 382	埋土																									
		14-D15	SP 763	埋土																				1					
	8号	14-D15	SP 399	埋土																									
		14-D15	SP 551	埋土														2											
		14-D15	SP 725	埋土														1											
		14-D15	SP 735	埋土														2											
		14-D15	SP 736	埋土														5											
	9号	15-D1	SK 083	埋土				1																					
		15-D1	SP 470	埋土			2											1											
	10号	14-F15	SP 1137	埋土																									
	11号	14-C15	SP 259	埋土														1											
		14-D15	SP 265	埋土																									
		14-D15	SP 270	埋土																									
		14-D15	SP 307	埋土														1											
		14-D15	SP 310	埋土														4											
	13号	15-E1	SP 1023	埋土																									
		15-E1	SP 1024	埋土														1											
		15-E1	SP 1031	埋土														1											
		15-E1	SP 1032	埋土	1																								
		15-E1	SP 1041	埋土														2											
		15-E1	SP 1042	埋土																									
		15-E1	SP 1053	埋土														1											
	15号	15-E1	SP 1067	埋土				1																					
	16号	15-I2	SK 421	埋土														2											
		15-H2	SK 422	埋土																				10					
		15-H2	SP 1357	埋土																									
		15-H2	SP 1383	埋土														1											
	18号	15-E1	SP 1027	埋土		1																							
		15-E1	SP 1035	埋土														2											
	19号	14-D15	SP 282	埋土															1										
		14-D14	SP 290	埋土																									
	20号	14-D14	SP 275	埋土														1											
	21号	14-D15	SP 456	埋土														2											
		14-D15	SP 818	埋土														7											
	22号	14-E15	SP 992	埋土														1											
	23号	15-H2	SP 1381	埋土														1											
		15-H2	SP 1382	埋土																									
	24号	14-C15	SP 027	埋土														2											
		14-C15	SP 029	埋土														1											
		14-C15	SP 045	埋土														3											
		14-C15	SP 053	埋土																				1					
		14-C15	SP 058	埋土																									
		14-C15	SP 065	埋土														1											
		14-C15	SP 068	埋土														2											
	25号	14-E13	SP 571	埋土														1											
		14-E13	SP 578	埋土														6											
		14-E13	SP 949	埋土														2											
		14-E13	SP 957	埋土																			1	5					
	柵列	14-D15	SP 822	埋土																				1					

第６表　グスク時代の遺構及び包含層（Ⅲ・Ⅳ層）遺物出土状況（X・XI・XII 地区)b

地区	プラン	グリッド	出土地	種類	カムィヤキ		滑石製品			石器								石材								焼土	炭化物	鉄滓	合計
				器種/分類	器種不明		石鍋		器種不明	石斧		石斧片	敲石		磨石		器種不明	堆積岩				変成岩			鉱物				
				分類	—	—	—	—	—	砂岩	緑色岩	緑色岩	輝緑岩	砂岩	砂岩	緑色岩	緑色千枚岩	砂岩	チャート	ニーピ	軽石	絹雲母片岩	緑色片岩	黒色千枚岩	石英				
				層序/部位	胴	—	胴部	底部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
X区	掘立柱建物跡	1号	15-C1 SP 180	埋土																									4
			15-C1 SP 203	埋土																						1			2
			15-C1 SP 207	埋土																									1
			15-C1 SP 213	埋土																									1
			15-C1 SP 220	埋土																									3
			15-C1 SP 223	埋土																									2
			15-C1 SP 225	埋土																									1
			15-C1 SP 227	埋土																									4
			15-C1 SP 228	埋土																									1
			15-C1 SP 232	埋土																									4
			15-C1 SP 233	埋土																									1
		2号	15-F1 SP 1146	埋土																									1
		3号	14-D15 SP 404	埋土																									3
			14-D15 SP 445	埋土																									1
			14-D15 SP 753	埋土														1											1
		4号	15-C1 SK 010	埋土																						2			6
			15-C1 SP 204	埋土																									2
		5号	15-C1 SK 008	埋土																									1
			15-C1 SP 216	埋土																									1
			15-C1 SP 217	埋土																									1
		6号	14-D14 SP 524	埋土																						1			1
			14-D14 SP 532	埋土														1								1			2
			14-D14 SP 537	埋土																								1	6
		7号	14-D15 SP 382	埋土			1																						1
			14-D15 SP 763	埋土																									1
		8号	14-D15 SP 399	埋土																								1	1
			14-D15 SP 551	埋土																									2
			14-D15 SP 725	埋土																									1
			14-D15 SP 735	埋土																									2
			14-D15 SP 736	埋土																									5
		9号	15-D1 SK 083	埋土																									1
			15-D1 SP 470	埋土																									3
		10号	14-F15 SP 1137	埋土														1								3			4
		11号	14-C15 SP 259	埋土																						10			11
			14-D15 SP 265	埋土																						1			1
			14-D15 SP 270	埋土																						1			1
			14-D15 SP 307	埋土																									1
			14-D15 SP 310	埋土																									4
		13号	15-E1 SP 1023	埋土										1															1
			15-E1 SP 1024	埋土																									1
			15-E1 SP 1031	埋土																									1
			15-E1 SP 1032	埋土																									1
			15-E1 SP 1041	埋土																									2
			15-E1 SP 1042	埋土																								1	1
			15-E1 SP 1053	埋土																									1
		15号	15-E1 SP 1067	埋土																									1
		16号	15-I2 SK 421	埋土																									2
			15-H2 SK 422	埋土																	84								94
			15-H2 SP 1357	埋土																	1								1
			15-H2 SP 1383	埋土																	1								2
		18号	15-E1 SP 1027	埋土																									1
			15-E1 SP 1035	埋土																									2
		19号	14-D15 SP 282	埋土																									1
			14-D14 SP 290	埋土																		1							1
		20号	14-D14 SP 275	埋土																									1
		21号	14-D15 SP 456	埋土																									2
			14-D15 SP 818	埋土																									7
		22号	14-E15 SP 992	埋土																									1
		23号	15-H2 SP 1381	埋土																									1
			15-H2 SP 1382	埋土																	5								5
		24号	14-C15 SP 027	埋土																									2
			14-C15 SP 029	埋土																1									2
			14-C15 SP 045	埋土																									3
			14-C15 SP 053	埋土																									1
			14-C15 SP 058	埋土																						1			1
			14-C15 SP 065	埋土					1					1															3
			14-C15 SP 068	埋土																									2
		25号	14-E13 SP 571	埋土														1											2
			14-E13 SP 578	埋土																									6
			14-E13 SP 949	埋土																									2
			14-E13 SP 957	埋土																									6
	柵列		14-D15 SP 822	埋土																									1

第７表　グスク時代の遺構及び包含層（Ⅲ・Ⅳ層）遺物出土状況（X・XI・XII 地区)c

			種類	白磁		グスク土器													縄文土器					不明土器		土製品	カムィヤキ	
			器種/分類	碗		鍋						羽釜	甕	壺	鉢	碗	器種不明		深鉢				器種不明	器種不明			壺	
			分類	Ⅳ類(玉縁)		A類(滑石混入)		B類		—		B類	—	—	—	—	—		宇座浜式	仲原式		—	—	—	—		—	—
地区	グリッド	出土地	層序/部位	口縁	胴	口縁	胴	口縁	口縁	胴	底	胴(鍔)	口縁	口縁	口縁	口縁	胴	底	口縁	口縁	胴(外耳)	底	胴	胴	—		口～底	胴
X区	15-C1	SK 004	埋土												1												1	
	14-C15	SK 007	埋土																					3				
	15-D1	SK 069	埋土																					2				1
	15-D1	SK 091	埋土			1																			4			
	14-D15	SK 102	埋土			1											63											
	14-E15	SK 210	埋土																1				11					
	15-H2	SK 353	埋土				4										25											
	15-H2	SK 497	埋土														1											
	14-C15	SP 003	埋土																				7					
	14-C15	SP 005	埋土																					1				
	14-C15	SP 007	埋土														1											
	14-C15	SP 009	埋土																					2				
	14-C15	SP 010	埋土														6											
	14-C15	SP 049	埋土																				1					
	14-C15	SP 063	埋土														1											
	14-C15	SP 086	埋土																									
	14-C15	SP 096	埋土																	1								
	14-C15	SP 106	埋土														1											
	15-C1	SP 125	埋土																									
	15-C1	SP 129	埋土														1											
	15-C1	SP 130	埋土														1											
	15-C1	SP 139	埋土														1											
	15-C1	SP 147	埋土											1														
	15-C1	SP 149	埋土				1																					
	15-C1	SP 152	埋土														1											
	15-C1	SP 205	埋土														1											
	15-C1	SP 226	埋土																									
	15-C1	SP 239	埋土																									
	14-C15	SP 247	埋土														1											
	14-C15	SP 252	埋土														1											
	14-C15	SP 255	埋土			1																						
	14-C15	SP 263	埋土														1											
	14-D15	SP 268	埋土																									
	15-D1	SP 512	埋土																				3					
	14-E15	SP 558	埋土														4											
	14-E13	SP 573	埋土														1											
	14-E13	SP 576	埋土														1											
	14-D13	SP 577	埋土														5											
	14-E13	SP 594	埋土														1											
	14-E14	SP 651	埋土														1											
	14-E14	SP 666	埋土														1											
	15-C1	SP 721	埋土														1											
	14-D15	SP 742	埋土																				1					
	14-D15	SP 765	埋土														3											
	14-E15	SP 795	埋土																									
	14-E15	SP 803	埋土														1											
	14-E15	SP 805	埋土														1						1					
	14-E15	SP 844	埋土														2											
	14-E15	SP 850	埋土			1																						
	14-E15	SP 855	埋土			1																						
	14-E15	SP 856	埋土														1											
	14-E15	SP 857	埋土														1											
	14-E14	SP 952	埋土														1											
	14-E15	SP 973	埋土														1											
	14-E15	SP 991	埋土							2	1																	
	15-E1	SP 1008	埋土														1											
	15-E1	SP 1051	埋土														1											
	15-E1	SP 1099	埋土														1											
	15-G2	SP 1281	埋土				2										1											
	15-G2	SP 1288	埋土														1											
	15-H1	SP 1328	埋土														4											
	15-I2	SP 1368	埋土																									
	15-I2	SP 1371	埋土														1											
	15-I2	SP 1374	埋土														1											
	15-I2	SP 1378	埋土																									
	15-I2	SP 1420	埋土																									
	14-E15	SP 1444	埋土														2											
	14-D14		Ⅲ層							17																		
	14-E15		Ⅲ層							56																		
			Ⅲ層						1	30					1		7								2			
	小計			2	1	7	9	0	1	105	1	0	1	1	3	0	246	1	1	1	0	1	43	9	6	0	1	1
XI区	ズケ15 O-8	SP 120	埋土																									
	ズケ15 O-6	SP 393	埋土														1											
	ズケ15 O-5	SP 378	埋土														1											
	ズケ15 O-6	SP 425	埋土				1										1											
	ズケ15 O-6	SP 440	埋土			1											1											
	ズケ15 O-6	SP 442	埋土														1											
	ズケ22 A-5		Ⅲ層														1											
	ズケ15 O-5		Ⅲ層	1		1			1	3		2					46											1
	ズケ15 A-6		Ⅲ層														1											
	ズケ15 O-6		Ⅲ層			2	1	1				2					67				1	1	48					
	ズケ22 A-6		Ⅲ層	1		7		2				1				1	136	1	1				24					1
	ズケ22 A-6		Ⅲ層上面														1											
	ズケ22 A-7		Ⅲ層																					3				
	ズケ15 O-7		Ⅲ層														1											
	ズケ15 O-8		Ⅲ層																		1							
	小計			2	0	11	2	3	1	3	0	5	0	0	0	1	258	1	1	0	2	1	72	3	0	0	0	2
XII区	ズケ22 B-11	SP 8	埋土																									
	ズケ22 D-10	SP 428	埋土														1											
	ズケ22 D-9	SP 561	埋土														1											
	ズケ22 C-9	SP 695	埋土														1											
	ズケ22 C-10	SP 725	埋土														1											
	ズケ22 D-10	SP 743	埋土														1											
	ズケ22 D-9・D-10	SP 745	埋土																							1		
	ズケ22 D-10	SP 832	埋土																									
	ズケ22 D-9	SP 967	埋土														1											
	ズケ22 C-9	SP 972	埋土								1																	
	ズケ22 C-9		Ⅲ層																					1				
	ズケ22 C-10		Ⅲ層			1																						
	ズケ22 D-9		Ⅲ層																									
	ズケ22 D-10		Ⅳ層上面																									
	ズケ22 C-9		Ⅳ層														1											
	ズケ22 C-10		Ⅳ層																									
	小計			0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
総計				4	1	19	11	3	2	108	2	5	1	1	3	1	511	2	2	1	2	2	115	13	6	1	1	3

第８表　グスク時代の遺構及び包含層（Ⅲ・Ⅳ層）遺物出土状況（X・XI・XII 地区)d

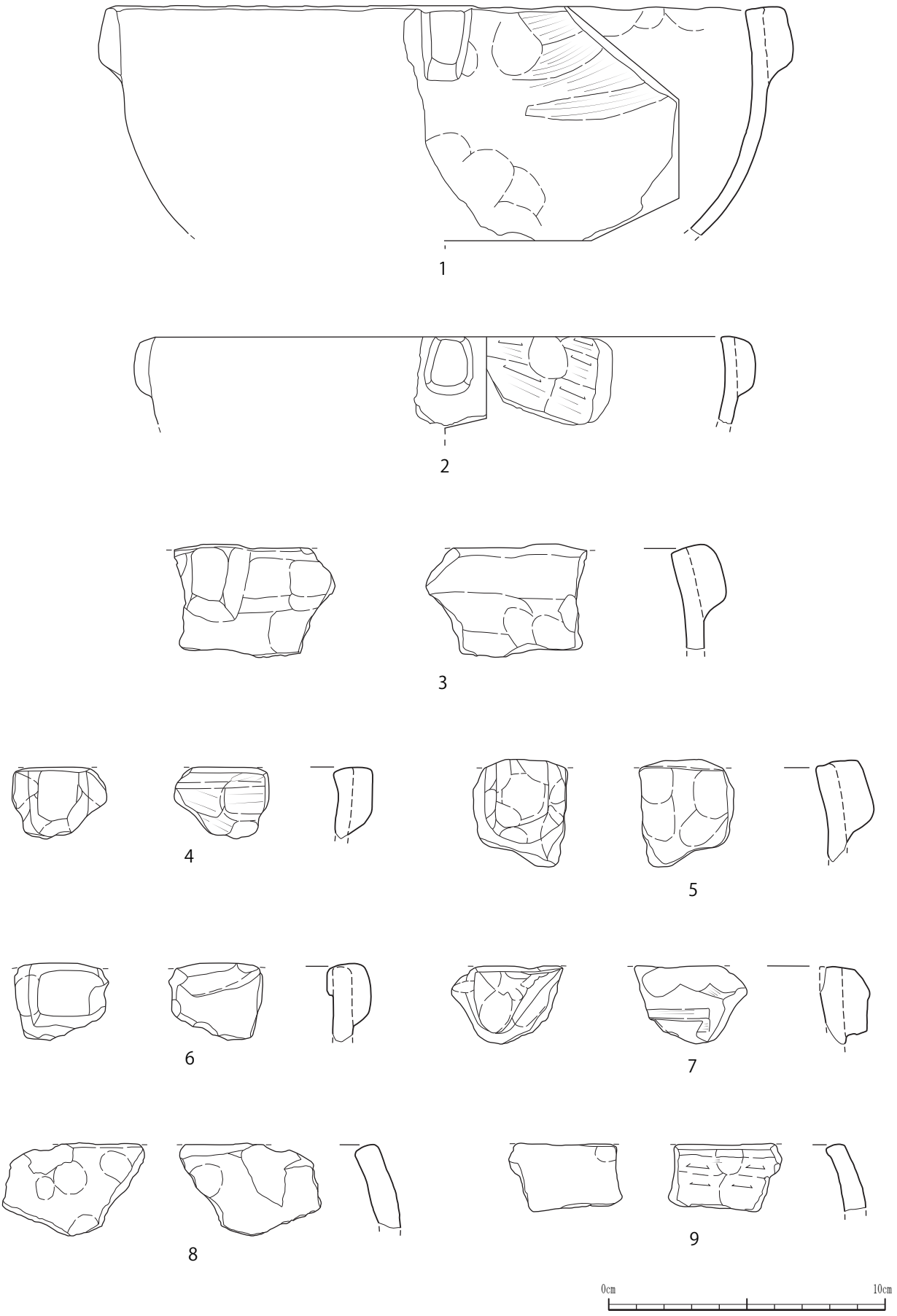
			種類	カムイヤキ		滑石製品			石器								石材								焼土	炭化物	鉄滓	合計
			器種/分類	器種不明		石鍋		器種不明	石斧		石斧片	敲石		磨石		器種不明	堆積岩				変成岩			鉱物				
			分類	—	—	—	—	—	砂岩	緑色岩	緑色岩	輝緑岩	砂岩	砂岩	緑色岩	緑色千枚岩	砂岩	チャート	ニーピ	軽石	絹雲母片岩	緑色片岩	黒色千枚岩	石英				
地区	グリッド	出土地	層序/部位	胴	—	胴部	底部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
X区	15-C1	SK 004	埋土																									2
	14-C15	SK 007	埋土																									3
	15-D1	SK 069	埋土																									3
	15-D1	SK 091	埋土																			1						6
	14-D15	SK 102	埋土					2									2										1	69
	14-E15	SK 210	埋土																									12
	15-H2	SK 353	埋土																									29
	15-H2	SK 497	埋土																									1
	14-C15	SP 003	埋土																									7
	14-C15	SP 005	埋土																									1
	14-C15	SP 007	埋土																									1
	14-C15	SP 009	埋土																									2
	14-C15	SP 010	埋土																						3			9
	14-C15	SP 049	埋土																									1
	14-C15	SP 063	埋土																									1
	14-C15	SP 086	埋土																18									18
	14-C15	SP 096	埋土																									1
	14-C15	SP 106	埋土																									1
	15-C1	SP 125	埋土																						1	1		2
	15-C1	SP 129	埋土																									1
	15-C1	SP 130	埋土																									1
	15-C1	SP 139	埋土																									1
	15-C1	SP 147	埋土																									1
	15-C1	SP 149	埋土																									1
	15-C1	SP 152	埋土																									1
	15-C1	SP 205	埋土																									1
	15-C1	SP 226	埋土																								1	1
	15-C1	SP 239	埋土																								2	2
	14-C15	SP 247	埋土																									1
	14-C15	SP 252	埋土																									1
	14-C15	SP 255	埋土																									1
	14-C15	SP 263	埋土																									1
	14-D15	SP 268	埋土														1											1
	15-D1	SP 512	埋土																									3
	14-E15	SP 558	埋土																									4
	14-E13	SP 573	埋土																									1
	14-E13	SP 576	埋土																									1
	14-D13	SP 577	埋土																						3			8
	14-E13	SP 594	埋土																									1
	14-E14	SP 651	埋土																				1					2
	14-E14	SP 666	埋土																									1
	15-C1	SP 721	埋土																									1
	14-D15	SP 742	埋土																									1
	14-D15	SP 765	埋土																									3
	14-E15	SP 795	埋土														1											1
	14-E15	SP 803	埋土																									1
	14-E15	SP 805	埋土				1																					3
	14-E15	SP 844	埋土																									2
	14-E15	SP 850	埋土																									1
	14-E15	SP 855	埋土																									1
	14-E15	SP 856	埋土																									1
	14-E15	SP 857	埋土																									1
	14-E14	SP 952	埋土																									1
	14-E15	SP 973	埋土																									1
	14-E15	SP 991	埋土			1																			1			5
	15-E1	SP 1008	埋土																									1
	15-E1	SP 1051	埋土																									1
	15-E1	SP 1099	埋土																									1
	15-G2	SP 1281	埋土																									3
	15-G2	SP 1288	埋土																									1
	15-H1	SP 1328	埋土																									4
	15-I2	SP 1368	埋土																	1								1
	15-I2	SP 1371	埋土														1											2
	15-I2	SP 1374	埋土																									1
	15-I2	SP 1378	埋土																	1								1
	15-I2	SP 1420	埋土																	29								29
	14-E15	SP 1444	埋土																									2
	14-D14		Ⅲ層																									17
	14-E15		Ⅲ層		1							1		1			1	1	11				2				2	76
			Ⅲ層		1																		1	1				44
	小計			0	2	2	1	3	0	0	0	1	2	1	0	0	10	1	30	122	1	1	4	1	29	1	9	662
XI区	ズケ15 O-8	SP 120	埋土																								1	1
	ズケ15 O-6	SP 393	埋土																									1
	ズケ15 O-5	SP 378	埋土																									1
	ズケ15 O-6	SP 425	埋土																									2
	ズケ15 O-6	SP 440	埋土																									2
	ズケ15 O-6	SP 442	埋土																									1
	ズケ22 A-5		Ⅲ層																									1
	ズケ15 O-5		Ⅲ層	1																								56
	ズケ15 A-6		Ⅲ層																									1
	ズケ15 O-6		Ⅲ層												3					2								128
	ズケ22 A-6		Ⅲ層	3						4				6														188
	ズケ22 A-6		Ⅲ層上面																									1
	ズケ22 A-7		Ⅲ層																									3
	ズケ15 O-7		Ⅲ層																									1
	ズケ15 O-8		Ⅲ層																									1
	小計			4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	6	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	388
XII区	ズケ22 B-11	SP 8	埋土																1									1
	ズケ22 D-10	SP 428	埋土																									1
	ズケ22 D-9	SP 561	埋土																									1
	ズケ22 C-9	SP 695	埋土																									1
	ズケ22 C-10	SP 725	埋土																									1
	ズケ22 D-10	SP 743	埋土																									1
	ズケ22 D-9・D-10	SP 745	埋土																									1
	ズケ22 D-10	SP 832	埋土													1												1
	ズケ22 D-9	SP 967	埋土																									1
	ズケ22 C-9	SP 972	埋土																									1
	ズケ22 C-9		Ⅲ層																						1			2
	ズケ22 C-10		Ⅲ層																									1
	ズケ22 D-9		Ⅲ層								1																	1
	ズケ22 D-10		Ⅳ層上面						1																			1
	ズケ22 C-9		Ⅳ層																								1	2
	ズケ22 C-10		Ⅳ層																						2			2
	小計			0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	1	19
総計				4	2	2	1	3	1	4	1	1	2	7	3	1	10	1	31	124	1	1	4	1	32	1	11	1069

第９表　グスク時代　出土遺物観察一覧 a

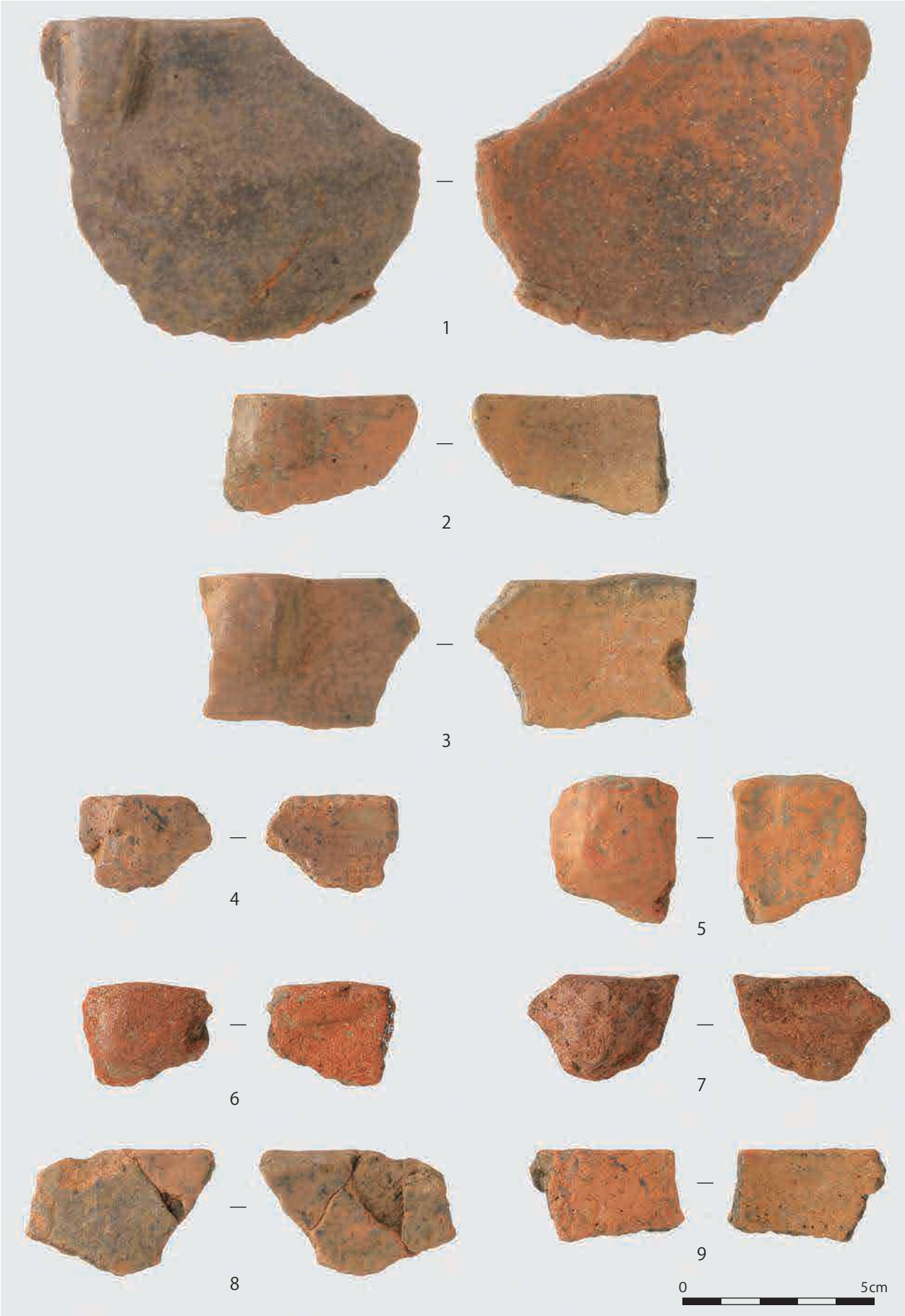
挿図番号 図版番号		種類	器種	分類	部位	法量（cm） 口径（長軸）	底径（短軸）	器高（厚さ）	観察事項	地区	出土地	遺構時期
第 46 図 図版 22	1	グスク土器	鍋	A 類	口縁部	[23.1]	－	－	A 類。口縁部には石鍋の耳状の突帯が貼り付けられ、口唇部は平坦になる。内外面ともナデ調整が施されるが、外面はハケメ調整が残る。胎土は、器面に滑石が塗布された砂泥質で、外面灰褐～暗褐色、内面明赤褐色～黒褐色。	X	SP470 埋土 建物跡 9 号	グスク
	2	グスク土器	鍋	A 類	口縁部	[21.0]	－	－	A 類。口縁部にはやや形の崩れた石鍋の耳状の突帯が貼り付けられ、口唇部は平坦になる。内外面ともナデ調整が施されるが、内面はハケメ調整が先行して施される。胎土は泥質で、白色粒など微細な砂粒を含み橙色。	X	SP470 埋土 建物跡 9 号	グスク
	3	グスク土器	鍋	A 類	口縁部	－	－	－	A 類。口縁部には石鍋の耳状の突帯が貼り付けられ、口唇部は平坦になる。内外面ともナデ調整。胎土は赤色粒や白色粒を含んだ泥質で外面暗橙色、内面黄橙色。	XI	Ⅲ層	－
	4	グスク土器	鍋	A 類	口縁部	－	－	－	A 類。口縁部に石鍋の耳状の突帯が貼り付けられ、口唇部はナデ調整によって平坦になる。内面にはハケメ調整の後、全体的にナデ調整が施される。胎土は白色粒などの砂粒を含む泥質で、内外面とも明赤褐色。	XI	Ⅲ層	－
	5	グスク土器	鍋	A 類	口縁部	－	－	－	A 類。石鍋の耳状の突帯を貼り付けているが、凹凸が目立つ。口唇部はナデ調整が施されるが、突帯の接合部に凹凸が残る。胎土は、白色粒などの微粒砂を含む泥質で、内外面とも明赤褐色。	XI	Ⅲ層	－
	6	グスク土器	鍋	A 類	口縁部	－	－	－	A 類。口縁部に石鍋の耳状の突帯が貼り付けられ、口唇部は平坦になる。貼り付けられた粘土は内面まではみ出す。内外面ともナデ調整が施される。胎土は白色粒などを含んだやや砂泥質で、内外面とも赤褐色、芯部は黒褐色。	XI	Ⅲ層	－
	7	グスク土器	鍋	A 類	口縁部	－	－	－	A 類。石鍋を模倣しているが、口縁部の突帯は逆三角形に近い形状を呈する。内外面ともナデ調整が施される。胎土は砂泥質で、赤褐色。器面に滑石が塗布されている。	XII	Ⅲ層	－
	8	グスク土器	鍋	A 類	口縁部	－	－	－	口縁部は内湾し、ナデにより平坦になる。内外面とも指頭圧痕が残り、ナデ調整を施している。胎土は赤色粒を含む泥質の橙～にぶい黄橙色。	X	SK91 埋土	グスク
	9	グスク土器	鍋	A 類	口縁部	－	－	－	A 類。口縁部は内湾し、ナデにより平坦になる。内外面とも指頭圧痕が残り、ナデ調整を施している。胎土は泥質で微細な砂粒を含み明赤橙色。	X	SK102 埋土	グスク
第 47 図 図版 23	10	グスク土器	鍋	A 類	口縁部	－	－	－	A 類。口唇部はナデ調整によって平坦になる。内面はハケ調整の痕が残るが、内外面ともナデ調整が施されてる。胎土は、白色粒を含んだ泥質で、内面明赤褐色、外面黒褐色。	XI	Ⅲ層	－
	11	グスク土器	鍋	A 類	口縁部	－	－	－	口縁部はナデによって平坦面をつくりだす。内外面ともナデ調整が施される。胎土は泥質で赤色粒などの微細な砂粒を含み明赤褐色。	X	SP255 埋土	グスク
	12	グスク土器	鍋	A 類	口縁部	－	－	－	A 類。口縁部はナデによって平坦面をつくりだす。内外面とも指頭圧痕が残り、ナデ調整を施す。胎土は砂粒を多く含んだ砂質で橙～灰橙色。	X	SP850 埋土	グスク
	13	グスク土器	鍋	A 類	口縁部	－	－	－	A 類。口縁部はナデによって平坦にするが、やや丸みをおびて張り出す。内外面ともナデ調整が施される。胎土は泥質で微細な砂粒を含み橙～暗褐色。	X	SP855 埋土	グスク
	14	グスク土器	鍋	B 類	口縁部	－	－	－	口縁部は内湾し、瘤状の突起が貼り付けられる。器表面はアバタ状。内面はハケメのあとナデ調整、外面はナデ調整が施される。胎土は、白色粒を含んだ泥質で、外面暗明褐色、内面橙色、芯が灰褐色。	XI	Ⅲ層	－
	15	グスク土器	鍋	B 類	口縁部	－	－	－	B 類。口縁部下に貼り付けられた横耳状の突帯の一部。内外面ともナデ調整。胎土は、白色粒などを含んだ砂泥質で、内外面橙色。	XI	Ⅲ層	－
	16	グスク土器	鍋	B 類	口縁部	－	－	－	B 類。口縁部は内湾する。内外面ともユビオサエやナデ調整が施される。胎土は、白色粒や赤色粒などを含んだ泥質で、外面暗橙色、内面灰橙色。	XI	Ⅲ層	－
	17	グスク土器	壺	－	口縁部	[11.6]	－	－	口縁部から頸部にかけて屈曲し、口縁部はナデによって平坦面をつくりだす。頸部の内面に指頭圧痕が多く残る。胎土は砂泥質で砂粒を含み橙色～明赤褐色。	X	SP147 埋土	グスク
	18	グスク土器	甕	－	口縁部	－	－	－	ナデ調整が施される。胎土は泥質で微細な白色粒などの砂粒を含んだ赤褐色。	X	SK8 埋土 建物跡 5 号	グスク
	19	グスク土器	鉢	グスク	口縁部	－	－	－	口縁部はナデによって平坦にするが、やや玉縁状を呈する。胎土は泥質で砂粒を含んだ赤橙色。	X	Ⅲ層	－
	20	グスク土器	碗	－	口縁部	－	－	－	口唇部はナデで平坦になり、やや内側に三角形状に張り出す。口縁部はやや内湾しながら直線的に立ち上がる。胎土は微細な砂粒を含む泥質で橙色。	XI	Ⅲ層	－
第 48 図 図版 24	21	グスク土器	鍋	A 類	胴部	－	－	－	内外面にハケメ若しくはケズリの単位が確認できる。胎土は滑石を混入し、泥質で暗橙色。	X	SK83 埋土 建物跡 9 号	グスク
	22	グスク土器	羽釜	B 類	胴部	－	－	－	B 類。胴部に鍔状の突帯を巡らす。内外面ともナデ調整が施されるが、指頭圧痕が残る。胎土は白色粒を含む砂泥質で、内外面とも橙色、芯は灰褐色。	XI	Ⅲ層	－
	23	グスク土器	羽釜	B 類	胴部	－	－	－	B 類。鍔状の突帯部分。内外面ともナデ調整が施されているが、器面が剥離しているため、詳細は不明。胎土は細かい砂粒を含んだ砂泥質で、内面橙色、外面明褐色。	XI	Ⅲ層	－
	24	グスク土器	羽釜	B 類	胴部	－	－	－	B 類。胴部に鍔状の突帯を巡らす。内外面ともナデ調整。胎土は細かい砂粒を含む泥質で、内外面とも明赤褐色、芯は黒褐色。	XI	Ⅲ層	－
	25	グスク土器	鍋	－	底部	－	－	－	内面に指頭圧痕やナデの跡がわずかに残るが、器面が全体的にアバタ状のため、外面の調整痕は判然としない。胎土は砂粒をほとんどみられない泥質で灰白色。	XII	SP972 埋土	グスク
	26	グスク土器	鍋	－	底部	－	－	－	平底。内外面ともナデ調整。胎土は泥質で微細な白色粒を含み橙～灰黄褐色。	X	Ⅰ層	－
	27	グスク土器	鍋	－	底部	－	－	－	平底。内外面ともハケメ若しくはヘラナデの後、ナデ調整。胎土は泥質で微細な砂粒を含み、外面明赤褐色～暗褐色、内面黒褐色。	X	SP991 埋土	グスク
	28	土製品	－	－	－	3.5	1.8	－	半月状の土製品。片面は平坦だが、反対の面は凹凸が目立つ。側面は面をなしている。胎土は赤色粒を含んだ泥質で、橙色。6.3 g	XII	SP745 埋土	グスク

第 10 表　グスク時代　出土遺物観察一覧 b

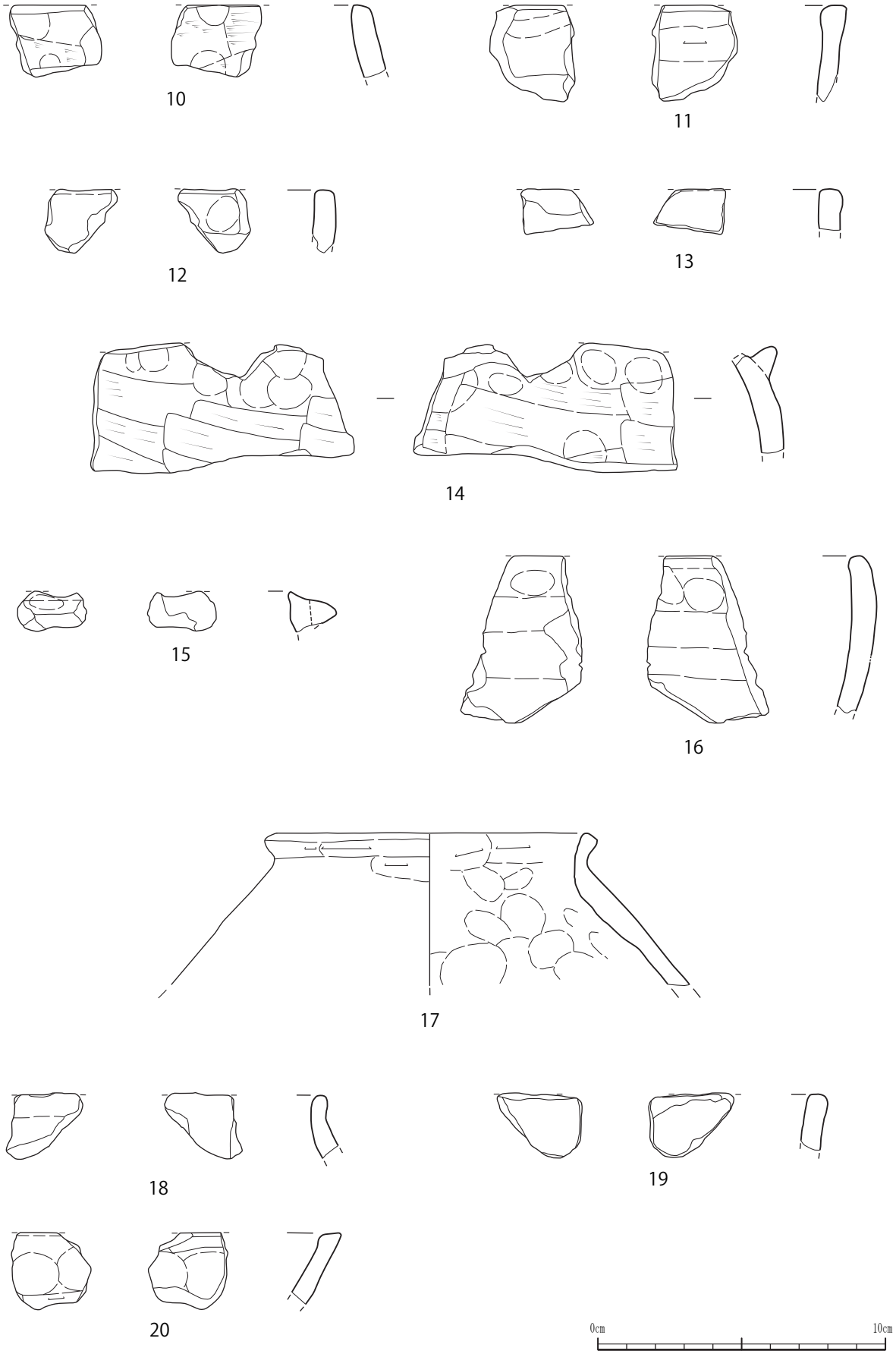
挿図番号 図版番号		種類	器種	分類	部位	法量（cm） 口径（長軸）	底径（短軸）	器高（厚さ）	観察事項	地区	出土地	遺構時期
第 49 図 図版 25	29	カムィヤキ	壺	A 群	口～底部	[10.4]	[9.6]	[17.3]	約 1/4 が残存。口縁は大きく外に開き外反。口唇分の断面は三角形状を呈する。肩部には波状文。内外面ともロクロナデが施されるが、内面に格子目状のタタキが残る。胎土は白色粒を含む暗灰色で芯は褐色。	X	SK4 埋土	グスク
	30	カムィヤキ	壺	A 群	口縁部	―	―	―	口縁は大きく外に開き外反。口唇分の断面は三角形状を呈する。内外面ともロクロナデが施される。胎土は白色粒を含む暗灰色で芯は褐色。	X	Ⅰ層	―
	31	カムィヤキ	壺	A 群	胴部	―	―	―	外面はナデの後に波状文が施され、内面は格子目状のタタキが確認できる。胎土は白色粒を含む灰色で芯が暗褐色。	XI	Ⅲ層	―
	32	滑石製品	鍋	―	―	5.8	3.5	1.2	石鍋の胴部片。タガネの痕や被熱を受けた箇所、穿孔が施された痕がみられる。重量：35 g	X	SP991 埋土	グスク
	33	滑石製品	鍋	―	―	6.4	4.7	2.1	石鍋の底部片。タガネの痕や被熱を受けた箇所がみられる。重量：61 g	X	SP805 埋土	グスク
	34	滑石製品	―	―	―	1.6	1	0.8	断面多角形の棒状の製品。研磨などによって面が形成されている。穿孔が施された痕跡がみられることから、二次製品の可能性がある。1.8g	X	SP65 埋土 建物跡 24 号	グスク
	35	滑石製品	鍋	―	―	6.5	5.4	1.5	石鍋の破片で外面にタガネの痕や被熱を受けた箇所がみられる。長軸方向に割った痕跡がみられることから、破片を分割した可能性がある。重量：65g	X	SP382 埋土 建物跡 7 号	グスク
第 50 図 図版 26	36	白磁	碗	Ⅳ類	口縁部	―	―	―	玉縁口縁。口縁部の玉縁は断面三角形状に肥厚する。やや黄色みを帯びた灰白色の半透明釉を施釉。素地はやや黄色みを帯びた灰白色で緻密。	XI	Ⅲ層	―
	37	白磁	碗	Ⅳ類	口縁部	―	―	―	玉縁口縁。口縁部は断面蒲鉾状に肥厚する。灰色みを帯びた半透明の釉を施釉。素地は黒色の粒子を含んだ灰白色。	X	SK182 埋土	近世～近代
	38	白磁	碗	Ⅳ類	口縁部	―	―	―	玉縁口縁。口縁部の玉縁は平坦な蒲鉾状に肥厚する。やや灰色みを帯びた透明釉を施釉。素地は黒色の粒子を含む黄色みを帯びた灰白色。	XI	Ⅲ層	―
	39	白磁	碗	Ⅳ類	口縁部	―	―	―	玉縁口縁。口縁部の玉縁は断面三角形状に肥厚する。やや黄色みを帯びた灰白色の釉を施釉。素地は灰白色で黒色粒を含み緻密。	X	SP233 埋土 建物跡 1 号	グスク
	40	白磁	碗	Ⅳ類	口縁部	―	―	―	玉縁口縁。口縁部の玉縁は小ぶりで、断面三角形状に肥厚する。やや灰色みを帯びた透明な白色の釉を施釉。素地は灰白色で黒色粒を含み緻密。	X	SP1032 埋土 建物跡 13 号	グスク
	41	白磁	碗	Ⅳ類	口縁部	―	―	―	玉縁口縁。口縁部は断面三角形状に肥厚する。やや灰色みを帯びた白色の釉を施釉。素地は灰白色で黒色粒を含み緻密。	X	SK49 埋土 建物跡 2 号	近世～近代
	42	白磁	碗	Ⅳ類	口縁部	―	―	―	玉縁口縁。口縁部の玉縁は小ぶりで断面蒲鉾状に肥厚する。やや灰色みを帯びた白色の釉を施釉。素地は黄色みを帯びた灰白色で緻密。	X	SX33 埋土	近世～近代
	43	白磁	碗	Ⅴ類	口縁部	―	―	―	福建系。口縁部はゆるやかに端反り。内面に圏線を陰刻する。透明釉を内外面に施釉。素地は白色で緻密。	X	SX34 埋土	近世～近代
	44	白磁	皿	D' 群	底部	―	[4.2]	―	明代。福建系。高台のみ露胎で、他は灰白色の釉を施す。内底は薄く釉剥ぎを行う。素地は浅黄橙色で細かい。	X	SD1 埋土	近世～近代
	45	青磁	碗	Ⅵ類	底部	―	5.5	―	Ⅵ類。黒色の微粒子を含む透明なオリーブ色の釉を高台内面まで施釉後、内底を釉剥ぎ。高台は丸みをおびた角を持つ。素地は灰色で緻密。	XI	SK87 埋土	近世～近代
	46	青磁	皿	Ⅴ類	底部	―	[6.2]	―	全面に黒色の微粒子を含むくすんだ緑釉をやや厚く施釉後、外底を釉剥ぎ。高台は丸みを帯びた台形を呈する。素地は灰白色で緻密。	XII	SD20 埋土	近世～近代
	47	青磁	皿	Ⅴ類	底部	―	[5.7]	―	全面に緑釉をやや厚く施釉後、外底を釉剥ぎ。高台は略台形を呈する。素地は黒色粒を含む灰色で緻密。	X	SK136 埋土	近世～近代
	48	青磁	水注	グスク	口縁部	[8.5]	―	―	明代。15 ｃ。ラッパ状に開いた頸部から受け皿状に口縁部が立ち上がる。内外面ともくすんだ緑釉が厚く施される。素地はやや橙色みを帯びた灰色で緻密。	X	Ⅰ層	―
図版 26	49	カムィヤキ	壺	A 群	胴部	―	―	―	外面にナデ調整の痕、内面に格子目状のタタキ痕。胎土は白色粒を含む暗灰色で芯は褐色。	XI	SD11 埋土	近世～近代
	50	カムィヤキ	壺	A 類	胴部	―	―	―	外面は平行タタキ、内面はヘラ状の工具によるケズリ。胎土は白色粒を含む灰色で芯が褐色。	XI	SX27 埋土	近世～近代
	51	滑石製品	鍋	―	底部	8.9	3.9	1.3	滑石製石鍋の破片。タガネの痕跡がわずかに残る。重量：55.1g	X	SD3 埋土	近世～近代
	52	青磁	碗	幅広高台タイプ	口縁部	―	―	―	口唇部は丸みを帯びる。深緑色の釉が内外面に施釉される。素地は灰白色で緻密。	XI	SD20 埋土	近世～近代
	53	青磁	瓶	グスク	撮み	―	―	―	輪状の撮みの破片。半透明の緑色釉が施釉され、貫入が入る。素地は白色で緻密。撮みの断面径 0.9 ｃｍ。	XI	SK25 埋土	近世～近代



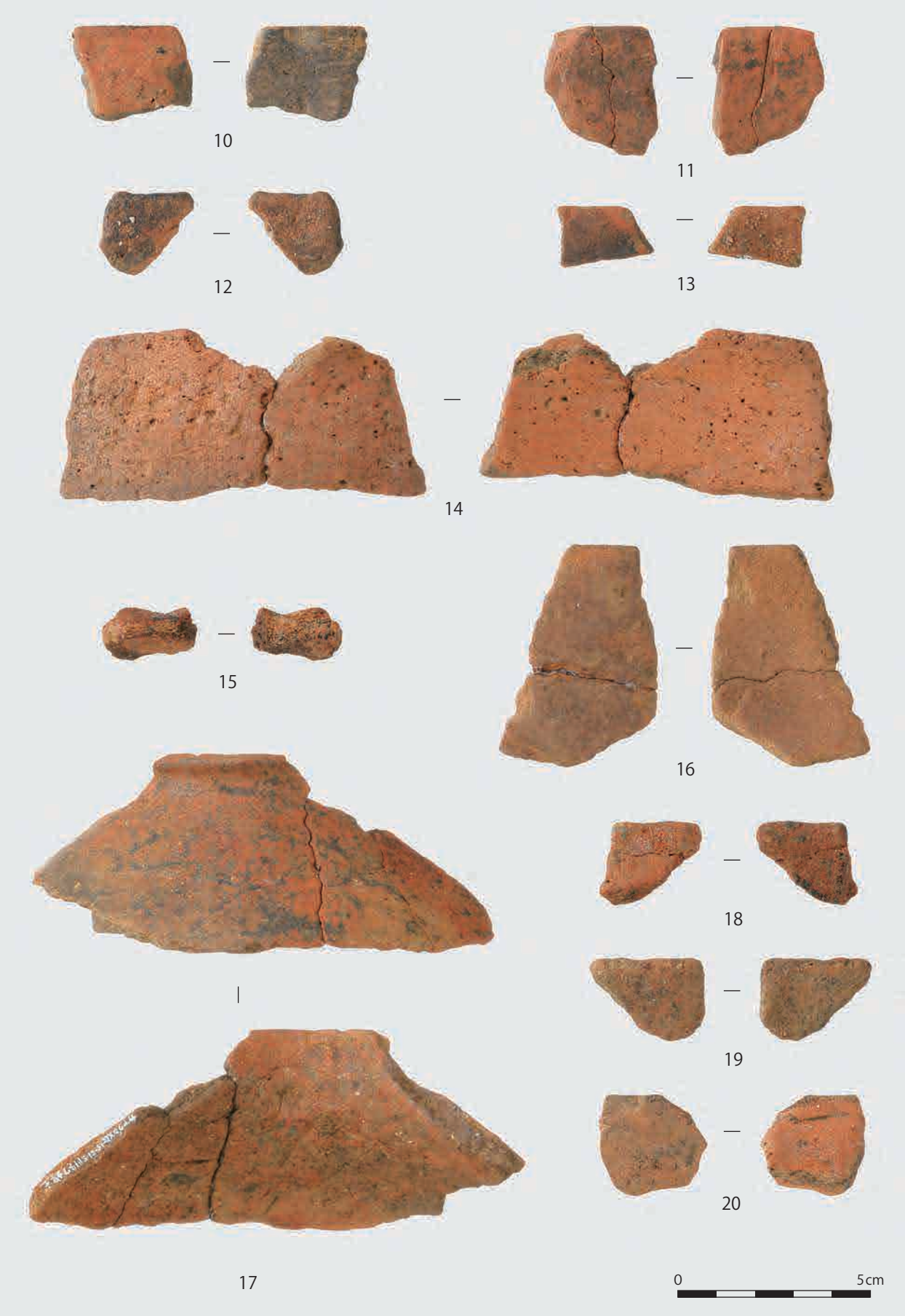
第 46 図　グスク時代　出土遺物 1



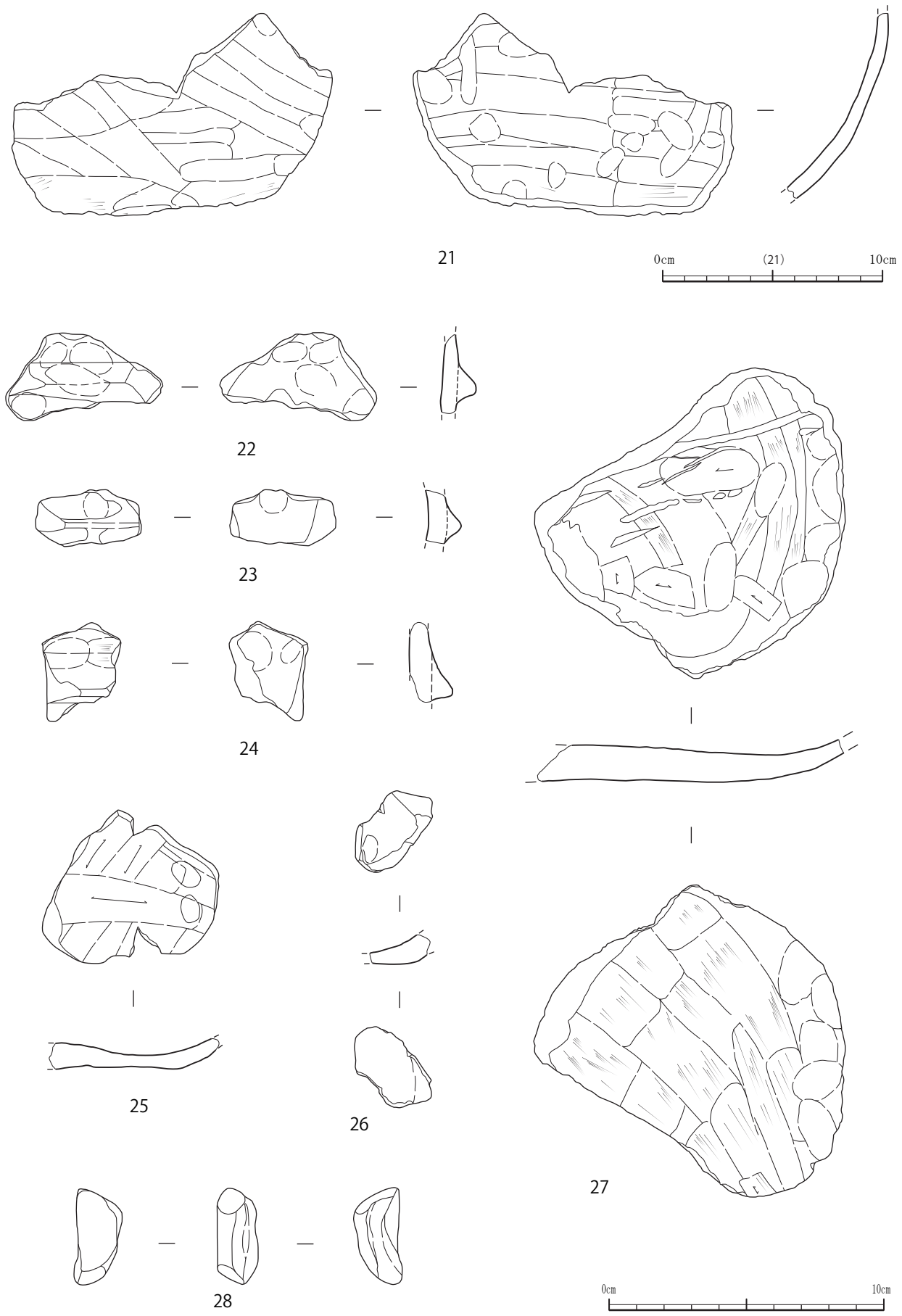
図版 22　グスク時代　出土遺物 1



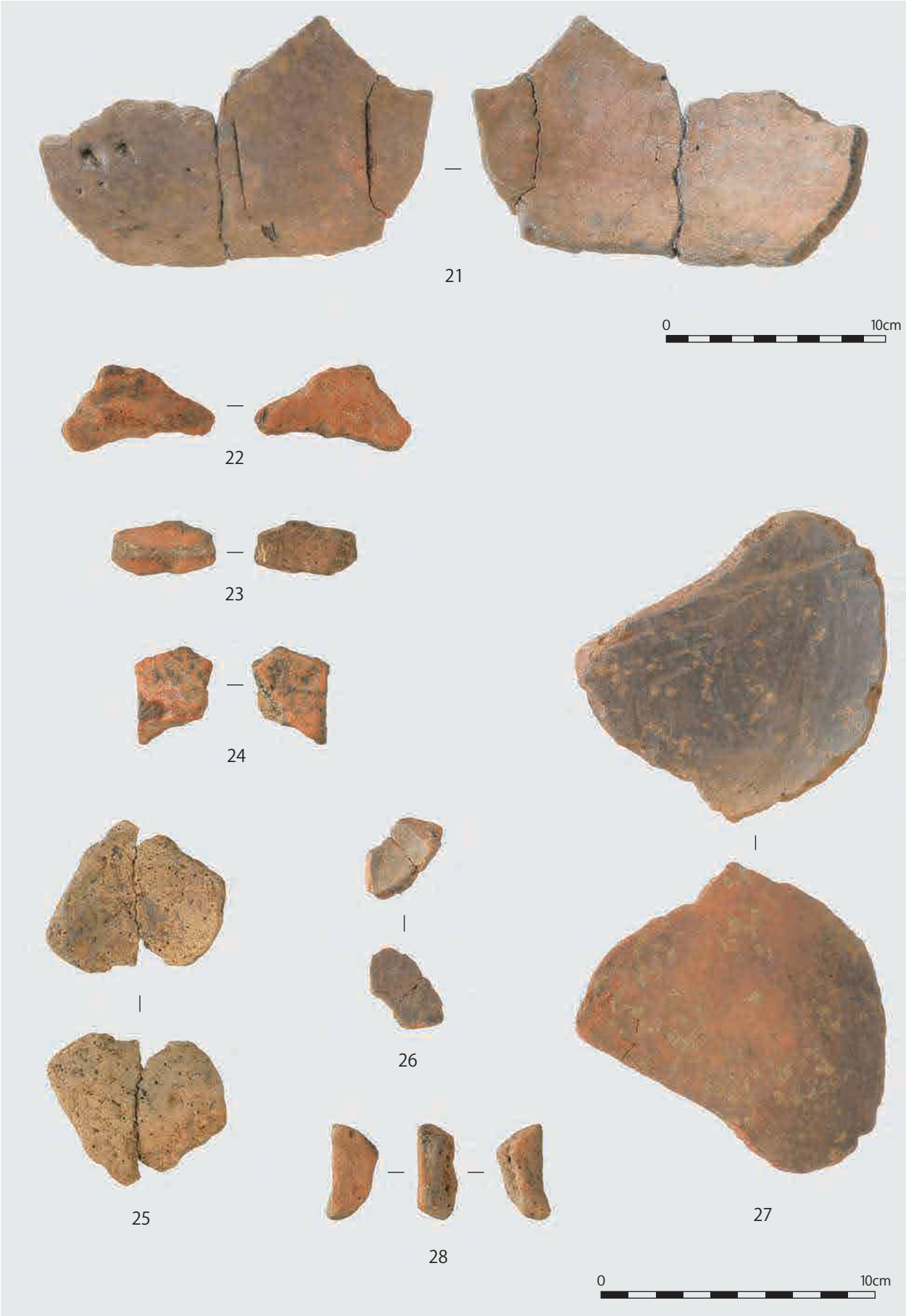
第 47 図　グスク時代　出土遺物 2



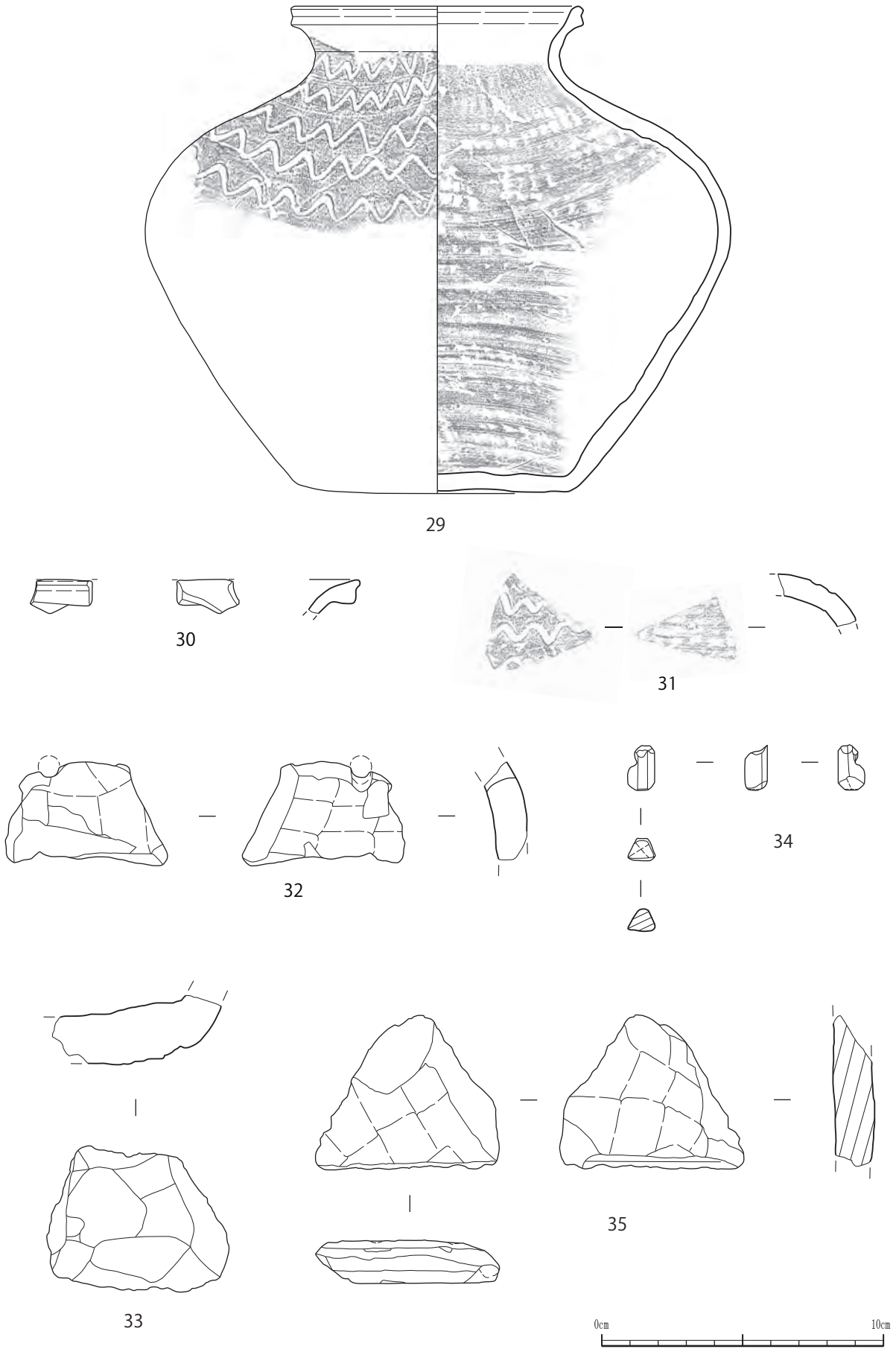
図版 23　グスク時代　出土遺物 2



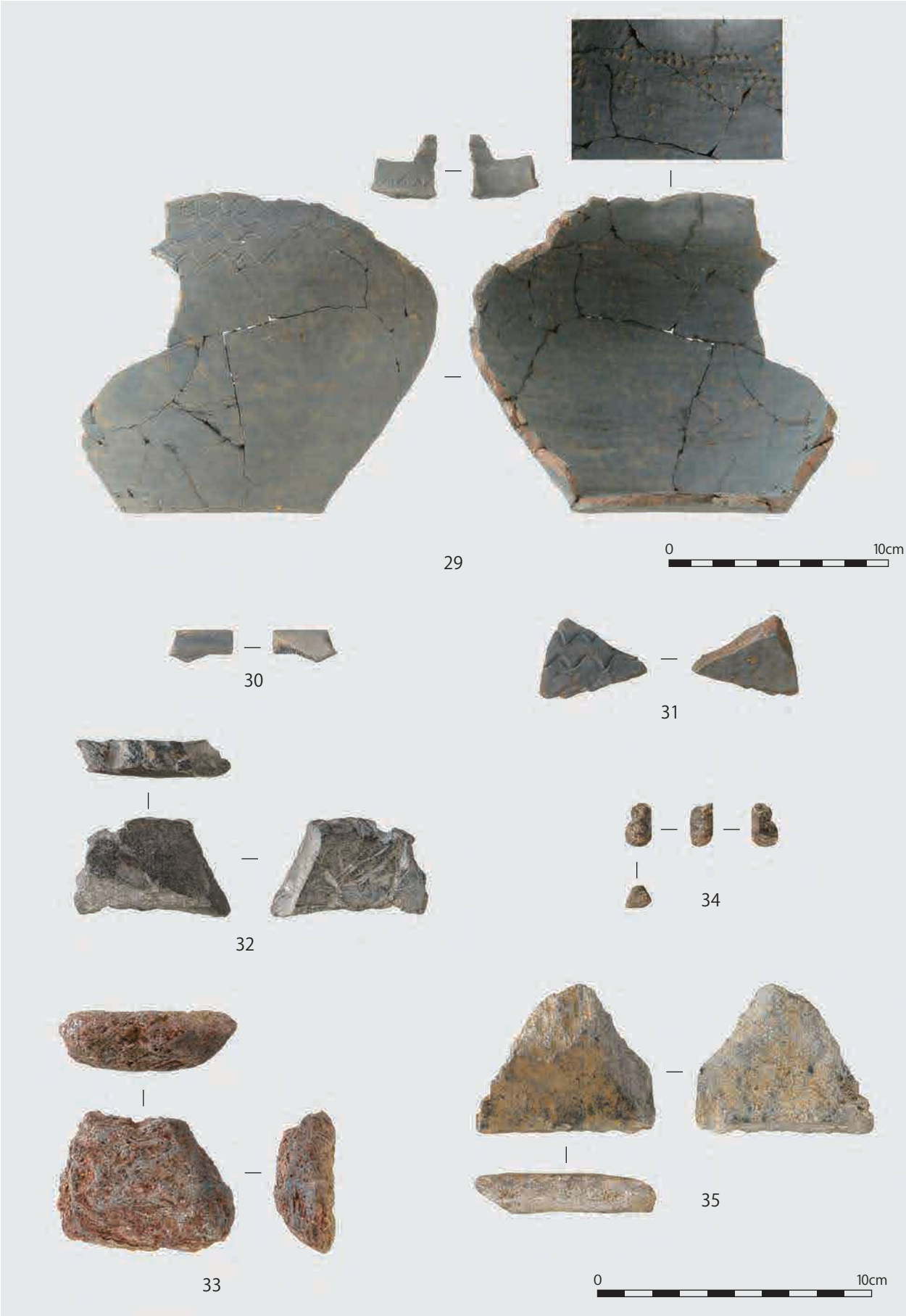
第 48 図　グスク時代　出土遺物 3



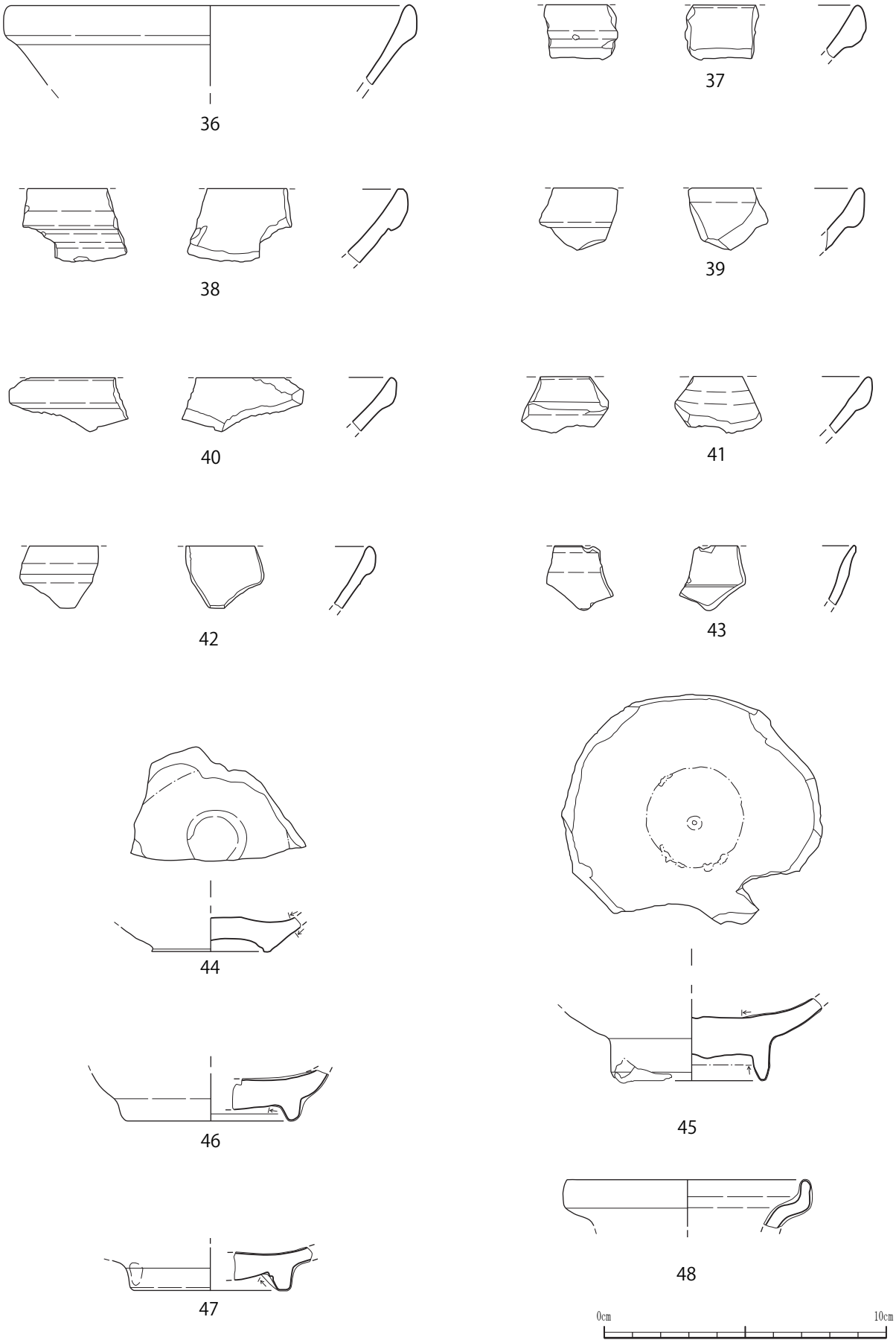
図版 24　グスク時代　出土遺物 3



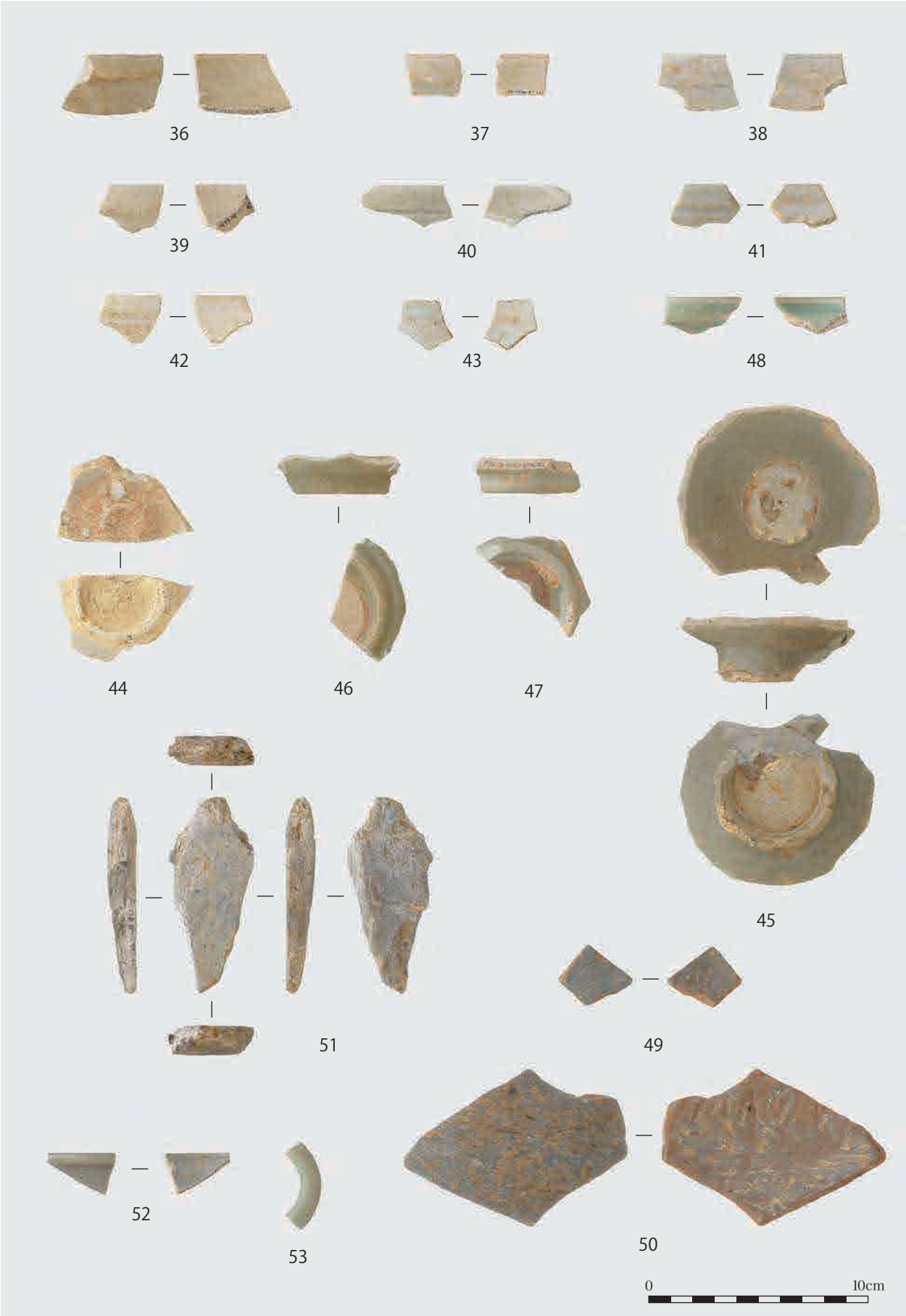
第 49 図　グスク時代　出土遺物 4



図版 25　グスク時代　出土遺物 4



第 50 図　グスク時代　出土遺物 5



図版 26　グスク時代　出土遺物 5